第1課 ——【コロンブスの卵】

ニュースを聞きましょう

I　ニュースを聞いて次の質問に答えてください。

II　ニュースを聞きながら、(　　)の中に言葉、数字を入れてください。

1.「(　　　　　　　　)の卵(たまご)コンテスト」が開かれた。

——今日の(　　　　　　　　)東京で。

——アイディアや(　.　　　　　　　)・(　　　　　　　　)を競(きそ)う。

——コンテストは今年で(　　　　　　　　)回目。

——今年、(　　　　　　　　)以上の作品が集まった。

2. 最優秀賞(しょう)は山内(やまうち)さんの「コピー(　　　　　　　　)」。

——作品は(　　　　　　　　)のような形。

——ペンから出る(　　　　　　　　)が字を消す。

3. 山内さんは(　　　　　　　　)屋をしている。

——店に(　　　　　　　　)が何台かある。

——一枚(　　　　　　　　)円だ。

——失敗(しっぱい)したコピーの(　　　　　　　　)がまた使えると思った。

4. 山内さんの機械は字を(　　　　　　　　)ずつ消す。

——いくつかの(　　　　　　　　)がアイディアを利用。

——コピーを消す機械の(　　　　　　　　)を考えている。

III　次の質問に答えて、ニュースをまとめてください。

新しい言葉

新しい言葉 I

コロンブスの卵(たまご)	コンテスト	最(さい)(優秀賞(ゆうしゅうしょう))	優秀(ゆうしゅう) ナ
賞(しょう)	アイディア	発明(はつめい) スル	発見(はっけん) スル
競(きそ)う	全国(ぜんこく)	失敗(しっぱい) スル	ユーモア
受賞(じゅしょう) スル			

◆固有名詞　東京文化会館(とうきょうぶんかかいかん)／広島県(ひろしまけん)／山内正(やまうちただし)

新しい言葉 II

スピーチ スル	発表(はっぴょう) スル	少々(しょうしょう)	うんざり(と) スル
(うんざりし)かける		(〜て)初(はじ)めて	おや
(心(こころ)を)捕(と)らえる	真剣(しんけん) ナ・ニ	耳(みみ)を傾(かたむ)ける	散(ち)る
(〜も)さることながら		心(こころ)を打(う)つ	舞台(ぶたい)
中央(ちゅうおう)	込(こ)める	中学(ちゅうがく)	国語(こくご)
重(かさ)なる	昨日(きのう)	友人(ゆうじん)	あいにく
うまくいく	(〜は)ともかく(として)		偶然(ぐうぜん) ナ・ニ
ほら	全(まった)く	普段(ふだん)	見慣(みな)れる
逆(ぎゃく) ニ	〜といったら	(20年)余(あま)り	俳句(はいく)
〜ならでは	交(まじ)える	メッセージ	鮮明(せんめい) ナ・ニ
いずれも	大陸(たいりく)	大(おお)(騒(さわ)ぎ)	
(〜には)当(あ)たらない		エピソード	本来(ほんらい)

❖

ずれる	左右(さゆう)スル	新鮮(しんせん)ナ	すら
あくまで(も)	一面(いちめん)	(～に)過(す)ぎない	
目(め)からうろこが落(お)ちる		正(まさ)に	事(こと)もなげナ・ニ
天(てん)	引(ひ)っ張(ぱ)る	思(おも)いつく	歴史(れきし)
(歴史(れきし))上(じょう)	天才(てんさい)	案外(あんがい)ナ	
短大(たんだい)[←短期大学(たんきだいがく)]		専門学校(せんもんがっこう)	代表(だいひょう)スル
出場(しゅつじょう)スル	(出場(しゅつじょう))者(しゃ)	今回(こんかい)	

◆固有名詞　コロンブス／張(ちょう)／アメリカ大陸(たいりく)

【コロンブスの卵】

今年の留学生スピーチコンテストでのことです。同じような発表が続いて少々うんざりしかけた時、「日本に来て初めて、桜の美しさが分かりました」という張さんの言葉に「おや」と思いました。「もちろん、テレビや写真で桜を見たことはありましたが、この花がどうしてそんなにも日本人の心を捕らえるのかが、私には分かりませんでした」私はいつの間にか、張さんの話に真剣に耳を傾けていました。「これまで私がテレビや写真で見て知っていた桜は動かない桜でした。美しく咲いてすぐに散ってしまう桜を、私は知りませんでした。花の美しさもさることながら、その命の短さが人の心を捕らえるのだということが、自分の目で桜を見て初めて分かりました。動く桜が私の心を打ったのです」舞台の中央で心を込めて語り続ける張さんの姿が、次第に、大好きだった中学時代の国語の先生の姿に重なっていきました。

「昨日、友人の結婚式に行ってきました。あいにく頼まれたあいさつはうまくいかず、失敗してしまいましたが、それはともかくとして、帰りの電車で、私は偶然あることを発見しました。ここから見える、ほら、あの山が全く反対の形をしているんです。みんなは当たり前のことだと言うでしょうが、普段見慣れている物が、全く逆の形に見えたのです。その驚きといったら・・・」先生がこんな話をされたのは20年余りも前のことです。確か、俳句の授業の途中で、

卵 留 *少 捕 *傾 *舞 央 *重 *頼 敗 偶 段 逆 *余
俳 句 授

【コロンブスの卵】

みんなアイディアが浮かばなくて困っていた時のことだったと思います。今ではどんな俳句を作ったかなんて、すっかり忘れてしまいましたが、先生ならではのユーモアを交(まじ)えながら、私たちに伝えようとされた「立場を変えて、見方を変えて、考えてみなさい。いつも見ている物が、それまでとは全然違う形に見えることもあるんです」というその時のメッセージは、今でも鮮明(せんめい)に覚えています。

「動く桜」も「反対の形に見える山」も、いずれも、私には「コロンブスの卵(たまご)」でした。「コロンブスの卵」という言葉は、後で考えれば誰(だれ)でも考えつきそうで、簡単にできそうな発明や発見も、それを最初(さいしょ)にやることの難しさを教えています。アメリカ大陸(たいりく)発見なんて、大騒ぎするには当たらないことだ。そんなこと誰にだってできると言われたコロンブスが、それなら卵を立ててみろと言ったというエピソードはよく知られています。ここでの私の言葉の使い方は、その本来の意味から言うと、少しずれているかもしれません。しかし、張さんが「桜の花が動く」と言った話や、左右(さゆう)が逆に見える山の形に新鮮な驚きを感じた先生の話に、そんなことなど考えてみることすらなかった私は、「私たちが見ているのは、あくまでも、物の一面に過ぎないんだ」と、目からうろこが落ちる思いでした。正(まさ)に、目の前に事もなげに立てられた「コロンブスの卵」だったのです。張さんのスピーチを聞いて、私は、姿や形は知っていても、動く美し

---

*交　鮮　誰 *初　陸 *左 *右 *正

コロンブスの卵

さを知らない「桜」が、世界中にはまだたくさんあるんだろうなと思いました。でも、天ではなく地球が動くのだと考えついた人、地球の中心にりんごを引(ひ)っ張(ぱ)る力があるのだと思いついた人など、歴史上で天才と呼ばれる人たちと私たち普通の人間との違いは、案外ちょっとしたことなのかもしれないなどとも考えました。

全国の大学、短大(たんだい)、専門学校を代表する20人の出場者が競(きそ)った今回のスピーチコンテスト。張さんが最優秀賞(しょう)を受賞(じゅしょう)しました。

---

*張 *短 *競 賞 *受

答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 張さんが日本へ来る前に見ていたのはどんな桜ですか。
2. スピーチコンテストで張さんが言いたかったのはどのようなことですか。
3. 中学時代の国語の先生は何に驚いたと言いましたか。
4. 先生の伝えようとしたメッセージは何でしたか。短くまとめて答えてください。
5. 「コロンブスの卵」とはどういう意味ですか。
6. 「目からうろこが落ちる」思いがしたのはどうしてですか。
7. 筆者の言う「動く美しさを知らない桜」とは何のことですか。
8. 天才と呼ばれる人たちと普通の人との違いは案外ちょっとしたことだと言っていますが、それはどんなことですか。
9. この文章で筆者の言いたかったことは何ですか。簡単にまとめてください。
10. 「目からうろこが落ちる思い」というのを経験したことがありますか。

使いましょう

A 「～て初めて」という言い方を練習しましょう。

1. 友達に言われて初めて＿＿＿＿＿＿＿＿(こと)に気づきました。
2. 恋人がいなくなって初めて＿＿＿＿＿＿＿＿(こと)が分かりました。
3. 自分でやってみて初めて＿＿＿＿＿＿＿＿と感じました。
4. ＿＿＿＿＿＿＿＿て初めて社会人だと言える。
5. ＿＿＿＿＿＿＿＿て初めて＿＿＿＿＿＿＿＿と言える。

B 「～はともかく(として)」という言い方を練習しましょう。

1. ＿＿＿＿＿＿＿＿はともかく、宿題はしてください。
2. ＿＿＿＿＿＿＿＿はともかくとして、値段が高過ぎます。
3. 子供ならともかく、＿＿＿＿＿＿＿＿。
4. できるかどうかはともかくとして、＿＿＿＿＿＿＿＿。
5. ＿＿＿＿＿＿＿＿ともかく、＿＿＿＿＿＿＿＿。

C 「あくまで(も)」という言い方を練習しましょう。

1. ＿＿＿＿＿＿＿＿にはあくまで(も)反対である。
2. 誰が何と言おうと、私はあくまで(も)＿＿＿＿＿＿＿＿つもりだ。
3. 君があくまで(も)＿＿＿＿＿＿＿＿なら、私はもう反対しない。
4. ＿＿＿＿＿＿＿＿はあくまで(も)＿＿＿＿＿＿＿＿なければならない。
5. ＿＿＿＿＿＿＿＿はあくまで(も)＿＿＿＿＿＿＿＿である。

D 「～に過ぎない」という言い方を練習しましょう。

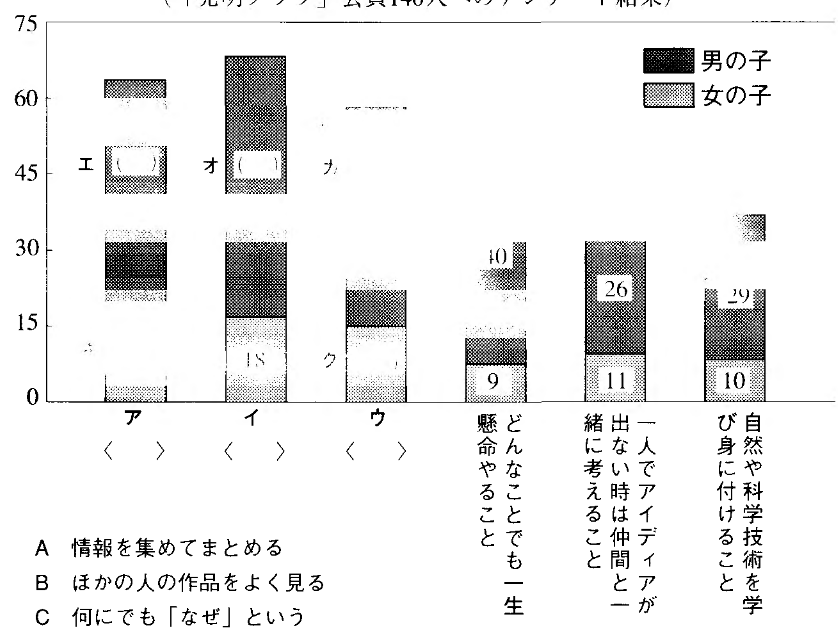
1. ＿＿＿＿＿＿＿は数人に過ぎなかった。
2. 料理ができるといっても＿＿＿＿＿＿＿に過ぎない。
3. 彼の意見は＿＿＿＿＿＿＿に過ぎず、誰もそんなことができるとは思っていない。
4. 私はただ＿＿＿＿＿＿＿に過ぎず、決して特別なことをしたわけではない。
5. ＿＿＿＿＿＿＿に過ぎず、＿＿＿＿＿＿＿。

聞きましょう

問題1　テープを聞いて答えてください。

アイディア作品を作るのに大切なこと

（「発明クラブ」会員140人へのアンケート結果）



A　情報を集めてまとめる
B　ほかの人の作品をよく見る
C　何にでも「なぜ」という気持ちを持つ

問題2　次の文を聞いて、正しいものには○、正しくないものには×をつけてください。

①（　　）　②（　　）　③（　　）　④（　　）

［統計でよく使われる言葉］

グラフ　順に　～番目

第2課　【宇宙との出会い】

ニュースを聞きましょう

I　ニュースを聞いて次の質問に答えてください。

II　ニュースを聞きながら、(　　)の中に言葉、数字を入れてください。

1．(　　　　　　　　)の研究の一部が発表された。
——関係する企業の数は(　　　　　　　　)。
——これまで(　　　・　　　　)年続いている。
——初めは(　　　　　　　　)住宅の開発を目指す。

2．今の研究は、人口(　　　　　　　　)問題への対応を目指す。
——あらゆる(　　　　　　　　)の利用を目標。
——研究の各(　　　　　　　　)にチームを作る。
——地下都市、海の中の(　　　　　　　　)、高さ(　　　　　　　　)m以上の住宅などを計画。

3．この住宅開発は実現の(　　　　　　　　)がある。
——開発企業グループは人々の(　　　　　　　　)を集める。
——そして、できるだけ早い住宅の(　　　　　　　　)を計画。
——(　　　　　　　　)から期待されている。

III　次の質問に答えて、ニュースをまとめてください。

新しい言葉

❖

新しい言葉 I

未来(みらい)	(世界)的(せかいてき)ナ・ニ	空間(くうかん)	あらゆる
各(分野)(かくぶんや)	分野(ぶんや)	現在(げんざい)	深い(ふかい)
建設(けんせつ)スル	含む(ふくむ)	実現(じつげん)スル	既に(すでに)
方面(ほうめん)	期待(きたい)スル	寄せる(よせる)	

新しい言葉 II

あいつ	(あいつ)ら	～ときたら	
(～に)決(き)まっている		ぶつかる	～さ(ぁ)
何(なに)しろ	走り回る(はしりまわる)		
(～て)しょうがない[←しようがない]			～かと思(おも)うと
許可(きょか)スル	さっぱり(～ない)		～ものを
交わす(かわす)	調査(ちょうさ)スル	科学衛星(かがくえいせい)	気象(きしょう)
観測(かんそく)スル	実用(じつよう)	衛星(えいせい)	(4,000)個(こ)
上る(のぼる)	軌道(きどう)	打ち上げる(うちあげる)	(打ち上げ)時(うちあげじ)
使用(しよう)スル	ロケット	残がい(ざんがい)	約(15,000個)(やく、こ)
～からの	物体(ぶったい)	回る(まわる)	(～て)おる
部品(ぶひん)	欠けら(かけら)	加える(くわえる)	ごみ
(夢(ゆめ)を)かける	とどまるところを知(し)らない		幕開け(まくあけ)
有人(ゆうじん)	飛行(ひこう)スル	目を見張る(めをみはる)	～ものがある

❖

もちつき	はるかナ・ニ	かなたニ	見上（みあ）げる
月面（げつめん）	気軽（きがる）ナ・ニ	そう(〜ない)	我々（われわれ）
恩恵（おんけい）	生（なま）	一目（いちもく）りょう然（ぜん）	数（すう）(倍（ばい）)
(数（すう）)倍（ばい）	行（ゆ）き詰（づ）まり[←行（ゆ）き詰（づ）まる]		(鍵（かぎ）を)握（にぎ）る
(2,000年（ねん）)分（ぶん）	電力（でんりょく）	供給（きょうきゅう）スル	〜といった
報告（ほうこく）スル	得（え）る	金属（きんぞく）	革新（かくしん）スル
(〜と)見（み）る	無限（むげん）ニ	秘（ひ）める	新天地（しんてんち）
苦（くる）しい	航海（こうかい）スル	末（すえ）ニ	広大（こうだい）ナ
書（か）き換（か）える	征服（せいふく）スル	欲（よく）	否（いな）めない
旧（きゅう）(大陸（たいりく）)	表現（ひょうげん）スル	先住民（せんじゅうみん）	営（いとな）む
やって来（く）る	奪（うば）う	虐殺（ぎゃくさつ）スル	改宗（かいしゅう）スル
強要（きょうよう）スル	(〜に)してみれば		築（きず）き上（あ）げる
行為（こうい）	侵略（しんりゃく）スル	有史（ゆうし）	限（かぎ）りない
ロマン	抱（いだ）く	響（ひび）き[←響（ひび）く]	潜（ひそ）む
肝（きも）に銘（めい）じる	とこ[←ところ]	空気（くうき）	惑星（わくせい）
だけど	めちゃめちゃナ・ニ	〜ぜ	どうせ
(〜の)ことだから		見（み）つける	(見（み）つけ) 次第（しだい）
脱出（だっしゅつ）スル	気（き）	ええ(っ)	〜だい
億（おく）	やつ	〜うじゃないか[←うではないか]	
ちっちゃな[←小（ちい）さな]			

◆固有名詞　ヨーロッパ

【宇宙との出会い】

「全くあいつらときたら、どういうつもりなんだろう」
「あいつらって？」
「地球人に決まってるよ。この間なんか、もうちょっとでぶつかりそうになってさぁ。何しろ交通ルールも守らないで走り回るんだから、危なくてしょうがないよ」
「そうだよな。突然現れたかと思うと、許可(きょか)もなく・・・。何考えてるんだか、さっぱり分からない。あいさつぐらいすればいいものをさぁ」

・

宇宙人の間でこんな会話が交(か)わされているかもしれない。1992年現在、科学的調査(ちょうさ)をする科学衛星と、通信、気象、地球観測(かんそく)などを含(ふく)む様々な分野で使われる実用衛星を合わせると、4,000個に上(のぼ)る人工衛星が地球の軌道上にある。さらに、打ち上げ時に使用されたロケットの残がいなど、約15,000個からの物体が地球の周りを回っており、それに、部品の欠(か)けらなどを加えると、いわゆる「宇宙ごみ」は100万個以上存在すると言われている。

人類の宇宙にかける夢は、とどまるところを知らない。宇宙時代の幕開(まくあ)けとなったのは、1957年に打ち上げられた第一号の人工衛星である。1961年には有人宇宙飛行が実現し、それ以来の宇宙開発技術の発達には目を見張るものがある。「うさぎがもちつきをしている」と言いながら、はるかかなたに見上げていた月面を、今や人間

---

*許 *交 査 測 含 *上 欠 幕 *開

宇宙との出会い

が歩く時代になっている。人類の夢であった宇宙旅行へ気軽（きがる）に行ける日も、そう遠い未来（みらい）のことではないだろう。

日常生活でも、我々（われわれ）は宇宙開発の恩恵（おんけい）を様々に受けている。衛星を利用することによって、世界のあらゆる所から送られてくる映像を生（なま）で見ることができ、地球環境の破壊がいかに進んでいるかも一目りょう然である。天気予報も昔と比べると、数倍（すうばい）正確になった。また、エネルギー問題の行（ゆ）き詰（づ）まりを解決する鍵（かぎ）を握（にぎ）っているのも、宇宙開発かもしれない。月の資源を利用すれば、地球の2,000年分の電力が供給できるといった研究報告もされているからだ。宇宙空間では、地球上では得られない金属や薬を作り出すことも可能で、それが新しい技術革新（かくしん）につながると見られている。このように、宇宙は人類にとって無限の可能性を秘（ひ）めた新天地として、各方面から期待が寄せられている。

ところで、500年前、現在の我々のように、新天地に無限の可能性を求めたのがコロンブスである。彼は、苦しい航海の末（すえ）にアメリカ大陸を発見した。それ以来、広大な土地とそこに眠る豊かな資源を利用し、いわゆる「新世界」の建設（けんせつ）が進められた。文字通り、世界の地図が書き換（か）えられることになったのである。しかし、この新天地発見の裏（うら）に、宗教的、経済的征服欲（せいふくよく）が存在していたことは否（いな）めない。発見といっても、それはコロンブスの側、つまりヨーロッパと

軽　末　*我　恩　*恵　*生　倍　*行　詰　鍵　握　革　秘　末
*建　設　換　裏　征　*欲　否

【宇宙との出会い】

いう旧(きゅう)大陸の側からの表現であり、「新大陸」では、既(すで)に先住民が生活を営(いとな)んでいたのである。そこへ、突然ヨーロッパ人がやって来て、土地や家を奪(うば)い、虐殺(ぎゃくさつ)を繰り返し、改宗(かいしゅう)を強要した。先住民にしてみれば、今まで築(きず)き上げてきた文化や習慣を破壊したヨーロッパ人の行為(こうい)は、侵略(しんりゃく)であるとしか考えられなかった。

有史以来、人類は目の前に広がる可能性に対して、限りない夢とロマンを抱(いだ)き続けてきた。しかし、夢とロマンという言葉の美しい響(ひび)きの裏には、限りなく深い人間の欲が潜(ひそ)んでいる。我々地球人は、この点を肝(きも)に銘(めい)じ、侵略の歴史を繰り返すことのない「出会い」を求めて宇宙へ出かけたいものである。

「地球ってとこは、水と空気が豊かな惑星(わくせい)だって言うじゃないか」

「だけど、このごろ環境破壊がひどくて、めちゃめちゃだそうだぜ。どうせあいつらのことだから、どこかいいとこを見つけ次第、地球を脱出(だっしゅつ)しようって気じゃないか」

「ええっ！　一体どこへ行くつもりなんだい」

「そんなこと分かんないけど、何十億(おく)もの地球人がやって来たら、大変だよなあ」

「でも面白いやつもいるかもしれないよ。誰か捕(つか)まえて話してみようじゃないか」

「あっ、ほら、またちっちゃな衛星を打ち上げたぜ」

旧　既　*営　奪　虐　*殺　改　築　為　侵　略　*抱　*響　潜

肝　銘　惑　*星　*脱　億　*捕

答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 現在、地球の周りはどのような状況になっていますか。
2. 「宇宙時代」の幕開けとなった出来事は何ですか。
3. 宇宙開発によってどのようなことが可能になりましたか。
4. 今後、どのようなことが可能になると言われていますか。
5. コロンブスはなぜ航海を続けましたか。
6. 新大陸発見の結果、世界はどう変わりましたか。
7. 新大陸発見の裏には人間のどんな気持ちがありましたか。
8. 先住民は新大陸発見をどのように考えていますか。
9. 宇宙開発で注意すべきことは何ですか。簡単にまとめてください。
10. あなたが宇宙人たちの会話をそばで聞いていたら、どんなことを言いたいですか。

使いましょう

A 「～と見られる」という言い方を練習しましょう。

1. 地球の自然破壊は進む一方で、＿＿＿＿＿＿＿と見られている。
2. 医療技術の進歩に伴って、＿＿＿＿＿＿＿と見られている。
3. ＿＿＿＿＿＿＿ので今年の試験は＿＿＿＿＿＿＿と見られている。
4. ＿＿＿＿＿＿＿と見られる車が発見された。
5. ＿＿＿＿＿＿＿のは＿＿＿＿＿＿＿が原因だと見られている。

B 「～にしてみれば」という言い方を練習しましょう。

1. 彼女にとっては簡単なことだろうが、私にしてみれば＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿は＿＿＿＿＿＿＿。
2. 男性はともかく、女性にしてみれば＿＿＿＿＿＿＿のは＿＿＿＿＿＿＿。
3. 日本人にしてみれば＿＿＿＿＿＿＿けれど、留学生には＿＿＿＿＿＿＿。
4. 親の立場からは＿＿＿＿＿＿＿が、子供にしてみれば＿＿＿＿＿＿＿。
5. 会社側から言うと＿＿＿＿＿＿＿＿＿が、＿＿＿＿＿＿＿＿＿にしてみれば＿＿＿＿＿＿＿。

C 「～のことだから」という言い方を練習しましょう。

1. A: ジョンさん、遅いわね。
   B: いつも遅刻するジョンさんのことだから＿＿＿＿＿＿＿だろう。
2. A: 陽子さん、家にいるかな。
   B: まじめな陽子さんのことだから＿＿＿＿＿＿＿はずさ。

3. A: キムさん、今どこで何をしているんでしょう。
   B: ＿＿＿＿＿彼のことだから、きっとどこかで幸せに暮らしていますよ。
4. A: ヤンさん、昨日のテスト、どうだったかな。
   B: ＿＿＿＿＿のことだから＿＿＿＿＿じゃない。
5. A: ＿＿＿＿＿。
   B: ＿＿＿＿＿のことだから＿＿＿＿＿。

D 「～次第」という言い方を練習しましょう。

1. 宿題が済み次第、＿＿＿＿＿。
2. 東京へ着き次第、＿＿＿＿＿。
3. ＿＿＿＿＿次第、ご返事いたします。
4. ＿＿＿＿＿次第、遊びに来てください。
5. ＿＿＿＿＿次第、＿＿＿＿＿。

聞きましょう

問題1　テープを聞いて答えてください。

宇宙開発の歴史

ア（　　）年	ソ連	人工衛星「スプートニク1号」打ち上げ
イ（　　）年	アメリカ	人工衛星「エクスプローラ号」打ち上げ
ウ（　　）年	ケ［　　］	有人宇宙船「ヴォストーク1号」打ち上げ
1962年	アメリカ	有人宇宙船「フレンドシップ7号」打ち上げ
1963年	ソ連	「ヴォストーク6号」に初めて女性宇宙飛行士が乗る
エ（　　）年	コ［　　］	初めて月面に宇宙飛行士を送る
オ（　　）年	中国	人工衛星「東方紅」打ち上げ
	日本	人工衛星「おおすみ」打ち上げ
カ（　　）年	アメリカ	「バイキング1号」火星を調査
キ（　　）年	アメリカ	「ボイジャー1・2号」木星の近くへ
ク（　　）年	サ［　　］	スペースシャトル「チャレンジャー号」が事故を起こす

問題2　次の文を聞いて、正しいものには○、正しくないものには×をつけてください。

①（　　）　②（　　）　③（　　）　④（　　）　⑤（　　）

第3課 ——【理想のエネルギー —— 原子力】

ニュースを聞きましょう

I　ニュースを聞いて次の質問に答えてください。

II　ニュースを聞きながら、(　　)の中に言葉、数字を入れてください。

1. 日本電力開発公団は、新しい原子力発電所建設を(　　　　　　　　)している。

——10年で、必要な電力が(　　　　　　　　)%以上も増えている。

——(　　　　　　　　.　)対策だけでは無理。

——(　　　　　　　　)年のうちに建設を始める。

2. 建設の(　　　　　　　　)のある場所がいくつかある。

——そこでは公団側からの(　　　　　　　　)への説明が始まっている。

——様々な(　　　　　　　　)も行われている。

——場所が決まれば、政府に(　　　　　　　　)を求める。

3. (　　　　　　　　)年、魚を捕っている人の意見。

——(　　　　　　　　)気持ちはしない。

——今は安心して(　　　　　　　　)が食べられる。

——(　　　　　　　　)が海を汚すと生活できない。

4. 安全だと言われているし、町の(　　　　　　　　)につながると言う人もいる。

III　次の質問に答えて、ニュースをまとめてください。

新しい言葉

新しい言葉 I

需要（じゅよう）	(需要（じゅよう）に)こたえる		原子力（げんしりょく）
発電所（はつでんしょ）	パーセント(%)	特（とく）に	
省（しょう）エネ[←省（しょう）エネルギー]		新（あら）たナ・ニ	住民（じゅうみん）
放射能（ほうしゃのう）			

◆固有名詞　日本電力開発公団（にほんでんりょくかいはつこうだん）

新しい言葉 II

(18)世紀（せいき）	産業革命（さんぎょうかくめい）	石炭（せきたん）	天然（てんねん）
燃（も）やす	文明（ぶんめい）	底（そこ）を突（つ）く	予測（よそく）スル
(対策（たいさく）を)取（と）る	が	繁栄（はんえい）スル	維持（いじ）スル
(エネルギー)源（げん）	(経済（けいざい）)性（せい）	特性（とくせい）	面（めん）
優（すぐ）れる	大気汚染（たいきおせん）	温暖（おんだん）ナ	クリーンナ
政策（せいさく）	一環（いっかん）	水力（すいりょく）	風力（ふうりょく）
太陽（たいよう）	プロジェクト	主導（しゅどう）スル	各国（かっこく）
進行（しんこう）スル	(進行（しんこう）)中（ちゅう）	コスト	効率（こうりつ）
頼（たよ）る	～ざるを得（え）ない	数字（すうじ）	(～の)上（うえ）から
原子炉（げんしろ）	(37)か国（こく）	上回（うわまわ）る	中（なか）でも
総（そう）(電力（でんりょく）)	(7)割（わり）	依存（いぞん）スル	なくてはならない
場合（ばあい）ニ	初（はつ）	発電（はつでん）スル	成功（せいこう）スル

❖

～てからというもの		拍車(はくしゃ)をかける	割合(わりあい)ニ
(4)分(ぶん)の(1)	占(し)める	完成(かんせい)スル	賄(まかな)う
予定(よてい)スル	切(き)っても切(き)れない	現状(げんじょう)	振(ふ)り返(かえ)る
是非(ぜひ)	故障(こしょう)スル	操作(そうさ)スル	ミススル
外部(がいぶ)	漏(も)れ出(だ)す	周辺(しゅうへん)	避難(ひなん)スル
北方(ほっぽう)	位置(いち)スル	史上(しじょう)	最悪(さいあく)
爆発(ばくはつ)スル	破損(はそん)スル	覆(おお)う	吹(ふ)き飛(と)ぶ
吹(ふ)き出(だ)す	現場(げんば)	作業(さぎょう)スル	職員(しょくいん)
即死(そくし)スル	含(ふく)める	死亡(しぼう)スル	諸国(しょこく)
土壌(どじょう)	農産物(のうさんぶつ)	被害(ひがい)	
(海外(かいがい))向(む)け[←向(む)ける]		食品(しょくひん)	及(およ)ぶ
白血病(はっけつびょう)	原爆(げんばく)[←原子爆弾(げんしばくだん)]	原爆症(げんばくしょう)	(～は)もとより
かなりナ	地域(ちいき)	安全(あんぜん)ナ・ニ	増(ま)す
～うが	厳重(げんじゅう)ナ・ニ	渦巻(うずま)く	～うものなら
それまでだ	衰(おとろ)える	停止(ていし)スル	閉鎖(へいさ)スル
原発(げんぱつ)[←原子力発電所(げんしりょくはつでんしょ)]		むやみナ・ニ	近寄(ちかよ)る
吐(は)き出(だ)す	放射性廃棄物(ほうしゃせいはいきぶつ)	～ねば	処理(しょり)スル
触(ふ)れる	ドラム缶(かん)	詰(つ)める	(恐(おそ)ろしい)限(かぎ)りだ
恐(おそ)れる	ぜいたくナ・ニ	選択(せんたく)スル	迫(せま)る

◆固有名詞　日本原子力研究所(にほんげんしりょくけんきゅうじょ)／スリーマイル島(とう)／ソ連(れん)／キエフ市(し)／チェルノブイリ

【理想のエネルギー —— 原子力】

18世紀(せいき)後半に起こった産業革命以来、人類は、石炭や石油などの天然(てんねん)資源をどんどん燃やして得たエネルギーによって文明を発展させてきた。しかし、この天然資源は無限ではない。特に石油は、今後数十年で底を突(つ)くと予測され、様々な省(しょう)エネルギー対策も取られてはいる。が、我々の今の繁栄(はんえい)を維持(いじ)するための電力の需要(じゅよう)にこたえるには、石油に替わる新(あら)たなエネルギー源がどうしても必要なのである。そこで登場したのが、経済性、環境特性などすべての面で優(すぐ)れている理想のエネルギー源、原子力である。

現在我々は、大気汚染(おせん)、酸性雨、地球の温暖(おんだん)化など、様々な環境問題を抱えている。それを解決するために、クリーン・エネルギー開発政策(せいさく)の一環として、水力、風力、太陽エネルギーなどの研究開発プロジェクトが政府(せいふ)主導の下、各国で進行中である。が、コスト、効率(こうりつ)、実用性などを考えると原子力に頼(たよ)らざるを得ない。このことは数字の上からも明らかであり、1994年現在、運転されている原子炉(ろ)の数は、世界37か国で400を上回(うわまわ)っている。中でもフランスでは、これに総(そう)電力の7割を依存(いぞん)しており、原子力は、なくてはならないエネルギー源となっている。日本の場合は、1963年、日本原子力研究所(にほんげんしりょくけんきゅうじょ)で初(はつ)の発電に成功してからというもの、開発に拍車(はくしゃ)がかけられ、1994年現在、約40の原子炉が運転されており、その結果、原子力発

---

*世　紀　*然　*突　*省　繁　栄　維　*持　需　*新　*優　*汚　染

*暖　政　府　率　*頼　炉　*上　総　依　*存　*初　拍

理想のエネルギー――原子力

電の割合は総発電量の４分の１を占めるまでになった。今建設計画中のものがすべて完成すれば、将来、総発電量の40％が賄われる予定であり、原子力と現代社会とは切っても切れない関係にあるというのが現状である。

原子力開発の歴史を振り返ってみると、1979年アメリカのスリーマイル島で、原子力発電の是非が問われるような事故が起こっている。これは、原子炉の一部の故障と操作ミスとが原因で、放射能に汚染された水が外部に漏れ出し、周辺の住民が避難させられたというものである。また、1986年には、旧ソ連キエフ市北方に位置するチェルノブイリ原子力発電所で、史上最悪の爆発事故が起こっている。原子炉の一部が破損し、それを覆う建物の屋根が吹き飛び、放射能が吹き出した。爆発の瞬間に現場で作業をしていた職員二人が即死したのを含め、死亡者は31人にも上った。周辺諸国では土壌が汚染され、農産物が大きな被害を受けた。その農産物の中には海外向けのものも含まれており、放射能汚染の被害は、食品を輸入している国々にまで広く及んだのである。そればかりか白血病をはじめとするいわゆる原爆症が、事故現場の周辺はもとより、かなり広い地域で現在でも大勢の住民を苦しめている。

確かに、技術開発が進歩するにつれて、原子炉はより安全性を増

占　完　賄　振　島　障　操　*作　射　漏　*周　*辺　避　*北
*置　爆　損　覆　即　*亡　諸　壌　被　及　*白　症　域　勢
*増

【理想のエネルギー――原子力】

してきた。しかしながら、どんなに技術が進歩しようが、また、いくら厳重(げんじゅう)に管理しようが、原子炉には放射能が渦巻(うずま)いており、万一事故でも起ころうものなら、それまでだ。信じられないほど多くの命を奪ってしまうことを忘れるわけにはいかない。その上、放射能の恐ろしい力は衰(おとろ)えることを知らず、運転を停止(ていし)し閉鎖(へいさ)された原発であってもむやみに近寄ることはできない。さらには、毎日のように原発から吐(は)き出されるごみ、いわゆる放射性廃棄物(はいきぶつ)も考えねばならぬ深刻な問題だ。処理(しょり)できないごみ、直接触(ちょくせつふ)れることさえできないごみがドラム缶に詰められ無限に増え続けていく。恐ろしい限りである。

原子力発電の安全性を信じ、より便利で豊かな生活を求めるか、あるいは放射能の危険性を恐れてぜいたくな生活をあきらめるか、私たち人類は大きな選択(せんたく)を迫(せま)られているのである。

---

*厳　渦　巻　衰　停　閉　鎖　吐　廃　棄　処　*直　触　択　迫

答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 新たなエネルギー源が求められているのはどうしてですか。
2. 最も期待される新しいエネルギー源とは何ですか。それはどのような点で優れていますか。
3. 世界の原子力開発の現状はどうですか。
4. 日本の現状はどうですか。
5. 1979年、スリーマイル島でどんな事故が起こりましたか。
6. 1986年、チェルノブイリでどんな事故が起こりましたか。
7. その事故はどんな被害をもたらしましたか。
8. 放射性廃棄物が恐ろしいのはどうしてですか。
9. 原子力発電の持つ良い点、悪い点を簡単にまとめてください。
10. あなたはどちらの生活を選びますか。

使いましょう

A 「～ざるを得ない」という言い方を練習しましょう。

1. テストの結果が悪ければ、＿＿＿＿＿＿＿ざるを得ない。
2. 約束した以上、＿＿＿＿＿＿＿ざるを得ない。
3. ＿＿＿＿＿＿＿ので、＿＿＿＿＿＿＿ざるを得なかった。
4. ＿＿＿＿＿＿＿限りは、＿＿＿＿＿＿＿ざるを得ない。
5. ＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿ざるを得ない。

B 「～てからというもの」という言い方を練習しましょう。

1. 帰国してからというもの、＿＿＿＿＿＿＿ている。
2. 父が九州へ転勤してからというもの、＿＿＿＿＿＿＿ない。
3. ＿＿＿＿＿＿＿からというもの、彼女は非常に明るくなった。
4. ＿＿＿＿＿＿＿からというもの、＿＿＿＿＿＿＿への関心が高まった。
5. ＿＿＿＿＿＿＿からというもの、＿＿＿＿＿＿＿。

C 「～ばかりか」という言い方を練習しましょう。

1. ＿＿＿＿＿＿＿は＿＿＿＿＿＿＿ばかりか、＿＿＿＿＿＿＿にも人気が高い。
2. ＿＿＿＿＿＿＿は＿＿＿＿＿＿＿ばかりか、＿＿＿＿＿＿＿ので、よく分からなかった。
3. ＿＿＿＿＿＿＿ばかりか、＿＿＿＿＿＿＿すら＿＿＿＿＿＿＿ない。
4. 兄は小説を書いている。そればかりか、＿＿＿＿＿＿＿。
5. ＿＿＿＿＿＿＿。そればかりか、＿＿＿＿＿＿＿。

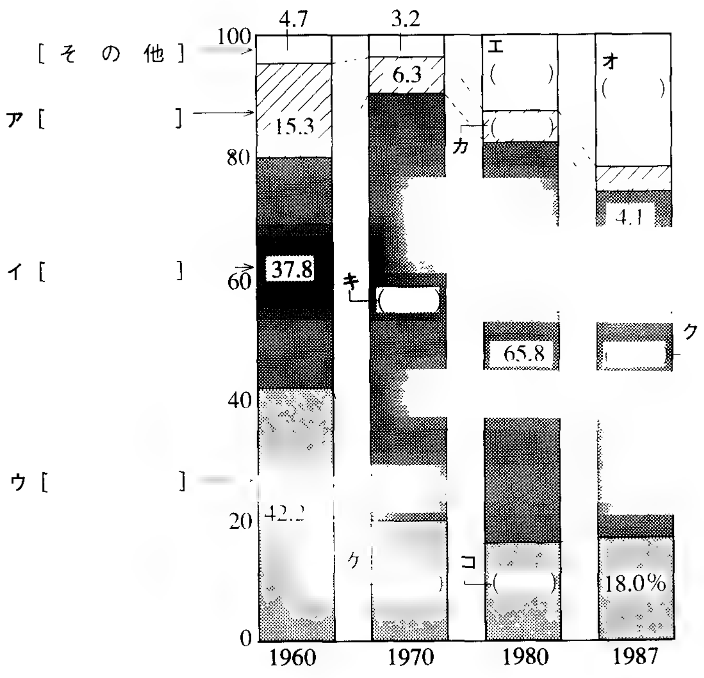
D 「〜うものなら」という言い方を練習しましょう。

1. このままでは、ちょっと強い風でも吹こうものなら＿＿＿＿＿＿だろう。
2. 私が何か言おうものなら＿＿＿＿＿＿。
3. ちょっとでも間違おうものなら＿＿＿＿＿＿。
4. ＿＿＿＿＿＿が＿＿＿＿＿＿ものなら、彼女はきっと泣き出すに違いない。
5. ＿＿＿＿＿＿ものなら＿＿＿＿＿＿。

聞きましょう

問題１　テープを聞いて答えてください。

日本のエネルギー供給の割合



問題２　次の文を聞いて、正しいものには○、正しくないものには×をつけてください。

①(　　) ②(　　) ③(　　) ④(　　) ⑤(　　)

[統計でよく使われる言葉]

割合　表す　〜パーセント(%)　占める　横ばい　〜分の〜　含む　増える　約〜　〜割

第４課 ――――【健康ブームの光と影】

ニュースを聞きましょう

Ⅰ　ニュースを聞いて次の質問に答えてください。

Ⅱ　ニュースを聞きながら、(　　)の中に言葉、数字を入れてください。

1.（　　　　　　　　）問題に取り組んでいた山野（やまの）さんが亡くなった。
――（　　　　　　　　）歳だった。
――（　　　　　　　　）病患者を治療していた。
――病気の原因は生活の（　　　　　　　　）がくずれること。
2.（　　　　　　　　）年前、本を書く。
――これは（　　　　　　　　）になる。
――この本が（　　　　　　　　）運動のきっかけ。
――現在、約（　　　　　　　　）人が参加。
3. 山野さんは、何でも（　　　　　　　　）ないようにすることだと書いた。
――そうすれば病気とは（　　　　　　　　）がなくなる。
――（　　　　　　　　）過ぎも良くないと冗談を言っていた。

Ⅲ　次の質問に答えて、ニュースをまとめてください。

新しい言葉

❖

新しい言葉I

評論（ひょうろん）スル	(評論（ひょうろん）)家（か）	取（と）り組（く）む	成人病（せいじんびょう）
バランス	注目（ちゅうもく）スル	(健康（けんこう）)物（もの）	ベストセラー
提唱（ていしょう）スル	予防（よぼう）スル	著書（ちょしょ）	日（ひ）ごろ

◆固有名詞　山野幸太郎（やまのこうたろう）／阿部道夫（あべみちお）

新しい言葉II

ブーム	影（かげ）	朝礼（ちょうれい）	最中（さいちゅう）ニ
保健室（ほけんしつ）	それも	ほんの	(20分（ぷん）)程度（ていど）
～ないまでも	炎天下（えんてんか）	夜更（よふ）かしスル	
(朝食（ちょうしょく）)抜（ぬ）き[←抜（ぬ）く]		エアコン[←エアコンディショナー]	
(～は)というと	長（ちょう）(時間（じかん）)	(立（た）ちっ)放（ぱな）し[←放（はな）す]	
残業（ざんぎょう）スル	次（つ）ぐ	過労（かろう）	(過労（かろう）)気味（ぎみ）
口実（こうじつ）	不健康（ふけんこう）ナ	(不健康（ふけんこう）)極（きわ）まりない	
行（ゆ）き着（つ）く	果（は）て	テーマ	(注目（ちゅうもく）を)浴（あ）びる
むしばむ	示（しめ）す	トレーニングスル	ルーム
プール	エアロビクス	スタジオ	備（そな）える
フィットネス(クラブ)		週末（しゅうまつ）	～ともなると
老若男女（ろうにゃくなんにょ）	(～を)問（と）わず	入会（にゅうかい）スル	不足（ふそく）スル
立（た）ち寄（よ）る	あの手（て）この手（て）	懇切丁寧（こんせつていねい）ナ・ニ	指導（しどう）スル

❖

ダイエットスル	所狭し(ところせま)と	薬品(やくひん)	メーカー
(〜に)限(かぎ)らず[←限(かぎ)る]		このところ	疲労(ひろう)スル
回復(かいふく)スル	栄養(えいよう)	補強(ほきょう)スル	製造(せいぞう)スル
販売(はんばい)スル	〜だけのことはある		CM
(〜に)しても	これでもか	(〜ん)ばかりニ	顔(かお)を出(だ)す
(体(からだ))づくり	ファッション	感(かん)	耳慣(みみな)れない
〜であろう	ウエルネス	概念(がいねん)	(10年(ねん))ほど
引用(いんよう)スル	定義(ていぎ)スル	各人(かくじん)	潜在(せんざい)スル
能力(のうりょく)	引(ひ)き出(だ)す	総合(そうごう)スル	
働(はたら)きかけ[←働(はたら)きかける]		出版(しゅっぱん)スル	訳(やく)す
〜というものではない		身体(しんたい)	精神(せいしん)
知的(ちてき)ナ・ニ	情緒(じょうちょ)	側面(そくめん)	
(バランスを)取(と)る		自己(じこ)	従来(じゅうらい)
もしくは	意味合(いみあ)い	(〜に)ひきかえ[←ひきかえる]	
問(と)いかける	示唆(しさ)スル	健全(けんぜん)ナ・ニ	(健全(けんぜん))なる
宿(やど)る	重(おも)きを置(お)く	〜きらいがある	呼(よ)びかける
(人間(にんげん))らしい	観点(かんてん)		

◆固有名詞　H. L. ダン／YMCA／ローマ

【健康ブームの光と影】

夏の朝、朝礼で校長先生の話の最中に倒れて、保健室に運ばれる子供たちの数が増えているという。それも、立っているのは長い時間ではなく、ほんの10分か20分程度（ていど）のことだという。以前は、全くとは言わないまでも、ほとんどの子供はそれぐらいの時間なら少々の炎天下（えんてんか）でも平気だった。夜更（よふ）かしをして朝食抜きで学校に来るからだとか、エアコンが普及して子供の体（からだ）そのものを変えてしまったからだとか、倒れる原因はいろいろ挙げられている。一方、大人（おとな）はというと、例えばサラリーマンは、朝から満員電車で長時間立ちっ放し、残業に次（つ）ぐ残業で過労（かろう）気味だ。たまったストレスの解消を口実に勤め帰りの一杯やたばこの吸い過ぎ。不健康極（きわ）まりない。そして、行き着く果ては成人病や過労死。随分（ずいぶん）前から健康というテーマは人々の関心を集め、注目を浴（あ）びている。この現代社会の不健康さが、とうとう子供たちの世界をむしばみ始めたことを、「倒れる子供たち」は示（しめ）している。

そんな社会を反映してか、トレーニング・ルームやプール、エアロビクス・スタジオを備（そな）えたフィットネスクラブでは、週末（しゅうまつ）ともなると、老若男女（ろうにゃくなんにょ）を問わず多くの入会者が日ごろの運動不足を解消しようと汗を流している。本屋に立ち寄れば、いかにすればやせられるかを、あの手この手と懇切（こんせつ）丁寧に指導（しどう）したダイエット物が所狭しと並べられており、ベストセラーになることも少なくない。薬品（やくひん）メ

---

*影　程　炎　*下　更　*体　*大人　*次　*過　*極　随　浴　*示

*備　*末　*若　*男　*女　懇　*指　*薬

【健康ブームの光と影】

ーカーに限らず、このところ多くの企業が疲労回復や栄養補強のための商品を競って製造、販売している。さすがに健康ブームと言われるだけのことはある。テレビ・ラジオのCMにしても、新聞の広告にしても、これでもかこれでもかと言わんばかりに健康関連商品が顔を出す。ある評論家の言葉を借りれば、正に「健康な体づくりは現代のファッションの一つ」といった感がある。

ところで、多くの人には耳慣れない言葉であろうが、健康問題を語る場合に「ウエルネス」という言葉が使われる。1961年に、アメリカ人、H. L. ダンがその著書の中で提唱した概念を表す言葉で、10年ほど前から広く引用されるようになったものである。その定義は「各人が置かれているその状況の中で、各人が持つ潜在的な能力を可能な限り最大限に引き出すことを目指した総合的な働きかけを言う」(『これからのウエルネス』YMCA出版) と訳されている。つまり、体さえ健康であればそれでいいというものではなく、一人の人間が身体的にも精神的にも、さらには、知的、情緒的、社会的側面においてもうまくバランスを取って、より良い自己を実現して生きることを目指す。そのような生き方をウエルネスと呼ぶのだと説明している。

従来、健康という言葉もしくは概念が、病気という言葉に対して「病気を予防する」「病気をしない状態」といった意味合いでしか使

---

*疲　復　養　補　製　造　販　論　著　*書　唱　概　*引　義
*潜　版　訳　精　緒　*側　己　防

【健康ブームの光と影】

われていなかったのにひきかえ、ウエルネスとは、我々に本当の健康とは何だろうと問いかける、大変示唆（しさ）に富んだ言葉ではないだろうか。ローマのことわざ「健全なる精神は健全なる身体に宿（やど）る」が表すように、我々は健康といえば、まず身体的健康に重きを置くきらいがある。ウエルネスが呼びかける「人間がより人間らしく幸せな生き方を実現するための多様な働きかけ」が本当に健康な生き方なのだという観点から、今の健康ブームをもう一度考え直し、健康問題に取り組む必要がありそうだ。

---

*示　唆　*宿

答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 最近、学校ではどんなことが起こっていますか。
2. なぜそのようなことが起こると言われていますか。
3. サラリーマンはどんな生活をしていますか。
4. 現代社会の不健康さはどんなところに反映されていますか。三つ挙げてください。
5. 評論家はこのような状況をどのように述べていますか。
6. 「ウエルネス」とはどういう意味ですか。
7. 以前、「健康」という言葉はどんな意味で使われていましたか。
8. 筆者の言う「健康な生き方」とはどんなことですか。
9. 筆者は今の健康ブームをどう考えていますか。簡単にまとめてください。
10. あなたは健康のために何をしていますか。

使いましょう

A 「～ないまでも」という言い方を練習しましょう。

1. 全員とは言わないまでも、せめて＿＿＿＿＿＿＿。
2. 世界一とは言えないまでも、＿＿＿＿＿＿＿は＿＿＿＿＿＿＿。
3. ＿＿＿＿＿＿＿できないまでも、＿＿＿＿＿＿＿なら＿＿＿＿＿＿＿。
4. ＿＿＿＿＿＿＿(こと)にはならないまでも、＿＿＿＿＿＿＿と見られている。
5. ＿＿＿＿＿＿＿ないまでも、＿＿＿＿＿＿＿。

B 「～ともなると」という言い方を練習しましょう。

1. この辺りは、普段＿＿＿＿＿＿＿が、お祭りともなると＿＿＿＿＿＿＿。
2. 国内旅行なら＿＿＿＿＿＿＿が、海外旅行ともなると＿＿＿＿＿＿＿。
3. ＿＿＿＿＿＿＿ともなると、日ごろ＿＿＿＿＿＿＿人も＿＿＿＿＿＿＿。
4. ＿＿＿＿＿＿＿と違って、＿＿＿＿＿＿＿ともなると、＿＿＿＿＿＿＿。
5. ＿＿＿＿＿＿＿ともなると、さすがに＿＿＿＿＿＿＿。

C 「～に限らず」という言い方を練習しましょう。

1. この番組は＿＿＿＿＿＿＿に限らず、＿＿＿＿＿＿＿にも＿＿＿＿＿＿＿。
2. ＿＿＿＿＿＿＿は、国内に限らず、＿＿＿＿＿＿＿まで＿＿＿＿＿＿＿。
3. 東京やニューヨークに限らず、大都会はどこでも＿＿＿＿＿＿＿。
4. ＿＿＿＿＿＿＿や＿＿＿＿＿＿＿に限らず、＿＿＿＿＿＿＿は＿＿＿＿＿＿＿。
5. ＿＿＿＿＿＿＿に限らず、＿＿＿＿＿＿＿。

D 「〜というものではない/〜というものでもない」という言い方を練習しましょう。

D -1 「〜というものではない」

1. 料理というものは＿＿＿＿＿＿＿＿ものので、＿＿＿＿＿＿＿＿というものではありません。
2. 医療技術は＿＿＿＿＿＿＿＿ものです。命を長く生かせばいいというものではないはずです。
3. 環境問題は＿＿＿＿＿＿＿＿解決すべきものであり、決して＿＿＿＿＿＿＿＿というものではない。
4. 幸せというものは＿＿＿＿＿＿＿＿で、＿＿＿＿＿＿＿＿というものではない。
5. ＿＿＿＿＿＿＿＿は決して＿＿＿＿＿＿＿＿できるというものではない。

D -2 「〜というものでもない」

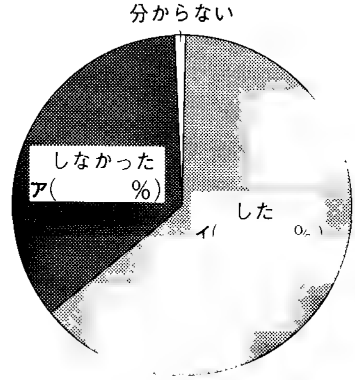
1. 結婚相手は＿＿＿＿＿＿＿＿ばいいというものでもない。
2. 外国語の勉強は＿＿＿＿＿＿＿＿ば＿＿＿＿＿＿＿＿というものでもない。
3. 会社の経営は深刻な状態なので、ただ＿＿＿＿＿＿＿＿ばいいというものでもない。
4. ＿＿＿＿＿＿＿＿は＿＿＿＿＿＿＿＿。だからと言って、＿＿＿＿＿＿＿＿というものでもない。
5. ＿＿＿＿＿＿＿＿は＿＿＿＿＿＿＿＿。しかし＿＿＿＿＿＿＿＿てもいいというものでもないだろう。

聞きましょう

問題1　テープを聞いて答えてください。

「運動」に関する調査結果

『去年一年間に何か運動をしましたか』



『どんな運動をしましたか』

ウ[　　　　　　　]	22.3%
ボールを使った軽い運動	オ(　　)%
歩く運動	カ(　　)%
ボーリング	キ(　　)%
エ[　　　　　　　]	11.2%

問題2　次の文を聞いて、正しいものには○、正しくないものには×をつけてください。

①(　　　)　②(　　　)　③(　　　)　④(　　　)　⑤(　　　)

[統計でよく使われる言葉]

次いで　　以下～　　逆に　　半分

第5課　【猫ばばと死刑】

ニュースを聞きましょう

I　ニュースを聞いて次の質問に答えてください。

II　ニュースを聞きながら、(　　)の中に言葉、数字を入れてください。

1. 長野県(ながのけん)で(　　　　　　　　)殺人事件が起こった。
 ——事件は昨年の(　　　　　　　　)月(　　　　　　　　)日。
 ——(　　　　　　　　.)歳の教授が殺された。
 ——警察(けいさつ)が(　　　　　　　　)を続けていた。
2. 逮捕(たいほ)されたのは(　　　　　　　　)市に住む男性。
 ——大学で(　　　　　　　　)をしていた。
 ——去年(　　　　　　　　)月やめた。
 ——今は(　　　　　　　　)をしている。
3. (　　　　　　　　)関係者の話では、
 ——平田容疑者(ひらたようぎしゃ)は教授と(　　　　　　　　)が合わなかった。
 ——教授に(　　　　　　　　)を持っていた。
 ——警察では、夜、教授の(　　　　　　　　)へ行って殺したと見ている。
 ——しかし(　　　　　　　　)を否認(ひにん)している。

III　次の質問に答えて、ニュースをまとめてください。

新しい言葉

❖

新しい言葉 I

教授（きょうじゅ）スル	殺人（さつじん）	本部（ほんぶ）	容疑（ようぎ）
逮捕（たいほ）スル	何者（なにもの）か	襲（おそ）う	～ものだ
犯行（はんこう）	捜査（そうさ）スル	終（お）える	同（どう）(大学（だいがく）)
恨（うら）み[←恨（うら）む]	忍（しの）び込（こ）む	否認（ひにん）スル	

◆固有名詞　長野県（ながのけん）／松本市（まつもとし）／長野県警察本部（ながのけんけいさつほんぶ）／松本工業大学（まつもとこうぎょうだいがく）／久保聡（くぼさとし）／平田明夫（ひらたあきお）

新しい言葉 II

猫（ねこ）ばばスル	死刑（しけい）	貴重（きちょう）ナ	届（とど）ける
にぎわす	スーパー[←スーパーマーケット]		現金（げんきん）
事（こと）の始（はじ）まり	店内（てんない）	手渡（てわた）す	交番（こうばん）
届（とど）け	当（とう）の	受（う）け取（と）る	～ことから
妙（みょう）ナ・ニ	方向（ほうこう）	(～と)する	夫婦（ふうふ）
及（およ）び	追（お）い詰（つ）める	あわや	
届（とど）け出（で）[←届（とど）け出（で）る]		警察官（けいさつかん）	判明（はんめい）スル
ともあれ	(その)間（かん）	嫌疑（けんぎ）	(嫌疑（けんぎ）を)掛（か）ける
世間（せけん）	白（しろ）い目（め）	苦（くる）しめる	～までもない
成（な）り行（ゆ）き	(成（な）り行（ゆ）き)いかん		犯人（はんにん）
人権（じんけん）	身（み）	降（ふ）りかかる	

(〜ないとも)限(かぎ)らない		ぞっとする	(少(すく)な)からず
さかのぼる	夫人(ふじん)	殺害(さつがい)スル	〜とあって
全力(ぜんりょく)	(捜査(そうさ)に)当(あ)たる	無職(むしょく)	無実(むじつ)
主張(しゅちょう)スル	地方裁判所(ちほうさいばんしょ)	証拠(しょうこ)	不十分(ふじゅうぶん)ナ
無罪(むざい)	判決(はんけつ)	下(くだ)す	検察(けんさつ)
控訴(こうそ)スル	高等裁判所(こうとうさいばんしょ)	最高裁判所(さいこうさいばんしょ)	審理(しんり)スル
懲役(ちょうえき)	刑(けい)	確定(かくてい)スル	服役(ふくえき)スル
刑期(けいき)	刑務所(けいむしょ)	真(しん)(犯人(はんにん))	名乗(なの)り出(で)る
再開(さいかい)スル	最終(さいしゅう)	証明(しょうめい)スル	(〜に)して
勝(か)ち取(と)る	異例(いれい)	(異例(いれい))ずくめ	道(みち)のり
歩(あゆ)む	えん罪(ざい)	有罪(ゆうざい)	身内(みうち)
支援(しえん)スル	長年(ながねん)	実(み)を結(むす)ぶ	逆転(ぎゃくてん)スル
接(せっ)する	裁(さば)く	(恐(おそ)ろし)さ	
〜ずにはいられない		我(わ)が(身(み))	
(〜として)捕(と)らえる		執行(しっこう)スル	(責任(せきにん)を)取(と)る
(取(と)り)得(う)る	国連(こくれん)[←国際連合(こくさいれんごう)]		支持(しじ)スル
廃止(はいし)スル	条約(じょうやく)	採択(さいたく)スル	契機(けいき)
ないしは	全面(ぜんめん)	国内(こくない)	(〜に)あって
先立(さきだ)つ	犯罪(はんざい)	処罰(しょばつ)スル	世論調査(よろんちょうさ)
実施(じっし)スル	対象(たいしょう)	検討(けんとう)スル	見送(みおく)る

❖

結論(けつろん)スル	至(いた)る	罪(つみ)を憎(にく)んで人(ひと)を憎(にく)まず	
建(た)て前(まえ)	(廃止(はいし))論(ろん)	賛成(さんせい)スル	まして
晴(は)らす	〜ずにはおかない	何(なん)とかスル	(〜ない)ものか
法律(ほうりつ)	いっそ	(〜て)やる	情(じょう)
本音(ほんね)	納得(なっとく)スル	足(た)る	裁判(さいばん)スル
基(もと)づく	生(しょう)じる	言(い)い切(き)る	不正(ふせい)ナ・ニ
正(ただ)す	市民(しみん)	〜からして	組織(そしき)スル
内部(ないぶ)	疑(うたが)い[←疑(うたが)う]	起(お)こす	〜始末(しまつ)だ
何(なん)の〜も(〜ない)		(殺人(さつじん))犯(はん)	扱(あつか)い[←扱(あつか)う]
大半(たいはん)	犠牲(ぎせい)	保証(ほしょう)スル	

◆固有名詞　関西(かんさい)／青森県(あおもりけん)／弘前市(ひろさきし)

【猫ばばと死刑】

お金や貴重な物を拾っても警察に届けず、自分の物にしてしまうことを「猫ばばする」と言う。この言葉がマスコミをにぎわした事件があった。関西のあるスーパーで、客が15万円の現金を拾ったのが事の始まりである。「店内で拾った」と言ってそれを手渡されたスーパー経営者の妻Aさんは、すぐに近くの交番に届けを出した。ところが当の警察が、そんなお金は受け取っていないと言い出したことから、事件は妙な方向に動き出した。警察は、Aさんがお金を猫ばばしたものとして捜査を始め、Aさん夫婦及びその家族を追い詰めていく。あわや逮捕というところで、届け出を受けた交番の警察官の一人が猫ばばしていたことが判明し、ともあれ事件は解決した。しかし、その間、嫌疑を掛けられたAさんが世間から白い目で見られ、苦しめられたのは言うまでもなく、事件の成り行きいかんでは犯人にされる恐れさえあった。マスコミはこの事件を人権問題として取り上げたが、この事件を知って、同じようなことが自分の身に降りかからないとも限らないと思い、ぞっとした人も少なからずいたであろう。

時代はさかのぼって、1949年8月。青森県弘前市で大学教授の家に何者かが忍び込み、教授の妻が襲われ殺されるという事件があった。教授夫人殺害とあって、同県警察本部は、全力を挙げて捜査に当たった。その結果、事件から二週間ばかりして、Nさんという25

刑　貴　警　察　届　*西　*店　渡　妙　捜　*夫　逮　*捕　*嫌
疑　*間　*成　犯　権　*身　県　弘　*前　忍　襲

猫ばばと死刑

歳になる無職の青年が事件の容疑者として逮捕された。犯行を否認し、無実を主張するNさんに対して、地方裁判所は証拠不十分で無罪の判決を下すのだが、検察側は控訴。高等裁判所、最高裁判所と審理が続けられた末に、懲役15年の刑が確定し、Nさんは服役した。ところが、Nさんが刑期を終え刑務所を出てから、真犯人が名乗り出、審理が再開され、その結果、最終的にNさんの無実が証明されることになる。逮捕されてから30年にしてやっと勝ち取った無罪判決である。異例ずくめと言われたこの事件で、無罪までの長い道のりを歩んだ25歳の青年は、そのとき既に55歳になっていた。

えん罪とは、無実の者が有罪の判決を下されることを言う。Nさんの事件以外にもえん罪事件があり、身内や支援グループの長年にわたる努力が実を結び、死刑が無罪に逆転したというケースもいくつかある。このようなえん罪事件に接すると、人が人を裁くことの恐ろしさを考えずにはいられない。えん罪事件の報道の度に、「もし間違って逮捕されていたのが自分だったら・・・」と、それを、我が身の事として捕らえた人も少なくなかったはずである。死刑の判決が下され執行された後で、それがえん罪であったことが判明した場合、一体誰が、どんな責任を取り得るのであろうか。

1989年、国連では多くの国の支持を得て、死刑廃止条約が採択された。これを契機に、死刑制度を一部、ないしは全面的に廃止する

---

*否 *認 裁 *拠 罪 *下 検 控 訴 等 審 懲 *役 再
*歩 *内 *支 *裁 *度 執 *得 条 採

猫ばばと死刑

国が増え、1991年現在、その数は80か国以上に上っている。一方、国内にあっては、国連での条約の採択に先立ち、1988年、政府によって『犯罪と処罰(しょばつ)に関する世論(よせろん)調査』が実施(じっし)された。それによると、調査対象となった人のうち三人に二人が「死刑制度の廃止には反対」と答えたということである。政府はこの調査結果を検討(けんとう)した上で、条約の採択を見送るという結論に至(いた)った。この調査では、「『罪(つみ)を憎(にく)んで人を憎まず』、建(た)て前(まえ)としては死刑廃止論に賛成(さんせい)です。しかし、身内の一人が殺され、ましてそれが子供であったりした場合、恨(うら)みを晴らさずにはおかない、何とかできないものか。法律でできないなら、いっそこの手で殺してやろう・・・そう思うのが人の情というものではないでしょうか」と、人間の本音(ほんね)が語られている。

感情的には確かに納得(なっとく)するに足(た)る意見である。しかし、裁判が人間の判断に基(もと)づいて行われる以上、全く間違いが生じないとは言い切れない。現に、不正を正し、市民の安全を守るべき警察からして組織(そしき)内部の不正すら見つけられず、市民に疑(うたが)いを掛けるという事件を起こす始末(しまつ)である。また、30年もの間、何の罪もないのに殺人犯扱(あつか)いされ、人生の大半を犠牲(ぎせい)にした人もいるのである。人が人を裁く限り、このような人がもう二度と現れないという保証はどこにもない。

罰 *世 施 討 至 *罪 憎 *建 賛 恨 *音 納 *得 *足
基 *組 織 *疑 *始 扱 犠 牲

答えましょう

次の質問に答えてください。

1. Aさんはどんな嫌疑を掛けられましたか。
2. 事件が解決するまでの間、Aさんはどんな状況に立たされましたか。
3. 犯人は誰でしたか。この事件を知って、筆者はどう考えましたか。
4. Nさんは何の容疑で逮捕されましたか。
5. 逮捕から無罪までの道のりを説明してください。
6. 現在、死刑制度に対して世界ではどのような動きがありますか。
7. 死刑制度に対する日本の世論はどうですか。
8. それはどんな理由からですか。
9. 死刑制度の恐ろしさはどんな点にありますか。簡単にまとめてください。
10. あなたは死刑制度に賛成ですか、反対ですか。

使いましょう

A 「～までもない」という言い方を練習しましょう。

1. 簡単な問題だから____________までもない。
2. 過去のデータからすると、____________は____________までもないことだ。
3. 言うまでもなく____________は____________。
4. ____________は____________から、わざわざ言うまでもないだろう。
5. ____________は____________ので、____________までもない。

B 「～限らない」という言い方を練習しましょう。

B -1 「～ないとも限らない」

1. 恐らくだめだろうが、____________とも限らないから、一度やってみよう。
2. 何かの間違いで____________とも限らないから、十分注意しなければならない。
3. 実際にやってみれば____________とも限らないから、____________。
4. 将来、____________とも限らないので、____________。

B -2 「～とは限らない」

1. いつもうまくいっているからといって、____________とは限らない。
2. 日本の大学生すべてが____________とは限らない。
3. 全く____________とは限らないので、____________。
4. 必ずしも____________とは限らないから、____________。

C 「〜ずにはいられない」という言い方を練習しましょう。

1. ストレスがたまると、＿＿＿＿＿＿＿ずにはいられない。
2. ＿＿＿＿＿＿＿を考えると、＿＿＿＿＿＿＿ずにはいられなくなる。
3. ＿＿＿＿＿＿＿と、＿＿＿＿＿＿＿ずにはいられない時もある。
4. ＿＿＿＿＿＿＿時は、＿＿＿＿＿＿＿ずにはいられない。
5. ＿＿＿＿＿＿＿ずにはいられない場合には、＿＿＿＿＿＿＿。

D 「〜ないものか」という言い方を練習しましょう。

1. もう随分待っているんです。何とか今年中には＿＿＿＿＿＿＿ていただけないものでしょうか。
2. もう少し＿＿＿＿＿＿＿てくれないものだろうか。このままではみんな分からないよ。
3. 彼、もっと＿＿＿＿＿＿＿ないものかなあ。今のままでは家族がかわいそうだ。
4. いろいろ試してみたんですが、だめなんです。何か＿＿＿＿＿＿＿ないものでしょうか。
5. いつまで＿＿＿＿＿＿＿のだろう。早く＿＿＿＿＿＿＿ないものか。

聞きましょう

問題1　テープを聞いて答えてください。

死刑制度に関するアンケート結果

表A

	賛成(%)	反対(%)
男性	61.2	ア(　　)
女性	イ(　　)	66.7
全体	ウ(　　)	エ(　　)

表B

年代	賛成(%)	反対(%)	アンケートに答えた人の数(人)
60歳以上	オ〈　　〉	カ〈　　〉	222
50歳代	64.6	35.4	178
40歳代	63.2	36.8	337
30歳代	キ〈　　〉	ク〈　　〉	359
20歳代	50.0	50.0	88
全体	60.4	39.6	1,184

A：19.8　　B：46.0　　C：54.0　　D：80.2

問題2　次の文を聞いて、正しいものには○、正しくないものには×をつけてください。

①(　　)　②(　　)　③(　　)　④(　　)　⑤(　　)

[統計でよく使われる言葉]

傾向　対象　賛成　反対　逆転する　同率　上回る　最(もっと)も

第6課 ――――――――【神の手・人の手】

ニュースを聞きましょう

Ⅰ　ニュースを聞いて次の質問に答えてください。

Ⅱ　ニュースを聞きながら、(　　)の中に言葉、数字を入れてください。

1．日本産婦人科学会は(　　　　　　　　)医療は早過ぎると考えている。
　――(　　　　　　　　)実施について検討されてきた。
　――アメリカでは(　　　　　　　　)が起きている。
　――(　　　　　　　　)的にも、日本では受け入れにくい。
　――早過ぎるという(　　　　　　　　)に至った。

2．日本では(　　　　　　　　)に悩む人に「人工授精」「体外受精」などがある。
　――海外で(　　　　　　　　)医療を受ける人もいる。
　――(　　　　　　　　)が掛かるので、国内実施が望まれている。
　――この問題は幅広い(　　　　　　　　)の人たちに呼びかけ、検討を続ける。

Ⅲ　次の質問に答えて、ニュースをまとめてください。

新しい言葉

新しい言葉 I

第三者（だいさんしゃ）	子宮（しきゅう）	代理母（だいりはは）	産婦人科（さんふじんか）
学会（がっかい）	倫理（りんり）	不妊（ふにん）	人工授精（じんこうじゅせい）
体外受精（たいがいじゅせい）	望む（のぞむ）		

◆固有名詞　日本産婦人科学会（にほんさんふじんかがっかい）

新しい言葉 II

神（かみ）	オギャー	生命（せいめい）	誕生（たんじょう）スル
胎内（たいない）	自ら（みずから）	肺（はい）	呼吸（こきゅう）スル
宣言（せんげん）スル	ドラマ	演じる（えんじる）	創造（そうぞう）スル
気が遠くなる（きがとおくなる）	流れ（ながれ）[←流れる（ながれる）]	原始（げんし）	生物（せいぶつ）
陸（りく）	適応（てきおう）スル	進化（しんか）スル	
そっくりそのまま		凝縮（ぎょうしゅく）スル	～ともなく
摂理（せつり）	領域（りょういき）	敬意（けいい）	(敬意（けいい）を)払う（はらう）
謙虚（けんきょ）ナ・ニ	仕組み（しくみ）[←仕組む（しくむ）]		解き明かす（ときあかす）
試みる（こころみる）	人体（じんたい）	細胞（さいぼう）	分裂（ぶんれつ）スル
およそ	(10か月（げつ）)掛ける（かける）	兆（ちょう）	受精（じゅせい）スル
染色体（せんしょくたい）	組み合わせ（くみあわせ）[←組み合わせる（くみあわせる）]		性別（せいべつ）
(染色体（せんしょくたい）)中（ちゅう）	DNA	物質（ぶっしつ）	遺伝（いでん）スル
伝達（でんたつ）スル	出産（しゅっさん）スル	神秘（しんぴ）	ベール

❖

包(つつ)む	胎児(たいじ)	近代(きんだい)	医学(いがく)
(光(ひかり)を)当(あ)てる	秘密(ひみつ)	はがす	うかがい知(し)る
複雑(ふくざつ)ナ・ニ	メカニズム	徐々(じょじょ)に	だが
踏(ふ)み込(こ)む	解明(かいめい)スル	過程(かてい)	応用(おうよう)スル
超(こ)える	積極的(せっきょくてき)ナ・ニ	(子宮(しきゅう))内(ない)	受精卵(じゅせいらん)
判別(はんべつ)スル	精密(せいみつ)ナ・ニ	検査(けんさ)スル	正常(せいじょう)ナ・ニ
見極(みきわ)める	挑戦(ちょうせん)スル	(〜に)ほかならない	
姿勢(しせい)	観察(かんさつ)スル	なぞ	異(こと)なる
遺伝子(いでんし)	微妙(びみょう)ナ・ニ	クローン	同一(どういつ)
個体(こたい)	理論(りろん)	老人性痴呆症(ろうじんせいちほうしょう)	難病(なんびょう)
中絶(ちゅうぜつ)スル	段階(だんかい)	歯止(はど)め	失(うしな)う
飛躍(ひやく)スル	(死亡(しぼう))率(りつ)	大幅(おおはば)ナ・ニ	低下(ていか)スル
並行(へいこう)スル	法(ほう)	論議(ろんぎ)スル	(論議(ろんぎ)を)呼(よ)ぶ
〜にも増して	判定(はんてい)スル	根底(こんてい)	
(〜というより)むしろ		かかわる	〜といえども
手(て)を出(だ)す	境界(きょうかい)	(境界線(きょうかいせん)を)引(ひ)く	言(い)い換(か)える
改(あらた)めて			

【神の手・人の手】

「オギャー！」 新しい生命誕生の瞬間である。それまで母の胎内で生きてきた一つの生命が、自らの肺で呼吸し、自らの力で生きると独立宣言をする声でもある。この生命の誕生というドラマ。270日余りの間、子宮という小さな宇宙で演じられる創造のドラマ。そこには、40億年という気の遠くなるような時間の流れの中で、原始の海に誕生した生物が陸の生活に適応し、人類へと進化してきた歴史がそっくりそのまま凝縮されているとも言う。我々は、この生命の誕生を、いつからともなく、自然の摂理という言葉で語り、神の領域に属するものとして捕らえてきた。

人間はこの自然の摂理に対して敬意を払いつつも、謙虚な気持ちでその仕組みを少しずつ解き明かそうと試みてきた。その結果、今では、人体が「細胞」から出来ていること、たった一つの細胞が母親の胎内で分裂を繰り返し、およそ10か月掛けて４兆にまで増え、次第に人間の姿になっていくこと、また、受精時の染色体の組み合わせにより男女の性別が決まり、その染色体中のDNAと呼ばれる物質が遺伝の情報を伝達することなどが分かっている。さらに、出産まで神秘のベールに包まれていた胎児の様子が、出産前に確かめられるようになり、その性別まで知ることができるようになった。

このように、近代医学は、生命の神秘に科学の光を当て、その秘密のベールを一枚ずつはがすことによって、それまではうかがい知

---

*神　胎　*自　肺　宣　*言　宮　演　創　凝　摂　謙　虚　*解
*明　細　胞　裂　兆　*色　包　児　密

【神の手・人の手】

ることのできなかった複雑な生命のメカニズムを、徐々に明らかにしてきた。だが、人間は、いつのころからか謙虚さを忘れ、神の領域にまで踏み込み始めたように思える。すなわち、自然の摂理を科学的に解明する過程で手に入れた知識や技術を応用し、それまでは人間の力を超えるものという捕らえ方をしていた生命の仕組みに対して、積極的に手を加え始めたのである。現在の産婦人科医療などは、その良い例である。「人工授精」や「体外受精」などが不妊治療として一般化しており、さらに、第三者の子宮内で受精卵を育てる、いわゆる「代理母」さえ存在する。また、出産前に男女が判別できるばかりではなく、精密な検査によって胎児が正常かどうかを見極め、必要ならば、胎内で治療・手術することすらも可能である。これらはすべて、人間の自然の摂理に対する一つの挑戦にほかならず、神秘的な神の領域を謙虚な姿勢で観察し、生命誕生のなぞを解明しようとしていたのとは、大きく異なると言える。

さらに現在では、遺伝子の微妙な操作によって、クローンと呼ばれる全く同一の個体を作り出すことが可能であり、理論上は、「クローン人間」を作ることも可能なのだ。また、老人性痴呆症、白血病などの難病を治療するため、中絶された胎児の細胞を患者に移植する方法などは、もう実用段階に来ている。医療技術の進歩はとどまるところを知らず、歯止めを失った感がある。

複　徐　踏　超　積　*卵　挑　*姿　*異　微　痴　呆

【神の手・人の手】

確かに、平均寿命は飛躍的に伸び、死亡率は大幅に低下してきた。が、それと並行して、医療技術の進歩が引き起こす法的、倫理的、宗教的問題は、関係学会に限らず広く論議を呼び、以前にも増して、大きな社会問題となっている。脳死を死と判定するかどうかという問題などはその典型と言っていいだろう。このような論議が起こる根底には、生と死の問題は、医療の分野というよりむしろ、神の領域にかかわる問題であり、医学といえども、手を出すべき問題ではないという考え方があるのではないだろうか。

医療技術のより一層の進歩が望まれる一方で、人間が人間のコピーを作り出したり、胎児に手を加えるということも可能になりつつある。我々は、自然の摂理という神の領域と人間の領域の境界線をどこに引くべきか、言い換えれば、人間が踏み込むことができる領域はどこまでなのか、ここでもう一度、改めて考えてみる必要がある。

躍 *並 倫 *底 層 望 境 *改

答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 「オギャー」という声は何を宣言する声ですか。
2. 人間は生命の誕生に対してどのような捕らえ方をしてきましたか。
3. 現在、生命誕生の仕組みについて分かっていることはどんなことですか。
4. 生命の仕組みに対する姿勢はどう変わりましたか。
5. 例えば、今、どういうことが行われていますか。
6. これからどんなことが可能になると言われていますか。
7. 医療技術の進歩はどんな社会問題を引き起こしていますか。
8. その根底にあるのはどのような考え方だと言っていますか。
9. 生命の仕組みに対する捕らえ方はどう変わってきましたか。簡単にまとめてください。
10. あなたは人間が踏み込むことができる領域はどこまでだと思いますか。

使いましょう

A 「～ともなく」という言い方を練習しましょう。

1. ＿＿＿＿＿＿＿＿はどこへともなく＿＿＿＿＿＿＿＿。
2. いつからともなく、＿＿＿＿＿＿＿＿。
3. 何を買うともなく、＿＿＿＿＿＿＿＿。
4. 何をするともなく、＿＿＿＿＿＿＿＿。
5. ＿＿＿＿＿＿＿＿ともなく、＿＿＿＿＿＿＿＿。

B 「～にほかならない」という言い方を練習しましょう。

1. ＿＿＿＿＿＿＿＿は両親のおかげにほかならない。
2. ＿＿＿＿＿＿＿＿は侵略行為にほかならない。
3. ＿＿＿＿＿＿＿＿は神への挑戦にほかならない。
4. ＿＿＿＿＿＿＿＿は現代の生活に問題があるからにほかならない。
5. ＿＿＿＿＿＿＿＿は＿＿＿＿＿＿＿＿にほかならない。

C 「～というよりむしろ」という言い方を練習しましょう。

1. A: 環境破壊はその国だけの問題でしょうか。
   B: その国だけの問題というよりむしろ，＿＿＿＿＿＿＿＿。
2. A: ダイエットをするのは健康を考えてのことでしょうか。
   B: いいえ、＿＿＿＿＿＿＿＿というよりむしろ、＿＿＿＿＿＿＿＿。
3. A: 結婚して仕事をやめる女性が多いのは仕事をしたくないからなのですか。
   B: いいえ、＿＿＿＿＿＿＿＿というよりむしろ、＿＿＿＿＿＿＿＿。

4. A: ＿＿＿＿＿＿＿＿。
　B: いいえ、サラリーマンの過労死は個人の問題というよりむしろ、＿＿＿＿＿。
5. A: ＿＿＿＿＿＿＿＿。
　B: ＿＿＿＿＿＿＿＿というよりむしろ，＿＿＿＿＿＿＿＿。

D 「～といえども」という言い方を練習しましょう。

1. 休みの日といえども＿＿＿＿＿＿＿＿。
2. 医療技術の進歩した現代といえども＿＿＿＿＿＿＿＿。
3. ＿＿＿＿＿＿＿＿といえども＿＿＿＿＿＿＿＿わけにはいかない。
4. ＿＿＿＿＿＿＿＿といえども＿＿＿＿＿＿＿＿が必要だ。
5. ＿＿＿＿＿＿＿＿といえども＿＿＿＿＿＿＿＿。

聞きましょう

問題1　テープを聞いて答えてください。

赤ちゃんの死亡率(A)と全体の死亡率(B)

国名	A	B	
	1985～1990	1955	1985～1990
ア[　　　]	0.5	0.8	0.6
韓国	エ(　　　)	1.6	0.6
中国	3.2	1.2	0.7
イ[　　　]	10.4	2.1	オ(　　　)
イギリス	カ(　　　)	1.2	1.1
スウェーデン	キ(　　　)	1.0	ク(　　　)
フランス	0.8	1.2	1.0
ウ[　　　]	1.0	0.9	0.9

問題2　次の文を聞いて、正しいものには○、正しくないものには×をつけてください。

①(　　　)　②(　　　)　③(　　　)　④(　　　)　⑤(　　　)

[統計でよく使われる言葉]

表(ひょう)　～率　低下する　比較(ひかく)する　下がる　若干(じゃっかん)

第7課――【顔をなくしたふるさと】

ニュースを聞きましょう

I　ニュースを聞いて次の質問に答えてください。

II　ニュースを聞きながら、(　　)の中に言葉、数字を入れてください。

1. 政府は新しい(　　　　　　　　)の実現を目指す。
　　そのため(　　　　　　　　)余りの市町村(しちょうそん)を援助。
　――援助金は(　　　　　　　　)円。
　――いわゆる(　　　　　　　　)興(おこ)し、(　　　　　　　　)興しを目指す。
2. 今回の計画は(　　　　　　　　)計画などと違う。
　――(　　　　　　　　)主導型ではない。
　――各(　　　　　　　　)が地域づくりをする。
　――政府の新しい(　　　　　　　　)に基づいている。
　――現在の(　　　　　　　　)にはお金を出さない。
　――(　　　　　　　　)で個性的なことに出す。
　――あくまで(　　　　　　　　)考えを大切にする。
3. 各自治体は(　　　　　　　　)に計画を受け入れる。
　――「新しい(　　　　　　　　)づくり」のアイディアを地域住民に呼びかけた所もある。
　――(　　　　　　　　)ごろまでにアイディアを発表。
　――新しい地方の時代の(　　　　　　　　)になるかもしれない。
　――(　　　　　　　　)の中小企業が期待。

III　次の質問に答えて、ニュースをまとめてください。

新しい言葉

❖

新しい言葉Ⅰ

地方《ちほう》	市町村《しちょうそん》	交付《こうふ》スル	活性化《かっせいか》スル
村興《むらおこ》し	町興《まちおこ》し	リゾート	(地方《ちほう》)自治体《じちたい》
中央主導型《ちゅうおうしゅどうがた》	活力《かつりょく》	中《なか》には	(援助《えんじょ》)金《きん》
Uターンスル	人手《ひとで》	(人手《ひとで》)不足《ぶそく》	

新しい言葉Ⅱ

なくす	観光《かんこう》スル	収入《しゅうにゅう》	増《ふ》やす
(若者《わかもの》)離《ばな》れ	実状《じつじょう》	即《そく》する	(政策《せいさく》を)立《た》てる
沿《そ》う	大《だい》(企業《きぎょう》)	誘致《ゆうち》スル	図《はか》る
躍起《やっき》	集中《しゅうちゅう》スル	疲弊《ひへい》スル	(問題《もんだい》)視《し》スル
促《うなが》す	バックアップスル	(三千《さんぜん》)余《よ》	一律《いちりつ》ニ
熱《ねつ》を入《い》れる	(熱《ねつ》の入《い》れ)よう	(言《い》うこと)なし	
ありがたき[←ありがたし]		～かな	地《ち》
後《あと》にする	小学生《しょうがくせい》	うっそうと	茂《しげ》る
杉林《すぎばやし》	城跡《しろあと》	泥《どろ》	(泥《どろ》)だらけ
遊《あそ》び回《まわ》る	てこずる	列車《れっしゃ》	遠《とお》ざかる
身《み》を切《き》る	(十数年《じゅうすうねん》)ぶり	恵《めぐ》まれる	プラットホーム
降《お》り立《た》つ	(～を)よそに	取《と》り引《ひ》きスル	(取《と》り引《ひ》き)先《さき》

❖

打ち合わせ[←打ち合わせる]		心ここにあらず	上の空
依頼スル	無事ナ・ニ	気になる	(〜て)ならない
ついでニ	昔なじみ	夕食	断る
捕れる	昔ながら	町並み	架かる
腕白ナ	運	夕日	(〜に)違いない
〜ばかりに	入る	傷む	(仕事)柄
通り	商店	(商店)街	今風
造り[←造る]	〜といい、〜といい		見回す
目に付く	全国チェーン	何かしら	裏切る
気がする	似ても似つかぬ	高級ナ	変貌スル
〜ではないか	メニュー	郷土料理	横
目の玉が飛び出る		もうける	過疎
小(都市)	生き延びる	仕方がない	食欲
(食欲を)そぐ	手前	雰囲気	〜なりとも
味わう	気を取り直す	注文スル	応対スル
〜こととて	〜上で	不可欠ナ	異論
よそよそしい	たたずまい	何とも	割り切る
(感じる)ばかり			

◆固有名詞　石川啄木『一握の砂』／山陰

【顔をなくしたふるさと】

今、日本全国の市町村で「村興し」「町興し」が行われている。より多くの観光客を集め観光収入を増やせるようにと、また人手不足解消のために若者離れを止め、さらには、既に都会に出てしまった若者をＵターンさせられるようにと、活力ある村づくり、町づくりが目指されている。各自治体ともそれぞれの実状に即した政策を立て、それに沿って、あるいはリゾート開発プロジェクトを実施し、また中央から大企業の誘致を図ったりと、いわゆる「地域の活性化」に躍起である。一方、政府も、大都市への人口の集中化、その結果としての地方都市の疲弊化を問題視しており、1989年には地域の活性化を促し、それを経済的にバックアップする目的で、全国三千余の市町村に一律１億円の援助金を交付するほどの熱の入れようである。

ふるさとの山に向かひて
言ふことなし
ふるさとの山はありがたきかな　　(石川啄木『一握の砂』より)

私が生まれ育った地——山陰の小さな地方都市なのだが、そこを後にしたのは10歳の時のことだから、もう三十数年も前のことになる。当時小学生だった私は、毎日学校が終わると仲間と集まっては、暗くなるまで湖で魚釣りをしたり、うっそうと茂る杉林に囲まれた

---

*町 *村 興 収 沿 *誘 致 *図 *起 弊 促 *付 *熱 *石 啄 *木 *握 *砂 *陰 釣 茂 杉

顔をなくしたふるさと

城跡(しろあと)で泥(どろ)だらけになって遊び回ったものである。父の転勤が決まった時、この仲間たちと別(わか)れるのが嫌で、一人でここに残ると言って両親をてこずらせたこと、ふるさとの駅を離れる列車の窓から、遠ざかっていく思い出の山や川を見つめながら身を切られるような思いがしたこと、みんな昨日の事のように覚えている。

先日、仕事の関係で十数年ぶりにそのふるさとを訪れる機会に恵(めぐ)まれた。プラットホームに降(お)り立ってまず私が感じたのは、「違う。何かが違う」という思いであった。そんな私をよそに、迎えの車の中では取り引き先の人たちが早速打ち合わせを始める。私は心ここにあらずで上の空。「何が一体どう変わってしまったんだろう」との思いが頭を離れない。依頼された仕事を無事に終えた後も気になってならないので、ここまで来たついでに、昔なじみに会いたいからと夕食の誘いを断(ことわ)り、一人で町を歩いてみようと思った。湖で捕れた魚を安くおいしく食べさせる昔ながらの食堂があったのを思い出し、そこまで行ってみることにした。懐かしい町並(まちな)みを見、湖に架(か)かる橋を渡って、腕白(わんぱく)だったころの自分に戻ってみたい。運が良ければ、橋の上から湖に沈(しず)む夕日が見えるかもしれない。きっとふるさとは、昔と同じように私を迎えてくれるに違いない。私は、ふるさとに出会いたいばかりに、少々の道のりも気にせず歩き続けた。

城 *跡 泥 *別 *恵 *降 *断 *並 架 *腕 沈

【顔をなくしたふるさと】

ふるさとに入りて先づ心傷むかな
道広くなり
橋もあたらし

歩いているうちに、やはりここは自分の知っているふるさととは違うぞと思い始めた。

私は仕事柄、よくあちらこちらへ出かけるが、そのどこかの地方都市を歩いているのと少しも変わらないのである。確かに、通りの名前も湖に架かる橋の位置も昔のままだ。商店街にしても名前は昔のままなのだが、今風の店の造りといい、そこに並んでいる品物といい、どこにでもある物ばかりなのである。ふるさとにつながる思い出の建物、懐かしい建物が、すっかり姿を消してしまっている。「そんなはずはない」そう思って見回す私の目に付くのは、どこにでもある全国チェーンの店の看板ばかり。顔をなくしてしまったふるさとに、私は何かしら裏切られたような気がした。

目指す食堂に着いてみると、これがまた昔とは似ても似つかぬ高級レストランに変貌しているではないか。メニューを見ると、懐かしい郷土料理の名前の横には、目の玉が飛び出るような数字が並んでいる。観光客相手にもうけなければ商売にならない。過疎に悩む地方の小都市が生き延びるためには、仕方がないことなんだと頭では納得しつつ、すっかり食欲がそがれてしまう形になった。それで

傷 *造 *板 貌 郷 疎 延

【顔をなくしたふるさと】

も、店に入った手前、そのまま出るわけにもいかず、せめて雰囲気(ふんいき)なりとも味わおうと気を取り直して注文(ちゅうもん)をしたのだが、応対する店の人たちの言葉にも、ふるさとのにおいがない。十数年ぶりのこととて、全く昔のままとは考えていなかったが、私のふるさとは、すっかりその顔をなくしてしまっていた。

地域の活性化のために、活力ある村興し、町興しを図る上で、今取られているような政策が不可欠(ふかけつ)だということに異論はない。しかし、久(ひさ)しぶりにふるさとを訪れて、顔をなくしてしまったそのよそよそしいたたずまいに、私は言いようのない寂しさと、何とも割(わ)り切れない気持ちを感じるばかりだった。

雰 *囲 *文 *欠 久 *割

答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 「村興し」「町興し」の目的は何ですか。
2. 各自治体は具体的にどんなことを行っていますか。
3. それに対して政府はどのような支援を実施していますか。
4. 筆者は子供の時、どんな気持ちでふるさとを離れましたか。
5. 久しぶりにふるさとを訪れて、まずどう感じましたか。
6. 一人で町を歩いてみようと思ったのはどうしてですか。
7. 町はどのように変わっていましたか。
8. 食堂はどのように変わっていましたか。
9. 「ふるさとが顔をなくす」とはどういうことですか。簡単にまとめてください。
10. あなたならどんな方法で「村興し」「町興し」をしますか。

使いましょう

A 「〜てならない」という言い方を練習しましょう。

1. ＿＿＿＿＿＿＿＿かどうか、気になってならない。
2. どうして＿＿＿＿＿＿＿＿かと不思議でならない。
3. ＿＿＿＿＿＿＿＿てからしばらくは寂しくてならなかった。
4. ＿＿＿＿＿＿＿＿という話を聞いて＿＿＿＿＿＿＿＿ならなかった。
5. ＿＿＿＿＿＿＿＿ので、＿＿＿＿＿＿＿＿ならない。

B 「ついでに」という言い方を練習しましょう。

1. 銀行へ行くついでに、＿＿＿＿＿＿＿＿。
2. 部屋を掃除したついでに、＿＿＿＿＿＿＿＿。
3. 買い物のついでに、＿＿＿＿＿＿＿＿。
4. ＿＿＿＿＿＿＿＿。そのついでに＿＿＿＿＿＿＿＿。
5. ＿＿＿＿＿＿＿＿ついでに、＿＿＿＿＿＿＿＿

C 「〜といい、〜といい」という言い方を練習しましょう。

1. 進一君は＿＿＿＿＿＿＿＿といい、＿＿＿＿＿＿＿＿といい、お父さんによく似ている。
2. この店の料理は＿＿＿＿＿＿＿＿といい、＿＿＿＿＿＿＿＿といい、ほかの店とは比べものにならない。
3. 最近は＿＿＿＿＿＿＿ことといい、＿＿＿＿＿＿＿ことといい、生活が大変です。
4. 今度引っ越す所は＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿といい、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿といい、＿＿＿＿＿＿＿＿。

5. ＿＿＿＿＿＿＿＿は＿＿＿＿＿＿＿＿といい、＿＿＿＿＿＿＿＿といい、＿＿＿＿＿＿＿＿。

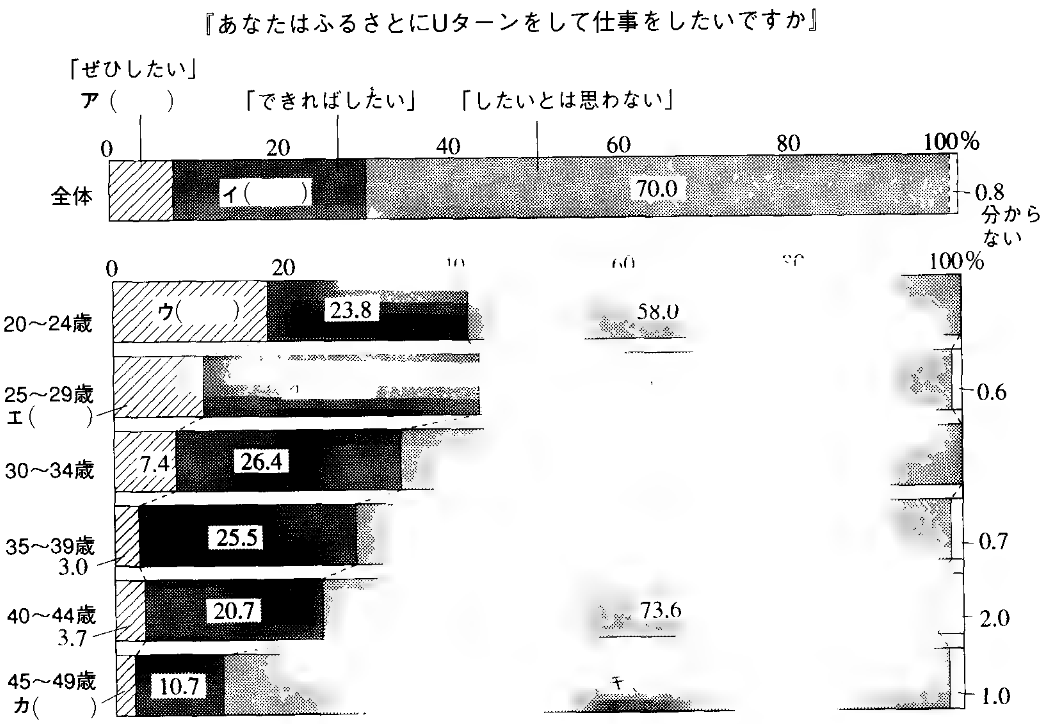
D 「～上で」という言い方を練習しましょう。

1. この調査は＿＿＿＿＿＿＿＿上で必要不可欠なものだ。
2. 彼は＿＿＿＿＿＿＿＿上でなくてはならない存在だ。
3. ＿＿＿＿＿＿＿＿は＿＿＿＿＿＿＿＿上で大きな問題になっている。
4. 今度開発された技術は＿＿＿＿＿＿＿＿上で＿＿＿＿＿＿＿＿。
5. ＿＿＿＿＿＿＿＿は＿＿＿＿＿＿＿＿上で＿＿＿＿＿＿＿＿。

聞きましょう

問題１　テープを聞いて答えてください。

Uターンに関する調査結果



問題２　次の文を聞いて、正しいものには○、正しくないものには×をつけてください。

①（　　）　②（　　）　③（　　）　④（　　）　⑤（　　）

［統計でよく使われる言葉］

合計（ごうけい）する　　およそ　　～に上る　　前半　　後半

第８課 ――――【コンピュータ夢物語】

ニュースを聞きましょう

Ⅰ　ニュースを聞いて次の質問に答えてください。

Ⅱ　ニュースを聞きながら、(　　)の中に言葉、数字を入れてください。

1．最近、コンピュータ(　　　　　　　　)が問題になっている。
　――それを製造、(　　　　　　　　)していた人が逮捕された。
2．逮捕されたのは(　　　　　　　　)歳と(　　　　　　　　)歳の人、二人。
　――一人は会社の(　　　　　　　　)に行き詰まっていた。
　――それで今度の(　　　　　　　　)を思いついた。
　――もう一人はＳ大学図書館(としょかん)の(　　　　　　　　)通信を悪用。
3．被害を受けた人は(　　　　　　　　)人と見られている。
　――被害届けを出した人は(　　　　　　　　)足らず。
　――多くの人は自分の(　　　　　　　　)ミスだと思った。

Ⅲ　次の質問に答えて、ニュースをまとめてください。

新しい言葉

❖

新しい言葉I

コンピュータ　プログラム　入り込む（はいりこむ）　ウイルス
パソコン[←パーソナルコンピュータ]　ネットワーク
ソフトウエア　(図書館)員（としょかんいん）　サービススル　(100人)足らず（にんたらず）
狂う（くるう）　入力（にゅうりょく）スル　混乱（こんらん）スル　軽い（かるい）
◆固有名詞　福岡市（ふくおかし）／吉田和夫（よしだかずお）／古川裕二（ふるかわゆうじ）

新しい言葉II

夢物語（ゆめものがたり）　改札（かいさつ）　(改札)口（かいさつぐち）　定期(券)（ていきけん）
自動（じどう）　(改札)機（かいさつき）　途端（とたん）ニ　ランプ
点滅（てんめつ）スル　行く手（ゆくて）　阻む（はばむ）
手招き（てまねき）[←手招く（てまねく）]　拝見（はいけん）スル　いぶかしい
(いぶかし)げナ・ニ　(定期が)切れる（ていきがきれる）　最新（さいしん）　磁石（じしゃく）
取り調べ（とりしらべ）[←取り調べる（とりしらべる）]　むっとする　抗議（こうぎ）スル
ろくナ・ニ　取り合う（とりあう）　さっさと　(〜と)ばかりニ
よこす　厳密（げんみつ）ナ・ニ　実行（じっこう）スル
マイクロコンピュータ　実に（じつに）　機器（きき）
組み込む（くみこむ）　隅々（すみずみ）　操縦（そうじゅう）スル　装置（そうち）
ビデオ　電化製品（でんかせいひん）　(電化)製品（でんかせいひん）　成り立つ（なりたつ）
〜と言っても過言ではない（いってもかごんではない）　半(世紀)（はんせいき）　かつて

❖

桁(けた)	円周率(えんしゅうりつ)	計算(けいさん)スル	ハードウエア
～共(とも)に	ペース	一変(いっぺん)する	充実(じゅうじつ)スル
ディスプレー	結(むす)ぶ	マイペース	家事(かじ)
分担(ぶんたん)スル	差別(さべつ)スル	戦(たたか)わす	～ことはない
炊事(すいじ)スル	一切(いっさい)	指令(しれい)スル	(～で)済(す)む
ドクター(サービス)		血圧(けつあつ)	脈拍(みゃくはく)
診断(しんだん)スル	指示(しじ)スル	希望(きぼう)スル	制御(せいぎょ)スル
最短(さいたん)	距離(きょり)	～なり～なり	～ものか
SF (映画(えいが))	～じゃあるまいし[←ではあるまいし]		
(～を)もってすれば		快適(かいてき)ナ・ニ	(求(もと)める)あまり
ゆだねる	信(しん)じ込(こ)む	頼(たよ)り切(き)る	～ものだろうか
犯(おか)す	(～は)おろか	根本(こんぽん)	覆(くつがえ)す
腹(はら)を立(た)てる	(500人(にん))乗(の)り	トラブル	妨害(ぼうがい)スル
仮(かり)に	完璧(かんぺき)ナ・ニ	安住(あんじゅう)スル	～としたら
なまじ	労働(ろうどう)スル	肩代(かたが)わりスル	事態(じたい)
陥(おちい)る	備(そな)わる	退化(たいか)スル	～あっての
(使(つか)い)こなす	コントロールスル	質(しつ)	結(むす)びつける
意図(いと)スル	反(はん)する		

【コンピュータ夢物語】

地下鉄の改札口でのことである。いつものように定期券を自動改札機に入れた途端、赤ランプが点滅、同時に大きな音が鳴り、機械に行く手を阻まれた。それまでにも経験があるのでもう一度定期券を入れ直してみたが、結果はやはり同じ。戸惑っていると、駅員がこちらへ来いと手招きをしている。行ってみると「ちょっと定期を拝見します。・・・おかしいな」と、いぶかしげな顔をする。私が「おかしいのは機械の方だろ。この定期まだ切れてないんだし」と言うと、最新型のコンピュータを使った機械だからこんなことは起こるはずがない、定期券を磁石のそばにでも置いたんだろう、と言う。駅員の取り調べでもするかのような態度にむっとして抗議したが、相手はろくに取り合おうともせず、「さっさと通れ」とばかりに、私に定期券を返してよこした。

この自動改札機に使われている「最新型のコンピュータ」は、厳密に言うと、あらかじめ入力されたとおりにプログラムを実行していくマイクロコンピュータである。これは、実に様々な機器に組み込まれ、現在我々の生活の隅々にまで入り込んでいる。飛行機の自動操縦装置をはじめ、テレビ、ビデオなどの家庭用電化製品に至るまで、これなしでは、現代の生活が成り立たないと言っても過言ではない。実に、毎日口にする御飯までコンピュータがおいしく炊いてくれる時代なのである。

コンピュータは、この半世紀足らずの間に驚くべき速さで開発が

札　端　滅　阻　*惑　*招　拝　磁　*石　抗　隅　縦　*言　*炊

コンピュータ夢物語

進んだ。その結果、人間はそれまでに経験できなかった生活空間を手に入れ、かつて目にしたことのなかった世界を見ることができるようになった。コンピュータが開発されていなければ、自分の住む惑星を自らの目で見ることはなかっただろうし、10億桁を超える円周率の計算ができるなどとは夢にも思わなかっただろう。

コンピュータの開発がハードウエア、ソフトウエア共に今のペースで進めば、近い将来我々の生活は一変してしまう。現在のパソコン通信ネットワークがさらに充実すれば、子供たちはディスプレーに向かい自由に勉強し、両親はそれぞれの勤め先と結ばれたパソコンを前にマイペースで仕事をする。そんな、学校や会社へ行く必要のない時代が来る。家事の分担で男女差別論を戦わすこともない。炊事、洗濯、掃除など、一切の家事がコンピュータに指令を出すだけで済む。病気になった時には24時間ドクターサービス。ディスプレーに軽く手を当てるだけで、血圧や脈拍などの必要なデータが自動的に病院に送られ、すぐに診断して適切な指示を与えてくれる。旅行をするなら希望先を入力しさえすれば、コンピュータ制御の車が最短距離を選び、自動運転で、山へなり海へなり好きな所へ連れて行ってくれる。「そんなことできるものか。SF映画じゃあるまいし」と言う人もいるかもしれないが、今の技術をもってすれば、これは、決して夢物語などではない。

快適さ、便利さ、さらには安全性を求めるあまり、我々は生活の

桁　算　*共　充　担　差　*戦　*切　脈　診　希　*望　*御　距
*離　快

【コンピュータ夢物語】

多くの部分をコンピュータにゆだねてきた。が、果たしてそれを信じ込み頼り切っていいものだろうか。コンピュータがミスを犯さない可能性はどこにもない。入力プログラムが少し狂えば、快適さや便利さはおろか、生活の秩序が根本から覆される。自動改札機がミスを犯した程度のことなら腹を立てるぐらいで済む。しかし、500人乗りの飛行機のコンピュータにトラブルが起こったらと考えるとぞっとする。その上、最近では、いわゆる「コンピュータウイルス」の妨害による大混乱も、現に、数多く報告されている。また仮に、完璧なコンピュータが作られたとしても、それによってもたらされた、快適で便利で安全な生活に安住したとしたらどうなるか。なまじ労働を機械に肩代わりさせたばかりに、自らの頭や手足を働かせることを忘れてしまうという事態にも陥りかねない。そうなれば、人間は本来備わっている能力を失い、退化していくだけである。

よく「人間あってのコンピュータ——コンピュータは人間が作った物であり、それを使いこなすのは人間だ」と言われる。コンピュータは、あくまで人間がコントロールする物であり、その導入によって生まれた時間的・物質的余裕を、より質の高い人間生活の実現に結びつけるのでなければ、人間はその意図に反して、コンピュータにコントロールされてしまうことになる。コンピュータ時代に生きる我々は、ある意味でコンピュータから大きな挑戦を受けているのである。

---

*犯　狂　*覆　妨　混　*乱　仮　璧　*働　陥

答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 地下鉄の改札口でどんなことがありましたか。
2. 駅員は自動改札機に使われているコンピュータをどのように思っていますか。
3. マイクロコンピュータとはどんな機械のことですか。
4. それはどんなものに使われていますか。
5. コンピュータを使ってどんなことができるようになりましたか。
6. 今後、どのような生活が可能になると言っていますか。
7. なぜコンピュータに頼り切ってはいけないのですか。
8. ミスのないコンピュータができた時、さらに問題になるのはどんなことですか。
9. 我々はコンピュータとどのようにつき合うべきだと言っていますか。簡単にまとめてください。
10. 今後コンピュータを使ってどんなことができるようになるでしょうか。

使いましょう

A 「途端(に)」という言い方を練習しましょう。

1. 家を出た途端(に)＿＿＿＿＿＿＿＿。
2. 結婚したら、途端に＿＿＿＿＿＿＿＿。
3. 国の政策が変わった。途端に＿＿＿＿＿＿＿＿。
4. 彼はそのビールを一口飲んだ。その途端(に)＿＿＿＿＿＿＿＿。
5. ＿＿＿＿＿＿＿＿途端(に)＿＿＿＿＿＿＿＿。

B 「～なり～なり」という言い方を練習しましょう。

1. ＿＿＿＿＿＿＿＿なり＿＿＿＿＿＿＿＿なり、好きな物を選んでください。
2. 困った時には一人で悩まずに＿＿＿＿＿＿＿＿なり＿＿＿＿＿＿＿＿なり＿＿＿＿＿＿＿＿。
3. 休みの日には寝てばかりいないで＿＿＿＿＿＿＿＿なり＿＿＿＿＿＿＿＿なりしなさい。
4. ＿＿＿＿＿＿＿＿なり＿＿＿＿＿＿＿＿なりして、とにかく早く情報を手に入れなさい。
5. ＿＿＿＿＿＿＿＿なり＿＿＿＿＿＿＿＿なりすれば＿＿＿＿＿＿＿＿。

C 「～あまり」という言い方を練習しましょう。

1. 交通事故で子供を失った母親は、悲しみのあまり＿＿＿＿＿＿＿＿。
2. 彼は感動のあまり＿＿＿＿＿＿＿＿。
3. 彼は彼女を愛するあまり＿＿＿＿＿＿＿＿。

4. 物質的な豊かさを求めるあまり＿＿＿＿＿＿。
5. ＿＿＿＿＿＿あまり＿＿＿＿＿＿。

D 「〜はおろか」という言い方を練習しましょう。

1. 爆発の被害は＿＿＿＿＿＿はおろか、＿＿＿＿＿＿にまで及んでいる。
2. 彼の給料では一戸建てはおろか、＿＿＿＿＿＿。
3. 彼女は画家として国内はおろか、＿＿＿＿＿＿。
4. 今のままでは＿＿＿＿＿＿はおろか、＿＿＿＿＿＿すらできない。
5. ＿＿＿＿＿＿はおろか、＿＿＿＿＿＿。

聞きましょう

問題1　テープを聞いて答えてください。

ファックスなどの製造数

(単位：億円)

	1987年	1988年	1989年	1990年	1991年
ア(　　　)	1760	2263	3287	ウ(　　)	4191
	+18%	+エ(　　)%	+オ(　　)%	+5%	+21%
イ(　　　)	3829	4883	7989	9069	9233
	+5%	+28%	+カ(　　)%	+14%	+2%
(ファックス)	3649	4659	5022	キ(　　)	4170
	+20%	+28%	+8%	−11%	−6%

問題2　次の文を聞いて、正しいものには○、正しくないものには×をつけてください。

①(　　)　②(　　)　③(　　)　④(　　)　⑤(　　)

[統計でよく使われる言葉]

伸び率　大幅に　示す　がくんと　依然(いぜん)として　伸びる　ピーク　単位(たんい)

第9課 ——【パルテノンの青い空】

ニュースを聞きましょう

I　ニュースを聞いて次の質問に答えてください。

II　ニュースを聞きながら、(　　)の中に言葉、数字を入れてください。

1. 奈良で古代建築の(　　　　　　　　)と思われる石が見つかった。
   ——高さ(　　　　　　　　)センチの(　　　　　　　　)形の石。
   ——マンションの(　　　　　　　　)で見つかる。
2. 今日、現場を見た奈良(　　　　　　　　)研究所の教授の話。
   ——寺院などの(　　　　　　　　)の一部かもしれない。
   ——日本では(　　　　　　　　)の神殿のような石の柱はない。
   ——もし石の柱なら(　　　　　　　　)な発見だ。
3. マンションは先月(　　　　　　　　)日から工事が始まった。
   ——国と(　　　　　　　　)がここを調査する。
   ——工事(　　　　　　　　)は、いつか分からない。
   ——文化(　　　　　　　　)だから無視できない。
   ——(　　　　　　　　)のやり直しもできない。

III　次の質問に答えて、ニュースをまとめてください。

新しい言葉

❖

新しい言葉I

古代（こだい）	石（いし）	円柱（えんちゅう）	(円柱)形（えんちゅうけい）
工事（こうじ）スル	建築（けんちく）スル	寺院（じいん）	柱（はしら）
神殿（しんでん）	(建築)物（けんちくぶつ）	遺産（いさん）	設計（せっけい）スル

◆固有名詞　奈良市（ならし）／奈良古代文化研究所（ならこだいぶんかけんきゅうじょ）／中村教授（なかむらきょうじゅ）／ギリシャ

新しい言葉II

真っ青（まっさお）ナ・ニ	夏空（なつぞら）	そびえる	白亜（はくあ）
憧れ（あこがれ）[←憧れる（あこがれる）]	いよいよ	自然（しぜん）ナ・ニ	速まる（はやまる）
松林（まつばやし）	抜ける（ぬける）	息（いき）	(息を)弾ませる（いきをはずませる）
祭礼（さいれい）	日の出（ひので）	行列（ぎょうれつ）スル	一行（いっこう）
たどる	一歩（いっぽ）	いつしか	加わる（くわわる）
丘（おか）	堂々（どうどう）	(堂々)たる（どうどう）	(重)み（おも）
(～と)あいまって		何人（なんびと）	(何人)たりとも（なんびと）
寄せつける（よせつける）	威厳（いげん）	工夫（くふう）スル	凝らす（こらす）
仰ぎ見る（あおぎみる）	均整が取れる（きんせい）	緻密（ちみつ）ナ・ニ	(～を)もとに
曲線（きょくせん）	曲面（きょくめん）	正面（しょうめん）	直方体（ちょくほうたい）
垂直（すいちょく）ナ・ニ	平行（へいこう）ナ・ニ・スル	直線（ちょくせん）	大理石（だいりせき）
(中央)部（ちゅうおうぶ）	膨らみ（ふくらみ）[←膨らむ（ふくらむ）]		上部（じょうぶ）
内側（うちがわ）	傾斜（けいしゃ）スル	床面（ゆかめん）	平面（へいめん）

❖

盛り上がる（もりあがる）	錯覚（さっかく）スル	考慮（こうりょ）スル	単に（たんに）
美的（びてき）ナ	効果（こうか）	のみならず	水はけ（みずはけ）
(実用)面（じつようめん）	綿密（めんみつ）ナ・ニ	神々（かみがみ）	偉大（いだい）ナ
知恵（ちえ）	結晶（けっしょう）スル	建造（けんぞう）スル	紀元前（きげんぜん）
勝利（しょうり）スル	女神（めがみ）	祭る（まつる）	都市国家（としこっか）
栄光（えいこう）	象徴（しょうちょう）スル	支配（しはい）スル	教会（きょうかい）
勢力（せいりょく）	台頭（たいとう）スル	告げる（つげる）	〜や否や（いなや）
兵舎（へいしゃ）	火薬庫（かやくこ）	ハーレム	歳月（さいげつ）
経る（へる）	苦闘（くとう）スル	戦乱（せんらん）	一段と（いちだんと）
風化（ふうか）スル	そこで	共有（きょうゆう）スル	べく[←べし]
粋（すい）	駆使（くし）スル	修復（しゅうふく）スル	ふと
青空（あおぞら）	ジャンボ機（き）	ジャンボ[←ジャンボ機（き）]	
上空（じょうくう）	隔てる（へだてる）	隔たり（へだたり）[←隔たる（へだたる）]	
想像（そうぞう）スル	〜うにも(〜ない)		飛び回る（とびまわる）
あがめる	切り離す（きりはなす）	築く（きずく）	脈々と（みゃくみゃくと）
切れる（きれる）	〜ことなく	反面（はんめん）	数限りない（かずかぎりない）
戦い（たたかい）[←戦う（たたかう）]	(〜に)せよ	傷つける（きずつける）	物言わぬ（ものいわぬ）
しばし	たたずむ		

◆固有名詞　パルテノン神殿（しんでん）／アテネ／アクロポリスの丘（おか）／ペルシャ／アテナ／ローマ／ユダヤ(教会（きょうかい）)／ビザンチン／オスマン・トルコ／ヨーロッパ

【パルテノンの青い空】

・・・真っ青な夏空にそびえる白亜のパルテノン神殿。以前から憧れを抱いていた神殿にいよいよ会えるかと思うと、自然に足が速まる。松林を抜け、細い道を息を弾ませて登っていく。この神殿で4年に一度行われた祭礼の日、日の出とともにアテネの町を発った行列の一行も、この道を神殿に向かったという。人々は何を思い、どんな祈りを胸に、この道をたどったのであろうか。一歩一歩、時代をさかのぼるように道を登る私も、いつしか行列に加わっていた。丘を登り切ると、そこに白い石の柱に支えられた神殿が堂々たる姿を見せていた。2,500年という時の重みとあいまって、神殿は何人たりとも寄せつけないほどの威厳を感じさせる。

パルテノン神殿の建築には様々な工夫が凝らされている。アテネの人々がはるか遠くからアクロポリスの丘を仰ぎ見た時、より美しく均整の取れた姿に映るよう、緻密な計算をもとに、神殿はすべて曲線と曲面の組み合わせで出来ている。正面と後ろに8本、側面に17本の柱が並んでいるので、神殿全体は遠くから見ると、直方体に見える。が、垂直や平行の直線はどこにも使われていない。大理石の柱はどれも中央部に膨らみを持たせ、上部を細くした円柱形であり、わずかに内側に傾斜して立てられている。床面も平面ではなく中央が盛り上がっている。これらはすべて、人間の目の錯覚を十分

---

*青　亜　殿　憧　松　*細　弾　*登　祭　*発　*行　丘　柱　威
*築　*工　*凝　仰　整　緻　曲　垂　膨　*柱　*形　斜　床　盛
錯　*覚

パルテノンの青い空

に考慮した上で設計されたものだと言われている。さらに、これらの工夫は、単に美的効果のみならず、重い屋根を支え、水はけを良くするという実用面からも綿密に計算されたものだという。神々の時代を生きた人たちの偉大な知恵の結晶が、今に伝えられている。

この偉大な建造物は、紀元前432年、ペルシャとの戦争での勝利を記念して、女神アテナを祭る場所として建てられた。以来、400年にわたって、都市国家アテネの栄光と繁栄の象徴であったが、紀元前31年、ギリシャがローマに支配されると、ユダヤ教会として使われ始めた。その後1,000年以上続いたローマ・ビザンチン時代は、新しい勢力の台頭とともに、終わりを告げ、1458年、オスマン・トルコによるアテネ支配が始まるや否や、今度はイスラム寺院として、さらには、兵舎、火薬庫、そしてハーレムとして使われることになる。歳月を経て、1829年、苦闘の末、ギリシャが独立を勝ち取るが、8年にわたる戦乱の影響は神殿にも及び、その一部が破壊された。ギリシャ独立後も、ヨーロッパを舞台とする様々な戦乱が原因となって、神殿の破壊は一段と進んだ。2,500年の間の風化がこれに加わり、神殿の傷みはひどくなってきた。そこで、現在、アクロポリスの丘に立つ人類共有の遺産を未来に残すべく、建築技術の粋を駆使して、修復工事が続けられている。

---

*考　綿　*偉　晶　*勝　*女　徴　*頭　*告　*寺　兵　庫　*経　闘
粋　駆　修

【パルテノンの青い空】

・・・ふと見上げた青空を、ジャンボ機が音もなく飛んでいる。ジャンボが飛ぶ数千メートルの上空と私が立つパルテノンの丘とを隔(へだ)てる距離は、神殿が建てられてから今に至るまでの気の遠くなるような時の隔たりを象徴するかのようでもある。もちろん、当時の人たちには、今の発達した文明社会など、想像しようにもできなかったであろう。今や、人間が世界中の空を所狭しと飛び回り、かつては神々の存在する場所としてあがめられていた宇宙へまでもその足を伸ばしているのである。しかし、大きく隔たって見える二つの世界は、決して切り離された存在というわけではない。パルテノンとジャンボの間の2,500年は、神殿が築かれるずっと以前から現在まで脈々と続けられてきた人類の創造の営みによって、切れることなく結びつけられているのである。

人類の歴史は、創造の歴史であった。反面、数限りない戦いと破壊の歴史でもあった。領土、民族、宗教と、原因が何であるにせよ、人間は自ら築き上げた神殿をその同じ手で傷(きず)つけてもきた。2,500年の間、歴史の光と影を映しながら立つ物言わぬ神殿を前に私は、しばしパルテノンの丘にたたずんでいた。

隔　*傷

答えましょう

次の質問に答えてください。

1. パルテノン神殿に向かう道で筆者は何について考えましたか。
2. 神殿を目の当たりにして、どんな感じを受けましたか。
3. 神殿の柱や床はどのように造られていますか。
4. それは何のためですか。
5. 神殿は建造後、どのように利用されてきましたか。
6. 現在、神殿ではどのようなことが行われていますか。また、それにはどんな意味がありますか。
7. 神殿と飛行機の距離は何を象徴していますか。
8. それを結びつけているのは何だと言っていますか。
9. パルテノン神殿は私たちにどのようなことを語りかけていますか。簡単にまとめてください。
10. あなたの国の歴史的建造物を紹介してください。

使いましょう

A 「～をもとに(して)」という言い方を練習しましょう。

1. 彼の報告をもとに(して)＿＿＿＿＿＿＿＿。
2. 世論調査の結果をもとに(して)＿＿＿＿＿＿＿＿。
3. この小説は＿＿＿＿＿＿＿＿をもとに(して)書かれた。
4. ＿＿＿＿＿＿＿＿は＿＿＿＿＿＿＿＿をもとに(して)作られたものです。
5. ＿＿＿＿＿＿＿＿をもとに(して)＿＿＿＿＿＿＿＿。

B 「～や否や」という言い方を練習しましょう。

1. 彼は家へ帰るや否や、食事もせずに＿＿＿＿＿＿＿＿。
2. 彼女は手紙を読み終わるや否や、急いで＿＿＿＿＿＿＿＿。
3. テレビでそのニュースが報道されるや否や、＿＿＿＿＿＿＿＿。
4. ＿＿＿＿＿＿＿＿や否や、彼は慌てて家を飛び出した。
5. ＿＿＿＿＿＿＿＿や否や、＿＿＿＿＿＿＿＿。

C 「～うにも～ない」という言い方を練習しましょう。

1. あまりにも怖くて＿＿＿＿＿＿＿＿にも＿＿＿＿＿＿＿＿なかった。
2. 風がとても強くて＿＿＿＿＿＿＿＿にも＿＿＿＿＿＿＿＿ない状態だった。
3. A：相変わらずお忙しそうですねえ。
   B：ええ、でもこんなに忙しくては＿＿＿＿＿＿＿＿にも＿＿＿＿＿＿＿＿ませんよ。

4．A：日曜日なのにどこへも行かないんですか。
　　B：＿＿＿＿＿＿＿＿ので、＿＿＿＿＿＿＿＿にも＿＿＿＿＿＿＿＿。
5．A：＿＿＿＿＿＿＿＿。
　　B：＿＿＿＿＿＿＿＿ので、＿＿＿＿＿＿＿＿にも＿＿＿＿＿＿＿＿。

D 「～にせよ/～にしろ」という言い方を練習しましょう。

D -1

1．＿＿＿＿＿＿＿にせよ、＿＿＿＿＿＿＿にせよ、自分で決めなければならない。
2．＿＿＿＿＿＿＿にせよ、＿＿＿＿＿＿＿にせよ、あらかじめ知らせてください。
3．＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿にせよ、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿にせよ、どちらにせよ＿＿＿＿＿＿＿＿。
4．Aさんにせよ、Bさんにせよ＿＿＿＿＿＿＿＿だった。

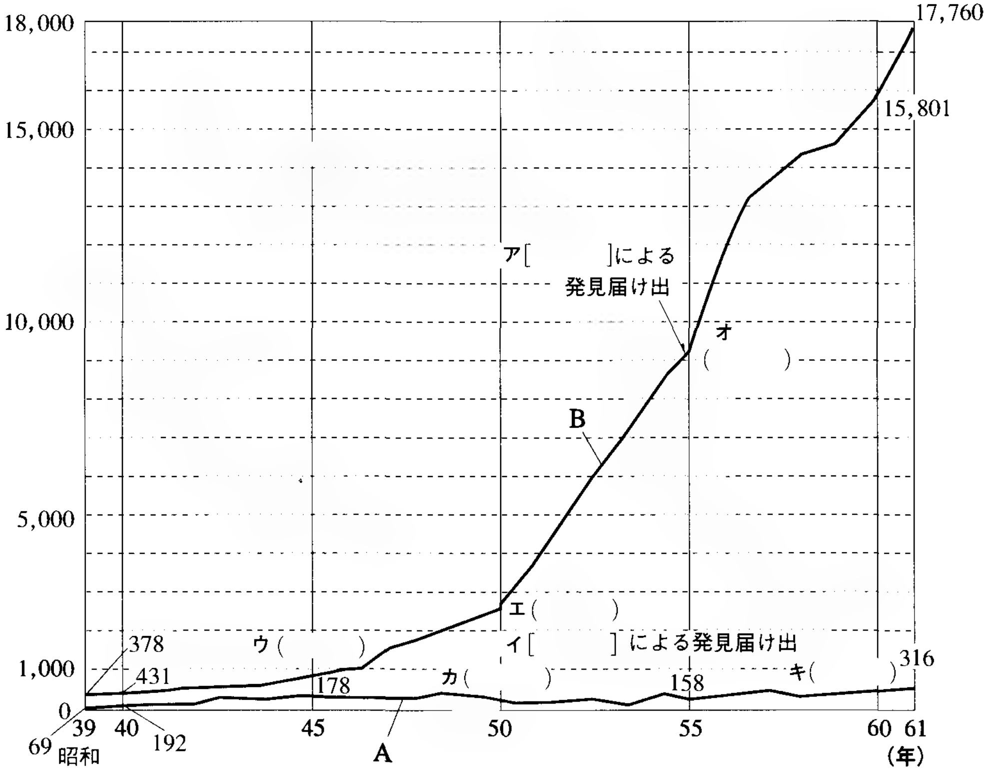
D -2

1．たとえ彼の言ったことが事実であるにせよ、＿＿＿＿＿＿＿＿。
2．たとえ難しい問題があるにせよ、＿＿＿＿＿＿＿＿。
3．たとえ今回うまくいったにせよ、＿＿＿＿＿＿＿＿。
4．たとえ時間がなかったにせよ、＿＿＿＿＿＿＿＿。

聞きましょう

問題1　テープを聞いて答えてください。

遺産の発見届け出数



問題2　次の文を聞いて、正しいものには○、正しくないものには×をつけてください。

①(　　　)　②(　　　)　③(　　　)　④(　　　)　⑤(　　　)

[統計でよく使われる言葉]

全般的(ぜんぱんてき)　変化　〜倍　急激(きゅうげき)　うかがえる　総数(そうすう)

第10課 ――――――――【青春のひとこま】

ニュースを聞きましょう

I　ニュースを聞いて次の質問に答えてください。

II　ニュースを聞きながら、(　　)の中に言葉、数字を入れてください。

1．名古屋（なごや）で(　　　　　　　　)が死亡していた。

――(　　　　　　　　)の長男。

――中学二年生で(　　　　　　　　)歳。

――今朝(　　　　　　　　)時ごろ発見。

――(　　　　　　　　)や(　　　　　　　　)を強く打っていた。

――マンションの(　　　　　　　　)階でかばんを発見。

――ノートに「(　　　　　　　　)になりたい」と書いてある。

――(　　　　　　　　)と考えられている。

2．和也（かずや）君は昨日も(　　　　　　　　)へ行くと言った。

――夜、(　　　　　　　　)時を過ぎても帰らなかった。

――友達が、成績（せいせき）と(　　　　　　　　)の選択で悩んでいたと言った。

――(　　　　　　　　)を感じていたとも言った。

3．和也君が(　　　　　　　　)いた中学の先生の話。

――大変(　　　　　　　　)だった。

――(　　　　　　　　)高校を狙（ねら）っていた。

III　次の質問に答えて、ニュースをまとめてください。

新しい言葉

❖

新しい言葉Ⅰ

中学生（ちゅうがくせい）	(二年)生（にねんせい）	耐（た）える	受験（じゅけん）スル
自殺（じさつ）スル	塾（じゅく）	成績（せいせき）	志望（しぼう）スル
(志望)校（しぼうこう）	プレッシャー	一流（いちりゅう）	狙（ねら）う
ショックナ	隠（かく）す		

◆固有名詞　名古屋市（なごやし）／港区（みなとく）／谷口義和（たにぐちよしかず）／和也（かずや）／吉田先生（よしだせんせい）

新しい言葉Ⅱ

青春（せいしゅん）	ひとこま	緊張（きんちょう）スル	掲示板（けいじばん）
食（く）い入（い）る	やがて	喜色満面（きしょくまんめん）	表情（ひょうじょう）
はた目（め）	(〜も)構（かま）わず	抱（だ）き合（あ）う	うれし涙（なみだ）
クシャクシャニ	がっくり(と)スル	肩（かた）を落（お）とす	ぼう然（ぜん）と
立（た）ち尽（つ）くす	合格（ごうかく）スル	(〜を)限（かぎ）りニ	解放（かいほう）スル
思（おも）い切（き）り	羽（はね）を伸（の）ばす	日々（ひび）	不合格（ふごうかく）
険（けわ）しい	明暗（めいあん）	終着点（しゅうちゃくてん）	場面（ばめん）
六（ろく）・三（さん）・三制（さんせい）	高等学校（こうとうがっこう）	義務教育（ぎむきょういく）	進学（しんがく）スル
達（たっ）する	実質（じっしつ）	公的（こうてき）ナ・ニ	いわば
予備校（よびこう）	(〜を)抜（ぬ）きに	実態（じったい）	(希望者)数（きぼうしゃすう）
年々（ねんねん）	しかも	今日（こんにち）	過酷（かこく）ナ・ニ
勝（か）ち抜（ぬ）く	数々（かずかず）	戦術（せんじゅつ）	担（にな）う
物心（ものごころ）がつく	〜か〜ないかのうちに		いやおうなく
(受験)地獄（じゅけんじごく）	巻（ま）き込（こ）む	あまりニ	(耐（た）え)かねる

❖

意欲(いよく)	無気力(むきりょく)ナ・ニ	(〜に)つけ	かわいそうナ
〜ものなら	学歴(がくれき)	〜からには	心(こころ)を鬼(おに)にする
送(おく)り出(だ)す	幼稚園(ようちえん)	小(しょう)、中(ちゅう)、高(こう)[←小学校(しょうがっこう)、中学校(ちゅうがっこう)、高校(こうこう)]	
入学(にゅうがく)スル	延々(えんえん)(と)	いばらの道(みち)	
(〜を)余儀(よぎ)なくする		高校生(こうこうせい)	控(ひか)える
地元(じもと)	公立(こうりつ)	学(まな)ぶ	関門(かんもん)
くぐり抜(ぬ)ける	(県(けん))下(か)	進学校(しんがくこう)	中(ちゅう)の上(じょう)
ラグビー	費(つい)やす	年末(ねんまつ)	全国大会(ぜんこくたいかい)
(ラグビー)部(ぶ)	放課後(ほうかご)	合間(あいま)	(合間(あいま)を)縫(ぬ)う
一応(いちおう)	何(なん)としても	受(う)かる	
(〜に)越(こ)したことはない		まあ	浪人(ろうにん)スル
覚悟(かくご)スル	〜といったところだ		連中(れんちゅう)
国立(こくりつ)	工学部(こうがくぶ)	〜までだ	熱中(ねっちゅう)スル
勉学(べんがく)	バンド	ボランティア	活動(かつどう)スル
両立(りょうりつ)スル	騒(さわ)ぎ立(た)てる	〜割(わり)に(は)	みんながみんな
悲壮(ひそう)ナ	(悲壮(ひそう))感(かん)	点数(てんすう)	評価(ひょうか)スル
システム	見(み)いだす	発散(はっさん)スル	無駄(むだ)ナ・ニ
情熱(じょうねつ)	(日々(ひび)を)送(おく)る	現実(げんじつ)	認識(にんしき)スル
模索(もさく)スル	したたかナ・ニ	おう歌(か)スル	〜際(さい)ニ
ともすれば	見逃(みのが)す	さわやかナ・ニ	陽光(ようこう)

◆固有名詞　奥田健治(おくだけんじ)／東北大(とうほくだい)(東北大学(とうほくだいがく))／東工大(とうこうだい)(東京工業大学(とうきょうこうぎょうだいがく))

【青春のひとこま】

その瞬間、そこにいるみんなの顔が緊張する。掲示板を食い入るように見、自分の番号を探す真剣な顔。やがてそれが、喜色満面といった表情に取って代わる。はた目も構わず、友人と抱き合い、うれし涙で顔はクシャクシャ。その一方で、ショックを隠し切れず、がっくりと肩を落とし、しばしぼう然と立ち尽くす姿も見られる。大学受験の合格発表のひとこまである。合格した学生たちは、この日を限りに受験勉強から解放され、思い切り羽を伸ばせる自由の日々を手に入れる。それにひきかえ、不合格だった学生には、まだまだ険しい道が続く。人生の明暗を分けるこの一瞬は、12年間にわたる学校教育の終着点を意味する場面でもある。

日本の教育制度は六・三・三制、つまり小学校六年、中学校三年、高等学校三年となっており、うち義務教育は小、中学校の9年間である。とはいえ、1990年現在、高校進学率は95.1%(パーセント)に達しており、実質的にはほとんどが12年間の教育を受けると考えてよい。が、このような公的教育制度に加えて、いわば「第二の学校」とも言うべき予備校、塾などが存在する。その存在を抜きにして、今の教育の実態を語ることはできない。

戦後、日本では、経済発展とともに短大、大学への進学希望者数が年々増え続け、しかも、その志望校がいわゆる一流大学に集中した結果、今日の「受験戦争」が引き起こされた。そこで、この過酷

---

*青　緊　掲　*食　探　*喜　構　*抱　隠　尽　羽　*険　*暗　塾
志　酷

【青春のひとこま】

な競争を勝ち抜くために、予備校や塾へ通い、数々の戦術を身に付ける必要が生じてきた。受験戦争の厳しさが増すにつれて、この「第二の学校」の存在は学校教育制度の一部を担うほどになってきている。子供たちは物心がつくかつかないかのうちに、いやおうなく「受験地獄」に巻き込まれ、遊ぶ時間も持てず勉強に追われることになる。中には、あまりの過酷さに耐えかねて意欲を失い、無気力化し、自殺する者さえある。親たちは、そんな我が子の姿を見るにつけ、「昔は良かった。この子たちは本当にかわいそうだ。できるものなら・・・」と思いながらも「学歴社会で生きていくからには、こうするしかない」と心を鬼にして、「第二の学校」へと送り出している。こうして、幼稚園に始まり、小、中、高を経て大学に入学するまで、日本の子供たちは、延々と続くいばらの道をたどることを余儀なくされている。

ここで一人の高校生に登場してもらおう。奥田健治君、18歳。大学受験を控えた高校三年生。小学校、中学校と地元の公立校で学び、高校受験の関門をくぐり抜け、県下でも有数の進学校である今の高校に入学した。成績は中の上。受験生である奥田君は、今、一日の大半をラグビーに費やしている。年末にある全国大会出場を目指し、ラグビー部は朝、昼、放課後と授業の合間を縫って厳しい練習の毎日である。

---

*担　獄　耐　鬼　*幼　稚　*延　*治　*控　*元　*学　績　*費　縫

【青春のひとこま】

「受験勉強？　まあ、一応受験生ですから、授業はちゃんと聞いてるし、夜３、４時間はやってますよ。でも今はラグビーのことで頭がいっぱいです。何としても全国大会に出たいですからね。大学の方は、今年受かればそれに越したことはありませんが、まあ、浪人(ろうにん)覚悟(かくご)の２年計画といったところです。ほかの三年の連中も同じようなことを言ってますよ」「志望校ですか？　建築の勉強をしたいんで、国立の工学部を狙(ねら)ってます。今年は東北大(とうほくだい)か東工大(とうこうだい)を受けるつもりなんですが、駄目(だめ)ならもう１年やるまでです。来年はもっと上を狙いますよ」

この奥田君がラグビーに熱中しながら勉学に取り組んでいるように、バンドを組んで音楽に熱中する者、積極的にボランティア活動に取り組む者など、勉強との両立を図りながら毎日を楽しんでいる者も多い。

今の日本の学校教育、いろいろ問題はあるにせよ、「戦争」「地獄」と世間が騒ぎ立てる割には、当の受験生たちは、みんながみんな、現在の状況に対しそれほどの悲壮(ひそう)感を持っているわけではない。彼らは、点数だけで個人の評価が下されるシステムの中で、勉強の必要性は十分に認めながらも、それ以外に自己を見いだす場、自己を伸ばせる場を求め、そこでエネルギーを発散させている。限られた時間を無駄にすることなく、勉強にまたそのほかの様々な活動に情

浪　悟　狙　駄　*悲　壮

【青春のひとこま】

熱を燃やし、充実した日々を送っているのだ。確かにプレッシャーを感じてはいるが、その中で周りが考えるよりははるかにしっかりと現実を認識し、その上で、自らの生き方を模索(もさく)し、したたかに人生を選択し、青春(せいしゅん)の日々をおう歌している。これは、日本の教育を語る際に、ともすれば見逃(みのが)されてしまいがちな一面である。「受験」という言葉で表現されるいばらの道も、実際にそこを歩む彼らにとっては、決していばらばかりではなく、美しい花も咲いていれば、さわやかな風と暖かい陽光に包まれた道でもあるのだ。

模　索　逃

答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 合格発表の場ではどのような光景が見られますか。
2. 大学を受験するまでの公的教育制度はどうなっていますか。
3. それ以外に存在する「第二の学校」はどうして必要になってきましたか。
4. このような状況の中で子供はどんな生活をしていますか。
5. 親はそんな子供の生活をどう考えていますか。
6. 奥田君はどのような高校生活を送っていますか。
7. 奥田君は自分の進学についてどのような計画を持っていますか。
8. 受験生たちが、勉強以外の何かに熱中することを筆者はどう考えていますか。
9. 筆者が「見逃されてしまいがちな一面」と言っているのはどんなことですか。簡単にまとめてください。
10. あなたの国の受験の現状を説明してください。

使いましょう

A 「～ものなら」という言い方を練習しましょう。

1. できるものなら、__________たい。
2. __________てもらえるものなら、__________。
3. __________ずに済むものなら、__________。
4. __________ものなら、今すぐにでも__________。
5. __________ものなら、__________。

B 「～からには」という言い方を練習しましょう。

1. 社会人であるからには、当然__________。
2. 彼がそう言うからには、__________に違いない。
3. 一度やろうと決めたからには、__________。
4. __________が__________からには、__________なければならない。
5. __________からには、__________。

C 「～割に(は)」という言い方を練習しましょう」

1. いつも遊んでいる割に(は)、__________。
2. 話すのが上手な割に(は)、__________。
3. __________割に(は)、それに対して無関心な人が多い。

4. ＿＿＿＿＿＿＿＿が＿＿＿＿＿＿＿＿割に(は)、＿＿＿＿＿＿＿＿はうまくできている。

5. ＿＿＿＿＿＿＿＿割に(は)、＿＿＿＿＿＿＿＿。

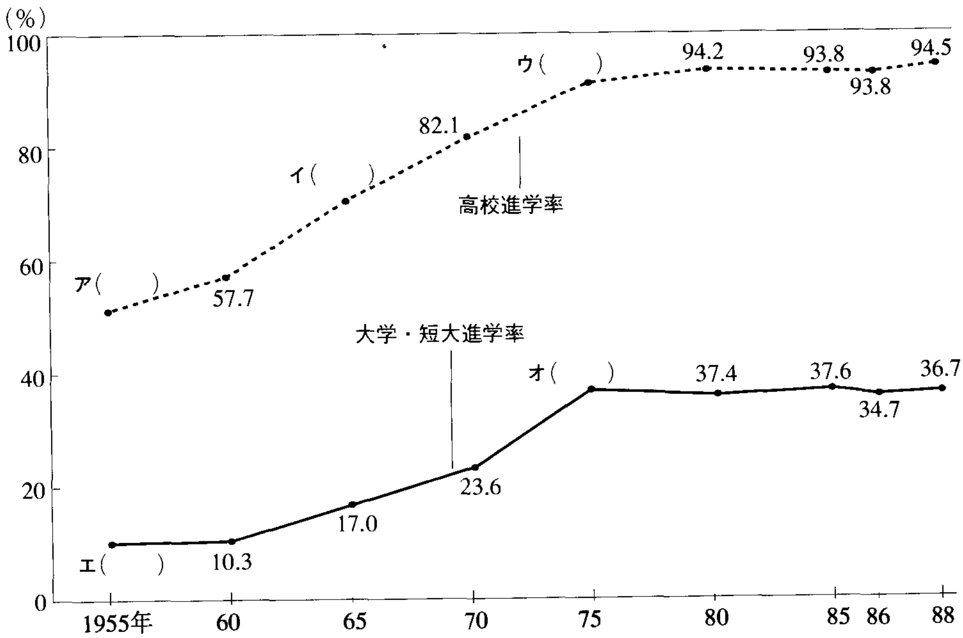
D 「〜際(に)／〜に際して」という言い方を練習しましょう。

1. ＿＿＿＿＿＿＿＿は次の会議の際に＿＿＿＿＿＿＿＿。
2. ＿＿＿＿＿＿＿＿はエネルギー問題を考える際に＿＿＿＿＿＿＿＿。
3. 3年前海外へ旅行した際に、＿＿＿＿＿＿＿＿。
4. オリンピックを開催するに際して、＿＿＿＿＿＿＿＿。
5. 調査の実施に際して、＿＿＿＿＿＿＿＿。

聞きましょう

問題 1　テープを聞いて答えてください。

高等学校・大学への進学率



問題 2　次の文を聞いて、正しいものには○、正しくないものには×をつけてください。

①(　　)　②(　　)　③(　　)　④(　　)　⑤(　　)

[統計でよく使われる言葉]

含める　　超える　　達する　　比例(ひれい)する　　わずか

第11課 ――――【カメラを持った語り部】

ニュースを聞きましょう

I　ニュースを聞いて次の質問に答えてください。

II　ニュースを聞きながら、(　　)の中に言葉、数字を入れてください。

1．東京(とうきょう)の(　　　　　　　　)クラブでの話。
――入会希望者に(　　　　　　　　)検査をしていた。
――(　　　　　　　　)グループの一人がそれを知った。
――これまでに約(　　　　　　　　)人を対象に実施した。

2．(　　　　　　　　)を受けたクラブ側の話。
――(　　　　　　　　)は尊重(そんちょう)している。
――結果を(　　　　　　　　)したことはない。
――健康管理は(　　　　　　　　)の一部だ。
――(　　　　　　　　)でも、入会は断らない。

3．「エイズと(　　　　　　　　)を考える会」の話。
――これまでは(　　　　　　　　)していた人がいなかっただけだ。
――これから(　　　　　　　　)を許可されないこともある。
――エイズに対して現在(　　　　　　　　)や差別がある。
――この検査は明らかに(　　　　　　　　)問題だ。
――検査をやめるよう、(　　　　　　　　)を続ける。

III　次の質問に答えて、ニュースをまとめてください。

新しい言葉

❖

新しい言葉 I

エイズ	重視(じゅうし)スル	感染(かんせん)スル	プライバシー
尊重(そんちょう)スル	公表(こうひょう)スル	偏見(へんけん)	侵害(しんがい)スル

◆固有名詞　エイズと人権(じんけん)を考(かんが)える会(かい)

新しい言葉 II

語(かた)り部(べ)	湖畔(こはん)	岩(いわ)	ひざ
(ひざを)抱(かか)える	残(のこ)り雪(ゆき)	反射(はんしゃ)スル	痛(いた)める
サングラス	(音(おと))という(音(おと))	吸(す)い込(こ)む	湖面(こめん)
静(しず)まり返(かえ)る	薄雲(うすぐも)	視線(しせん)	情景(じょうけい)
解(と)け込(こ)む	ごとく[←ごとし]		微動(びどう)スル
〜だに(〜ない)	大自然(だいしぜん)	飲(の)み込(こ)む	ちっぽけナ
〜ことか	いとおしき[←いとおし]		静寂(せいじゃく)
寛容(かんよう)ナ・ニ	発病(はつびょう)スル	運命(うんめい)	(運命(うんめい))づける
(写真(しゃしん))集(しゅう)	圧倒(あっとう)スル	写(うつ)し出(だ)す	静(しず)けさ
うつむく	真(ま)(正面(しょうめん))	不平等(ふびょうどう)ナ・ニ	のろう
他者(たしゃ)	ありのまま	モノクロ	ベビー
横(よこ)たわる	(A)ちゃん	半開(はんびら)き	撮影(さつえい)スル
再(さい)(確認(かくにん))	確認(かくにん)スル	決断(けつだん)スル	無断(むだん)
良心(りょうしん)	後(のち)ニ	いきさつ	(〜た)きり

❖

日差(ひざ)し	この世(よ)	去(さ)る	一生(いっしょう)
(～に)しては	あまりにも	授(さず)ける	物静(ものしず)かナ・ニ
(～に)当(あ)たり	講演(こうえん)スル	来日(らいにち)スル	通訳(つうやく)スル
(見(み)る)なり	記(しる)す	即座(そくざ)に	宣告(せんこく)スル
打(う)ちのめす	絶望(ぜつぼう)スル	否(いな)	精一杯(せいいっぱい)
前向(まえむ)きナ・ニ	立(た)ち上(あ)がる	尽(つ)きる	レンズ
(レンズ)越(ご)し[←越(こ)す]		なお	(自分(じぶん))なりニ
容易(ようい)ナ・ニ	招(しょう)じ入(い)れる	言(い)われなき[←言(い)われなし]	
憎(にく)む	憤(いきどお)り[←憤(いきどお)る]	傍(かたわ)ら	ひしひし(と)
十字架(じゅうじか)	背負(せお)う	排他的(はいたてき)ナ・ニ	切(き)り捨(す)てる
(～が)故(ゆえ)ニ	意義(いぎ)	見据(みす)える	
(～より)ほかない		勇気(ゆうき)	崇高(すうこう)ナ
(～を)おいて	聴衆(ちょうしゅう)	魂(たましい)	根源(こんげん)
受(う)け止(と)める	亡(な)き[←亡(な)し]	主人公(しゅじんこう)	刻(きざ)み込(こ)む

◆固有名詞　ビリー・ハワード

【カメラを持った語り部】

湖畔(こはん)の岩(いわ)に、ひざを抱えて腰を下ろしている男が一人。残り雪の反射に目を痛めないようにであろう、サングラスを掛けている。音という音すべてを吸い込んでしまったような湖面は、辺りの景色(けしき)を映し静まり返っている。薄雲(うすぐも)を通して湖面に映る太陽にじっと視線を向ける男は、周りの情景に解け込んでしまったかのごとく微動だにしない。大自然に飲み込まれた人間の存在の、いかにちっぽけなことか。大自然と一体化した男の姿の、いかにいとおしきことか。

ビリーの写真が語りかけるものは、静寂(せいじゃく)と寛容(かんよう)。エイズに感染、発病し、死を運命づけられた人たち60人を写したビリーの写真集を見て、まず私が圧倒(あっとう)されたのは、一枚一枚に写し出された音のない世界。決して、死を待つ人間の静けさではない。そうでないことは、写真の中のうつむいた目、真正面を見つめた目が、鮮明に物語っている。どの目も、与えられた運命の過酷さ、不平等(ふびょうどう)さをのろうことなく、自らの、そして他者の、ありのままを受け入れる優しい許しの目である。

60枚のモノクロ写真の中に、目のない写真が一枚ある。写真集の一番初めに出てくるベビーＡの写真である。ベッドに横たわるＡちゃんが、苦しげに半開きにした口。そこから上が、写真にない。プライバシーの尊重(そんちょう)を何よりも重視したビリーは、どんなに時間が掛かろうが、撮影(さつえい)を許可してくれた人たちに出来上がった作品を送

---

*湖　畔　岩　*景　*色　薄　雲　*寂　寛　*倒　*平　尊　*撮

カメラを持った語り部

り、公表しても良いかと再確認した上で、一番気に入った物を選んでもらい写真集にした。「自分で決断する能力のないベビーAの顔を、だから、無断で公表することは、私の良心が許さなかった」と、後(のち)にビリーは、目のない写真のいきさつを語ってくれた。生まれてから病院の外へ一歩も出ることなく、ベッドに寝たきり、春の日差しの暖かさも知らぬままこの世を去(さ)ったAちゃん。「一生」と呼ぶにしてはあまりにも短過ぎたその一生。Aちゃんの目は、果たして、生を授(さず)けた両親をのろった目だったのだろうか。それとも、ほかの59人と同じ目だったのだろうか。「この写真が、どれよりも辛(つら)い写真だった」と、物静かに語る写真家は、写真集の一番最初にこの作品を載せた理由にも、Aちゃんがどんな目をしていたかということにも、とうとう触れなかった。

この写真集の日本での出版に当たり、ビリーが講演会のために来日した。通訳を依頼され彼に初めて会った私は、その目を見るなり「あっ」と思った。ビリーは、自らが写真に撮った人たちと同じ目をしていたのだ。そして写真集に記(しる)された「この仕事を通して人生が変わった」というビリーの言葉が即座に理解できた。死を宣告された人たちが、打ちのめされ、絶望し、それでも、否、だからこそ残された時を精一杯大切に生きようと前向きに立ち上がった。その彼らが学んだことは、のろうことでも、恨むことでもなく、その運

---

*後 *去 *授 辛 *記

カメラを持った語り部

命を許し、受け入れることだった。命の尽きる日を宣告された人たちから、レンズ越しにこの写真家が見いだしたものは、人の手ではどうすることもできぬ運命を持った一つ一つの命が、いかにちっぽけなものであるかということであった。また、それでもなお、与えられた道を自分なりに精一杯歩み続ける人の姿が、いかにいとおしきものであるかということでもあった。カメラを持った語り部は、知らず知らずのうちにその人たちと同じ目になっていたのに違いない。

容易に周りの人たちを寄せつけようとせず、心の内を語ろうとしない彼らが、ビリーを自らの世界に招じ入れ、心を開き、写真を撮らせた。その彼らが受けている言われなき人権侵害と差別。「憎むべきはエイズであり、エイズと共に生きる人たちではありません」と語る一人の写真家の憤りが、傍らに立つ私にもひしひしと痛いほど感じられた。それはビリーの憤りであるとともに、何百万といわれる世界中のエイズという十字架を背負った人たちの静かな憤りでもあった。過酷な運命に、排他的な社会に、一度切り捨てられたが故に、生きることの意義を真正面から見据えるよりほかなかった人々。それでも、すべてを受け入れ、許し、前向きに精一杯生きる彼らの勇気と崇高さ。それが伝えられるのはビリーをおいてほかにはない。

ビリー・ハワード。人間を見つめ続け、生を考え続けた一人の写

易　憤　傍　*負　*故　据　勇　崇

【カメラを持った語り部】

真家が、語り部として聴衆(ちょうしゅう)の魂(たましい)に語りかけた。エイズの問題はいつしか一人一人の命への問いかけとなり、生まれ、生き、そして死ぬという人間の根源の問題として受け止められた。ビリーの写真が語りかけるものが、そして、今は亡き静寂の世界の主人公たちからのメッセージが、静かに会場の人々の心に刻(きざ)み込まれた。

聴　衆 *魂 *刻

答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 湖畔にたたずむ男の写真から、筆者はどのようなことを感じましたか。
2. ビリーの写真集にはどんな人々が写されていますか。
3. 写真に写された人々はどんな目をしていましたか。
4. ベビーAの写真はどんな写真ですか。
5. ビリーはカメラを通してどんなことを見いだしましたか。
6. ビリーが接した人たちは社会に対してどのような態度を取っていますか。それはどうしてですか。
7. ビリーが伝えようとしているのはどんなことですか。
8. ビリーのメッセージを人々はどう受け止めましたか。
9. ビリーが写真の人たちと同じ目をしているのはなぜですか。簡単にまとめてください。
10. 知り合いがエイズであると分かったら、あなたはどのようにつき合いますか。

使いましょう

A 「〜(た)きり」という言い方を練習しましょう。

1. 彼は＿＿＿＿＿＿＿きり、二度と帰って来なかった。
2. 1か月前に＿＿＿＿＿＿＿きり、全く＿＿＿＿＿＿＿。
3. ＿＿＿＿＿＿＿。それきり何の連絡もない。
4. ＿＿＿＿＿＿＿のはこれきりにしよう。
5. ＿＿＿＿＿＿＿は＿＿＿＿＿＿＿きり、＿＿＿＿＿＿＿。

B 「〜にしては」という言い方を練習しましょう。

1. A: あの先生、50歳なんだって。
   B: あらそう。でも50歳にしては＿＿＿＿＿＿＿。
2. A: あの人、料理学校へ行っているんだって。
   B: へえ、料理を習っているにしては＿＿＿＿＿＿＿。
3. A: 今度の講演会、準備に半年も掛けたんですって。
   B: そう。＿＿＿＿＿＿＿にしては＿＿＿＿＿＿＿。
4. A: モーリスさん、先月、日本へ来たばかりなんだって。
   B: ＿＿＿＿＿＿＿にしては＿＿＿＿＿＿＿。
5. A: ＿＿＿＿＿＿＿だって。
   B: それにしては＿＿＿＿＿＿＿。

C 「〜なり」という言い方を練習しましょう。

C -1

1. 兄は家へ帰るなり、＿＿＿＿＿＿＿＿。
2. 先生は教室へ入るなり、＿＿＿＿＿＿＿＿。
3. 彼女は「＿＿＿＿＿＿＿＿」と言うなり、＿＿＿＿＿＿＿＿。
4. ＿＿＿＿＿＿＿＿なり、＿＿＿＿＿＿＿＿。

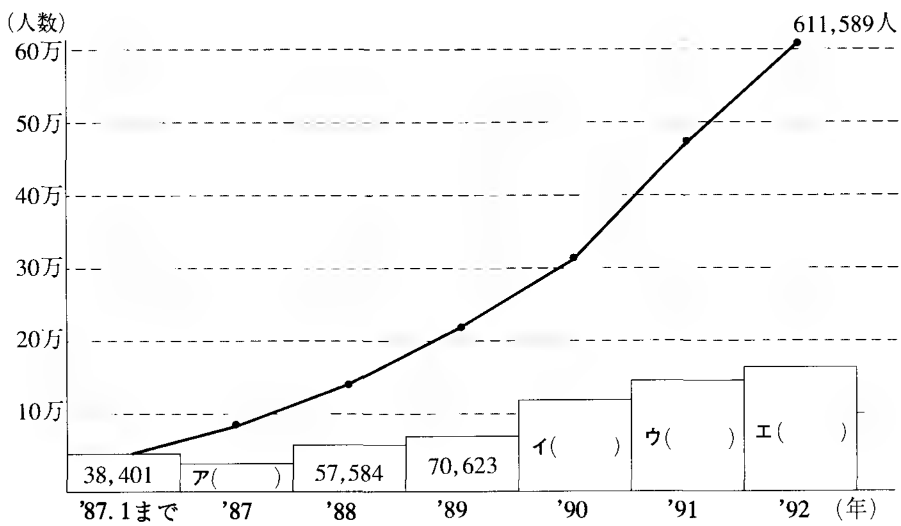
C -2

1. ほかの人にどう思われようと、私は私なりに＿＿＿＿＿＿＿＿。
2. 努力したら努力したなりの＿＿＿＿＿＿＿＿。
3. 収入が少ないなら少ないなりに＿＿＿＿＿＿＿＿。
4. うまくできたとは言えないが、それなりの＿＿＿＿＿＿＿＿。

聞きましょう

問題１　テープを聞いて答えてください。

エイズ患者数



問題２　次の文を聞いて、正しいものには○、正しくないものには×をつけてください。

①(　　　)　②(　　　)　③(　　　)　④(　　　)　⑤(　　　)

[統計でよく使われる言葉]

〜数　　爆発的　　増える　　変わる

第12課 ——【動物たちの嘆き】

ニュースを聞きましょう

I　ニュースを聞いて次の質問に答えてください。

II　ニュースを聞きながら、(　　)の中に言葉、数字を入れてください。

1. 昨日、(　　　　　　　　)会社で事件が起こった。
   ——ぬすまれたのは(　　　　　　　　)用の(　　　　　　　　)。
   ——犯人は(　　　　　　　　.　)された。
   ——(　　　　　　　　)はまだ見つかっていない。
2. 犯人は(　　　　　　　　)歳の男性。
   ——(　　　　　　　　)時ごろ、研究室に入り込んだ。
   ——(　　　　　　　　)匹ぬすみ、逃げた
   ——(　　　　　　　　)をしていた人に顔を見られた。
3. 山村(やまむら)容疑者は(　　　　　　　　)に勤めていた。
   ——以前から(　　　　　　　　)に疑問を持っていた。
   ——会社をやめた後も(　　　　　　　　)を続けていた。
   ——会社の態度を(　　　　　　　　)に思い、犯行に及んだ。
4. 山村容疑者は(　　　　　　　　)をしたとは思っていないと言っている。
   ——研究室にはこのほかに(　　　　　　　　)、モルモットなどが飼育(しいく)されている。
   ——その数はおよそ(　　　　　　　　)匹。
   —これらに(　　　　　　　　)はなかった。

III　次の質問に答えて、ニュースをまとめてください。

新しい言葉

新しい言葉 I

医薬品(いやくひん)	実験(じっけん)スル	飼育(しいく)スル	猿(さる)
疑問(ぎもん)	中止(ちゅうし)スル	野生(やせい)	戻(もど)す
残虐(ざんぎゃく)ナ・ニ	マウス	モルモット	

◆固有名詞　東区(ひがしく)／西区(にしく)／山村孝(やまむらたかし)

新しい言葉 II

美容院(びよういん)	シャンプースル	カットスル	保険(ほけん)
(一)口(ひとくち)	葬式(そうしき)	購入(こうにゅう)スル	霊園(れいえん)
墓(はか)	たかが	ごとき[←ごとし]	
～ないでもない	とにかく	ペット	一方的(いっぽうてき)ナ・ニ
愛情(あいじょう)	押(お)し売(う)り	愛(あい)がん	一員(いちいん)
共存(きょうぞん)スル	例(れい)に取(と)る	番犬(ばんけん)	警察犬(けいさつけん)
役立(やくだ)つ	飼(か)う	権利(けんり)	パートナー
明確(めいかく)ナ・ニ	代(か)わりニ	コンパニオン	アニマル
対等(たいとう)ナ・ニ	無理(むり)やりニ	枠組(わくぐ)み	ありがた迷惑(めいわく)ナ
～以外(いがい)の何物(なにもの)でもない		得手勝手(えてかって)ナ・ニ	何(なん)ら(～ない)
いったん	(労働(ろうどう))力(りょく)	かけ離(はな)れる	パターン
強(し)いる	動物園(どうぶつえん)	サーカス	
(～にした)ところで		囲(かこ)う	生存(せいぞん)スル

本能(ほんのう)
無意識(むいしき)ニ
故意(こい)
雑菌(ざっきん)
繁殖(はんしょく)スル
神経(しんけい)
なす
もてあそぶ
存続(そんぞく)スル
(好(この)ま)ざる
～ないことには
～たら～たで
軽々(かるがる)しい
数(かぞ)え上(あ)げる
糧(かて)
ささげる
今一度(いまいちど)

術(すべ)
虐待(ぎゃくたい)スル
あげくニ
冒(おか)す
保健所(ほけんじょ)
固定(こてい)スル
ごう慢(まん)ナ・ニ
訴(うった)える
(～ん)がため
(～に)かかわらず
病(やまい)
あえて
反論(はんろん)スル
切(き)りがない
聖(せい)なる
敬(けい)けんナ・ニ
原点(げんてん)

(～はどう)であれ
近年(きんねん)
手術台(しゅじゅつだい)
条件(じょうけん)
収容(しゅうよう)スル
電気(でんき)ショック
安易(あんい)ナ・ニ
必要悪(ひつようあく)
目(め)をつぶる
論理(ろんり)
逆(さか)らう
多種多様(たしゅたよう)ナ・ニ
生命体(せいめいたい)
恵(めぐ)み[←恵(めぐ)む]
真(しん)ニ
立(た)ち返(かえ)る

繰(く)り広(ひろ)げる
メスを入(い)れる
特殊(とくしゅ)ナ
用(もち)いる
正視(せいし)スル
神聖(しんせい)ナ
食用(しょくよう)
好(この)む
(段階(だんかい)を)踏(ふ)む
(～に)忍(しの)びない
残酷(ざんこく)ナ・ニ
食料(しょくりょう)
尊(とうと)い
感謝(かんしゃ)スル
形成(けいせい)スル

[動物たちの嘆き]

栄養のバランスを十分に考えた食事が終わると、きれいな服を着せて美容院へ。シャンプーとカットの後は、病院で健康診断。病気のことを考えて保険にも一口。最後はお葬式(そうしき)を出して、それから、購入(こうにゅう)しておいた霊園(れいえん)に、お墓(はか)を建てる。犬の話である。たかが犬ごときにと馬鹿(ばか)馬鹿しく思わないでもないが、とにかくペットブームはここまで来ている。もっとも、動物をこのような一方的な愛情の押し売りの対象、つまり愛がん動物として扱うことに疑問を抱き、社会の一員として受け入れ、共存を図ろうとする動きもある。犬を例に取れば、これまでのように番犬や警察犬として人間の生活に役立たせるために飼(か)うのではなく、人間も犬も同じ動物だという立場からその権利を認め、社会生活における役割や楽しみを共有しようという人たちがいる。彼らはこのような人間と動物の新しいパートナーの関係を明確にするために、ペットの代わりにコンパニオン・アニマルという言葉を使い、動物と対等につき合おうとしている。が、当の動物たちはどうだろうか。無理やり人間社会の枠組みに組み込まれることなど、ありがた迷惑(めいわく)以外の何物でもないのではないだろうか。人間側の得手勝手(えてかって)なコンパニオン扱いは、犬側から言わせれば、愛がん動物、番犬の扱いと何ら変わるところはない。

犬に限らず、牛や馬などにも言えることであるが、動物は、いっ

葬　購　霊　墓　*馬　鹿　飼　迷　*勝

【動物たちの嘆き】

たん労働力として、あるいは、愛がん動物として飼われ始めてからは、自由を奪われ、人間社会という全く本来の生活環境とはかけ離れた生活パターンの中で生きることを強(し)いられるようになった。動物園やサーカスの動物などにしたところで、事情は全く同じである。人間社会の中で囲われて生きているうちに生存するための本能を失い、野生に戻されてもえさを得る術(すべ)を知らず、ただ死を待つばかりである。このように、人間は今も昔も、形はどうであれ、無意識のうちに動物に対する虐待(ぎゃくたい)を続けてきた。

近年、動物実験の中止を求めて、世界のあちらこちらで運動が繰り広げられている。モルモット、マウス、うさぎ、犬、猿(さる)などが、医療技術進歩の目的で、故意に感染、発病させられ、そのあげく、手術台へ送られメスを入れられる。このような実験に使われる動物は、雑菌(ざっきん)に冒(おか)されていてはいけないなどの厳しい条件があり、特殊(とくしゅ)な環境で繁殖(はんしょく)、飼育(しいく)される。また、保健所に収容された猫や犬なども実験用に用(もち)いられ、神経反応を調べるために死ぬまで固定(こてい)された状態で脳に電気ショックを受けたり、普通の人間には正視に耐えぬような扱いがなされる。実験のためだけに繁殖させられた動物たちへの残虐な扱いに対して、「動物虐待だ」「ごう慢な人間が安易に考え、神聖(しんせい)な命をもてあそびすぎている」と、動物実験に反対する人

---

*強 *術 *待 猿 菌 冒 殊 殖 *飼 *用 固 聖

【動物たちの嘆き】

たちは、声を限りに訴える。

一方では、これは必要悪だという意見も、当然ある。牛や豚、鶏などの家畜を殺して食用にしているではないか。これは、人間という種を存続させんがためには、どうしても目をつぶらざるを得ないことなのだ。それと同じで、新しい医療技術や、新しく開発された医薬品は、好むと好まざるとにかかわらず、動物実験という段階を踏まないことには、人間に応用するわけにはいかない。人間が病を克服し、少しでも長生きするためには、仕方のないことだとする論理である。動物が虐待されるのは見るに忍びないから、新しい医療技術も薬もいらない。病気になったらなったで、あえて運命には逆らわないというのであれば話は別だが、そうでなければ、いくら残酷だからといって動物実験をやめることはできない。これは、軽々しく反論できない意見である。

人間は、多種多様な目的で実に多くの動物を犠牲にしている。食料として、労働力として、さらには、愛がん用に、実験用にと数え上げれば切りがない。同じ生命体であるにもかかわらず、自らの都合に合わせて利用し、虐待し続けてきた。我々は、そんな尊い犠牲の上に存在していることを忘れてはならない。かつて人は、日々の糧として動物の聖なる命を奪う時、神の恵みに対して深い感謝の祈

---

*訴　豚　鶏 *続 *好 *病 *逆 *尊　糧

【動物たちの嘆き】

りをささげたという。その敬けんな姿に、動物と人間との真の共存とは何かということが見えてくるような気がする。人間も動物も、それぞれが自然の一部を形成する対等の存在であり、それぞれに生きる場が与えられている。今一度、その原点に立ち返り「共存する」という問題を考えてみたい。

答えましょう

次の質問に答えてください。

1. ペットブームは今、どのような状況になっていますか。
2. その一方でどのような動きがありますか。
3. そのような動きは動物側から見るとどうだと言えますか。
4. 人間社会の中で生きることによって、動物はどのように変わってきましたか。
5. 動物実験に反対する人たちは、どういう理由で中止を求めていますか。
6. 動物実験が必要悪だと言われるのはどうしてですか。
7. 実験以外に人間は動物をどのように利用していますか。
8. かつてはどのような態度で動物と接していましたか。
9. 動物と人間とが真に共存するとはどういうことですか。簡単にまとめてください。
10. 人間が動物を利用することをどう考えますか。

使いましょう

A 「いったん」という言い方を練習しましょう。

1. いったん＿＿＿＿＿＿＿＿てから、１時にロビーに集まってください。
2. このお金はいったん＿＿＿＿＿＿＿＿ておいて、それから使い方を相談しましょう。
3. ＿＿＿＿＿＿＿＿は、いったん＿＿＿＿＿＿＿＿と、簡単にはやめられないものだ。
4. いったん＿＿＿＿＿＿＿＿と決めたからには＿＿＿＿＿＿＿＿。
5. いったん＿＿＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿＿＿。

B 「～あげく」という言い方を練習しましょう。

1. 20年間も苦労したあげく、＿＿＿＿＿＿＿＿。
2. ＿＿＿＿＿＿＿＿あげく、何も買わずに帰った。
3. 長い間辛い仕事をさせられてきた、そのあげく、＿＿＿＿＿＿＿＿。
4. 友人に裏切られて商売に失敗した。あげくの果てに＿＿＿＿＿＿＿＿。
5. ＿＿＿＿＿＿＿＿あげく、＿＿＿＿＿＿＿＿。

C 「～ないことには」という言い方を練習しましょう。

1. 彼が来ないことには＿＿＿＿＿＿＿＿。
2. 体が丈夫でないことには＿＿＿＿＿＿＿＿。
3. ＿＿＿＿＿＿＿＿ないことにはこの計画は進めることができません。
4. ＿＿＿＿＿＿＿＿ないことには何をしても面白くありません。
5. ＿＿＿＿＿＿＿＿ないことには＿＿＿＿＿＿＿＿。

D 「～たら～たで」という言い方を練習しましょう。

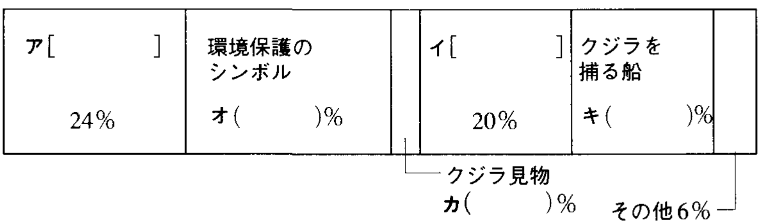
1. A: 大学合格、おめでとうございます。
   B: ありがとうございます。でも大学に入ったら入ったで＿＿＿＿＿＿＿＿。
2. A: 雪子さん、約束した時間に来るかしら。
   B: まあ、来なかったら来なかったで＿＿＿＿＿＿＿＿。
3. A: 小林先生、最近よくテレビや新聞に出てるね。
   B: そうだね。でも＿＿＿＿＿＿＿＿になったらなったで＿＿＿＿＿＿＿＿。
4. A: もっと簡単にお金が手に入らないかなあ。
   B: そう言うけれど、＿＿＿＿＿＿＿＿たら＿＿＿＿＿＿＿＿たで＿＿＿＿＿＿＿＿。
5. A: 今度の＿＿＿＿＿＿＿＿、心配だなあ。
   B: ＿＿＿＿＿＿＿＿たら＿＿＿＿＿＿＿＿たで＿＿＿＿＿＿＿＿。

聞きましょう

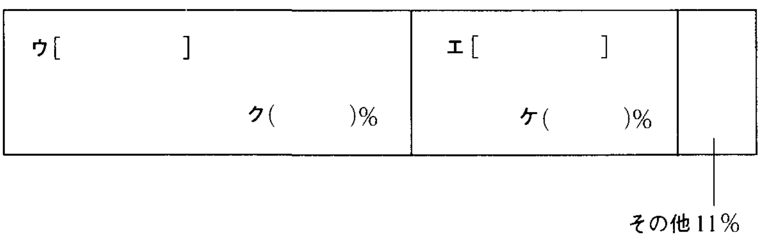
問題１　テープを聞いて答えてください。

クジラに関する意識調査結果

（1）「クジラ」と聞いて思い出すこと



（2）クジラを捕ることを再開すべきか



問題２　次の文を聞いて、正しいものには○、正しくないものには×をつけてください。

①(　　)　②(　　)　③(　　)　④(　　)　⑤(　　)

[統計でよく使われる言葉]

半数　　反映する　　過半数（かはんすう）　　読み取る

第13課——【電車の中のプライバシー】

ニュースを聞きましょう

I　ニュースを聞いて次の質問に答えてください。

II　ニュースを聞きながら、(　　)の中に言葉、数字を入れてください。

1. (　　　　　　　)の人気選手が事件を起こした。
　——神田(かんだ)選手は昨日の夜(　　　　　　　)と食事をしていた。
　——突然写真を撮られたことに腹を立て、(　　　　　　　)をなぐった。
　——けがは(　　　　　　　)程度のもの。
2. (　　　　　　　)側の話。
　——最近(　　　　　　　)の悪い記者が増えている。
　——(　　　　　　　)を無視した取材は不愉快。
　——(　　　　　　　)に訴えたのは悪かった。
　——このままでは、何か(　　　　　　　)を考えざるを得ない。
　——(　　　　　　　)のやり方を改善(かいぜん)してほしい。
3. (　　　　　　　)側の話。
　——一般の人たちと(　　　　　　　)とは違う。
　——人気の原因の一つに(　　　　　　　)があることを認識しておいてほしい。
4. 最近、(　　　　　　　)が次々発刊されている。
　——(　　　　　　　)に関する問題がさらに注目を集めそうだ。

III　次の質問に答えて、ニュースをまとめてください。

新しい言葉

❖

新しい言葉 I

週刊誌（しゅうかんし）	たち	手段（しゅだん）	取材（しゅざい）スル
不愉快（ふゆかい）ナ	自衛（じえい）スル	（自衛）策（じえいさく）	改善（かいぜん）スル
述（の）べる	発刊（はっかん）スル	擁護（ようご）スル	

◆固有名詞　神田剛（かんだたけし）

新しい言葉 II

～が早（はや）いか	漫画（まんが）	大（だい）の	～とは
よりによって	人前（ひとまえ）	まゆ	
（まゆを）ひそめる		批判（ひはん）スル	久（ひさ）しい
現象（げんしょう）	団塊（だんかい）	擁（よう）する	携（たずさ）える
進出（しんしゅつ）スル	根（ね）づく	分析（ぶんせき）スル	諸（外国）（しょがいこく）
翻訳（ほんやく）スル	（事実（じじつ）を）引（ひ）く	ストーリー	
まんざら（～ない）		指摘（してき）スル	一種（いっしゅ）
近（ちか）づく	もはや	人目（ひとめ）	はばかる
そん色（しょく）	改（あらた）める	下劣（げれつ）ナ	出勤（しゅっきん）スル
退社（たいしゃ）スル	文庫本（ぶんこぼん）	風景（ふうけい）	ラッシュ
軽減（けいげん）スル	（住宅（じゅうたく））難（なん）	減少（げんしょう）スル	穴埋（あなう）めスル
定期試験（ていきしけん）	マーカー	片手（かたて）	寸暇（すんか）
惜（お）しむ	教科書（きょうかしょ）	暗記（あんき）スル	

❖

(サラリーマン)版(ばん)		ビジネスマン	読(よ)み物(もの)
刊行(かんこう)スル	(サラリーマン)層(そう)		読書(どくしょ)スル
統計(とうけい)スル	作成(さくせい)スル	推理(すいり)スル	上位(じょうい)
自体(じたい)	予想(よそう)スル	(〜に)難(かた)くない	設問(せつもん)スル
項目(こうもく)	回答(かいとう)スル	多数(たすう)	興味(きょうみ)
(年齢(ねんれい))別(べつ)ニ	未婚(みこん)	既婚(きこん)	細(こま)かい
唯一(ゆいいつ)	浮(う)かび上(あ)がる	集計(しゅうけい)スル	自社(じしゃ)
月刊誌(げっかんし)	特集(とくしゅう)スル	視点(してん)	掘(ほ)り下(さ)げる
〜であれ〜であれ		一向(いっこう)に(〜ない)	物理的(ぶつりてき)ナ・ニ
それとなく	はみ出(だ)す	(結論(けつろん))めく	締(し)めくくる
相当(そうとう)スル・ナ・ニ	曲がりなりにも	確立(かくりつ)スル	程遠(ほどとお)い
来客(らいきゃく)	散々(さんざん)ナ	追(お)いかけ回(まわ)す	帰宅(きたく)スル
突(つ)き合(あ)わせる	身動(みうご)きスル	混雑(こんざつ)スル	没頭(ぼっとう)スル
辛(かろ)うじて	浸(ひた)る	騒音(そうおん)	精(せい)を出(だ)す
背広(せびろ)	黙々(もくもく)と	こぐ	議論(ぎろん)スル
分(わ)かれる	(〜を)物(もの)ともせず		一心不乱(いっしんふらん)ナ・ニ
読(よ)みふける	必死(ひっし)ニ	あがく	哀(あわ)れナ
精々(せいぜい)	(〜で)済(す)ます		

[電車の中のプライバシー]

一見してサラリーマンと分かる人たちが、席に着くが早いか、電車の中ではた目構わず堂々と漫画(まんが)を開くようになったのはいつのころからのことであろうか。「大の大人が漫画とは。それも、よりによって人前で・・・」 そういった、まゆをひそめての批判も聞かれなくなって久しい。この現象については、一方で、漫画で育った団塊(だんかい)の世代がその圧倒的な数を擁(よう)して、漫画を携えたまま社会へ進出し、漫画文化を日本に根づかせたという分析(ぶんせき)がある。そうかと思うと、諸外国でも日本の漫画が翻訳(ほんやく)、出版されているという事実を引いて、日本漫画のストーリーの質、文学性はまんざら捨てたものでもないと指摘(してき)する漫画文化擁護論もある。漫画は一種の芸術的表現手段に近づきつつあり、もはや人目をはばかるようなたちのものではなく、小説を読むのと比べ、何らそん色はない。認識を改めなければならないし、漫画を読む大人のいる社会を下劣(げれつ)な文化だと批評するのは当たらないとする論である。

漫画に限らず、出勤・退社時の電車の中で、サラリーマンが文庫本や新聞を読んだりしている姿は、日本社会独特の風景として昔から指摘されてきた。これは、サラリーマンたちが、ラッシュ時の不愉快(ふゆかい)さを少しでも軽減(けいげん)しようとして始めた自衛策である。また最近では、住宅難が厳しさを増し通勤時間が長くなるにつれて、家で本や新聞を読むのに使う時間が減少し、その穴埋(あなう)めを電車の中でして

漫　塊　擁　析　翻　摘　劣　愉　*軽　*減　穴

【電車の中のプライバシー】

いるという事情もある。言ってみれば、定期試験の朝、マーカーを片手に寸暇を惜しんで教科書を暗記しようとする学生たちの、サラリーマン版とでも言えようか。

ところで、最近ある出版社が、ビジネスマン向けの読み物を刊行するに当たり、サラリーマン層の読書傾向の統計を作成する目的で、アンケート調査を実施した。その結果、漫画、雑誌、推理小説などの文庫本が上位を占めた。この調査結果自体は、予想に難くないものであったが、出版社を少なからず驚かせたのは、設問の中の「どこで読みますか」という項目に対する回答結果だった。圧倒的多数が、通勤途中の電車と答えたのである。この調査結果に興味を持った出版社は、それを、性別、年齢別、未婚・既婚に分けて、さらに細かく分析したところ、既婚の男性サラリーマンの大半が、電車の中で何かを読んでおり、しかも、ほとんどの人にとってそれが唯一、物を読む時間だという現代サラリーマンの一面が鮮明に浮かび上がってきた。この集計結果をもとに、出版社では、電車の中で気軽に読める週刊誌を発刊することに決めたということだが、それとは別に、自社の出す月刊誌で特集を組み、今度は「何を読むのか」ではなく、「どうして、電車の中で物を読むのか」という視点から取材を進め、このテーマをさらに深く掘り下げて扱うことになった。

それによると、電車の中で読むのは、漫画であっても新聞であっ

寸 *暇 惜 *版 *読 推 項 *答 *興 *既 *細 唯 *取 材
掘

【電車の中のプライバシー】

ても構わない。「面白くて時間を忘れさせてくれる」なら、推理小説であれ、文学作品であれ一向に構わない。「唯一、通勤電車の中が、通勤電車の中で物を読んでいる時間だけが、解放された時なのだから」ということである。そして、会社では言うまでもなく、家庭においても「物理的に、なかなか一人になれる場所がない」。また、父親、夫(おっと)としての自分の立場、役割をそれとなく意識せざるを得ず、それを大きくはみ出して家族を無視することは難しいので「時間的にも、そう簡単に一人になれない」。だから、電車の中で自分の時間を楽しむのだという結論めいた意見が述(の)べられ、その記事は締(し)めくくられていた。

日本にはプライバシーがない。従(したが)って、それに相当する日本語もない。住宅事情が改善(かいぜん)され各家庭のプライバシーは曲(ま)がりなりにも守られるようになったが、家族一人一人のプライバシーの確立には程遠(ほどとお)いというのが現状である。会社では電話や来客に散々追いかけ回され、帰宅してからも一人になることのできないサラリーマンたちが、唯一電車の中でプライバシーを確保する。それも、顔と顔を突き合わせ、文字通り身動きすらできないほど混雑した電車の中で物を読むことに没頭(ぼっとう)し、周りの世界から自らを切り離し辛(かろ)うじて個人のプライバシーを守る。自分の世界に浸(ひた)るという意味では、周りの騒音にもかかわらず、パチンコに精を出している背広姿やフィッ

---

*大　述　締　*従　善　*曲　*程　没　*辛　浸

【電車の中のプライバシー】

トネスクラブで黙々と自転車をこいでいるサラリーマンも、事情は似たようなものかもしれない。

何をプライバシーと呼ぶかは、議論の分かれるところであろう。が、それにしても、混雑を物ともせずに満員電車の中で一心不乱に漫画を読みふける姿の向こうに、必死にプライバシーを守ろうとあがくサラリーマンの哀れな姿が隠されており、それが、精々サラリーマンに許されたプライバシーであるとすれば、「大人が漫画を読んでたっていいじゃないか」では済まされない問題である。

*黙　哀

答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 大人が漫画を読むことへの批判が聞かれなくなったことについて、どのような説明がありますか。
2. サラリーマンが電車の中で本を読むのはどうしてだと考えられていますか。
3. ある出版社が行ったのはどのようなアンケートですか。
4. その中で出版社が興味を持ったのは、どのような調査結果についてですか。
5. それをさらに細かく分析して、どんなことが分かりましたか。
6. 出版社は月刊誌でどんな特集を組みましたか。
7. 結論としてどのような意見が述べられていますか。
8. 日本のプライバシーの現状はどうですか。
9. 電車の中で、大人が漫画を読む現象をどのような問題として捕らえていますか。簡単にまとめてください。
10. どんな時、プライバシーを侵害されたと感じますか。

使いましょう

A 「～であれ(～であれ)」という言い方を練習しましょう。

1. 生活の難しさは＿＿＿＿＿＿であれ＿＿＿＿＿＿であれ、あまり変わりません。
2. 人間であれ動物であれ、＿＿＿＿＿＿。
3. ＿＿＿＿＿＿であれ誰であれ、＿＿＿＿＿＿。
4. ＿＿＿＿＿＿はたとえ理由が何であれ、＿＿＿＿＿＿。
5. ＿＿＿＿＿＿であれ(＿＿＿＿＿＿であれ)、＿＿＿＿＿＿。

B 「それとなく」という言い方を練習しましょう。

1. みんなが迷惑していることをそれとなく彼に伝えたが、＿＿＿＿＿＿。
2. このごろ中学生の娘の帰りが遅いので、それとなく＿＿＿＿＿＿。
3. 彼の以前とは違う態度からそれとなく＿＿＿＿＿＿が感じられた。
4. 私は＿＿＿＿＿＿にそれとなく＿＿＿＿＿＿ことを教えられた。
5. ＿＿＿＿＿＿それとなく＿＿＿＿＿＿。

C 「散々」という言い方を練習しましょう。

1. どうしようかと散々迷ったあげく、＿＿＿＿＿＿。
2. 全員で散々話し合った結果、＿＿＿＿＿＿。
3. 普段散々遊んでおいて、＿＿＿＿＿＿。
4. 昨日は散々＿＿＿＿＿＿ので、＿＿＿＿＿＿。
5. ＿＿＿＿＿＿は散々＿＿＿＿＿＿、＿＿＿＿＿＿。

D 「精々」という言い方を練習しましょう。

D -1

1. 私が彼にしてあげられることは、精々＿＿＿＿＿＿＿＿。
2. 日本語が上手になったといっても、精々＿＿＿＿＿＿＿＿。
3. いくら努力しても、精々＿＿＿＿＿＿＿＿。
4. ＿＿＿＿＿＿＿＿は精々＿＿＿＿＿＿＿＿。

D -2

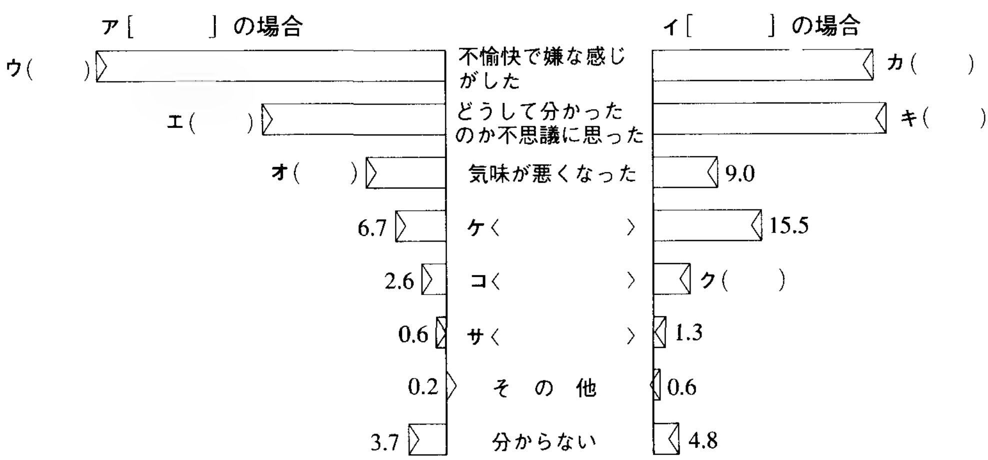
1. こんなチャンスはめったにないので、精々＿＿＿＿＿＿＿＿。
2. 来週から忙しくなるので、精々＿＿＿＿＿＿＿＿。
3. ＿＿＿＿＿＿＿＿ので、精々サービスさせていただきます。
4. ＿＿＿＿＿＿＿＿。精々若いうちにやりたいことをやっておきなさい。

聞きましょう

問題1　テープを聞いて答えてください。

・個人情報の利用についての調査結果

『電話や手紙が来た時、どんな気持ちがしたか』（単位：％）



A：便利だと思った　　B：商売熱心だと思った　　C：何とも思わなかった

問題2　次の文を聞いて、正しいものには○、正しくないものには×をつけてください。

①（　　　）　②（　　　）　③（　　　）　④（　　　）　⑤（　　　）

［統計でよく使われる言葉］

年齢　　集計（しゅうけい）する　　上位　　回答　　数値（すうち）　　いずれ

III

第14課 ―――――【ほんものの豊かさ】

ニュースを聞きましょう

I　ニュースを聞いて次の質問に答えてください。

II　ニュースを聞きながら、(　　)の中に言葉、数字を入れてください。

1. 昔ながらの(　　　　　　　　)の品が少なくなっている。
   ――(　　　　　　　　)を受け継(つ)ぐ若者が減っている。
2. ジョン・マクレガーさんは(　　　　　　　　)から来た青年。
   ――現在(　　　　　　　　)歳。
   ――大学卒業後、(　　　　　　　　)に勤めていた。
   ――雑誌で日本の(　　　　　　　　)を目にした。
   ――以来、(　　　　　　　　)の技術を身に付けたいと考えていた。
   ――(　　　　　　　　)の春、日本へ来た。
   ――今、たんす(　　　　　　　　)の太田(おおた)さんの所にいる。
3. ジョンさんの(　　　　　　　　)についての話。
   ――磨(みが)き抜かれた(　　　　　　　　)に驚いた。
   ――太田さんの指導は(　　　　　　　　)が、とても親切。
   ――日本の技術は出来上がるまでの(　　　　　　　　)を大切にしている。
   ――(　　　　　　　　)するまでには長い時間が必要。
   ――一生掛かっても(　　　　　　　　)にする覚悟。
4. 太田さんはジョンさんの(　　　　　　　　)をうれしく思っている。
   ――(　　　　　　　　)にもこのような人が増えてほしい。

III　次の質問に答えて、ニュースをまとめてください。

新しい言葉

❖

新しい言葉 I

手作り（てづくり）	伝統（でんとう）	受け継ぐ（うけつぐ）	減る（へる）
家具（かぐ）	たんす	職人（しょくにん）	磨き抜く（みがきぬく）
プロセス	熟練（じゅくれん）スル	心意気（こころいき）	

◆固有名詞　オーストラリア／ジョン・マクレガー／シドニー／岐阜県（ぎふけん）／太田勘三郎（おおたかんざぶろう）

新しい言葉 II

大量（たいりょう）	日本国中（にほんこくじゅう）	潤沢（じゅんたく）ナ・ニ	復興（ふっこう）スル
ひたすらナ・ニ	まい進（しん）スル	利潤（りじゅん）	追求（ついきゅう）スル
回転（かいてん）スル	安価（あんか）ナ・ニ	見栄え（みばえ）	生産（せいさん）スル
工程（こうてい）	手間（てま）	丹念（たんねん）ナ・ニ	作り上げる（つくりあげる）
生産性（せいさんせい）	向上（こうじょう）スル	量産（りょうさん）スル	体制（たいせい）
背景（はいけい）	達成（たっせい）スル	喪失（そうしつ）スル	選択肢（せんたくし）
画一（かくいつ）	まがい物（もの）	かつ	ひいては
葬り去る（ほうむりさる）	しわ寄せ（よ）	まともナ・ニ	食生活（しょくせいかつ）
旬（しゅん）	特有（とくゆう）	特産品（とくさんひん）	祝い事（いわいごと）
タイ	クリスマス	チキン	丸焼き（まるやき）
のみ	食（しょく）ぜん	養殖（ようしょく）スル	ハウス
栽培（さいばい）スル	冷凍（れいとう）スル	保存（ほぞん）スル	著しい（いちじるしい）

❖

手(て)に入(はい)る	料亭(りょうてい)	ファミリーレストラン	
(地方(ちほう))色(しょく)	出回(でまわ)る	手(て)ごろナ	(食卓(しょくたく)に)上(のぼ)る
遠(とお)のく	庶民(しょみん)	要(よう)するに	何(なに)も(〜ない)
(〜に)限(かぎ)ったことではない		常日(つねひ)ごろ	同様(どうよう)ナ・ニ
巧(たく)みナ・ニ	細工(さいく)スル	施(ほどこ)す	精魂(せいこん)
織(お)り上(あ)げる	染(そ)め上(あ)げる	振(ふ)りそで	材料(ざいりょう)
生地(きじ)	折(おり)に触(ふ)れ	披露(ひろう)スル	(〜に)かけては
引(ひ)けを取(と)る	プロ[←プロフェッショナル]		誇(ほこ)り[←誇(ほこ)る]
所有(しょゆう)スル	まつわる	語(かた)り継(つ)ぐ	愛着(あいちゃく)
古(ふる)き良(よ)き時代(じだい)	単(たん)なる	ノスタルジア	一笑(いっしょう)に付(ふ)す
手(て)になる	〜べくもない	見掛(みか)け倒(だお)し	代物(しろもの)
逸品(いっぴん)	到底(とうてい)(〜ない)	双方(そうほう)	薄(うす)れる
〜が最後(さいご)	いとも	使(つか)い捨(す)て	粗大(そだい)ごみ
極(きわ)めて	端的(たんてき)ナ・ニ	平等(びょうどう)ナ・ニ	手(て)にする
取(と)りも直(なお)さず	まさしく	極力(きょくりょく)	抑(おさ)える
極限(きょくげん)	高(たか)める	一概(いちがい)に(〜ない)	否定(ひてい)スル
(急(いそ)ぎ)に(急(いそ)ぐ)			

【ほんものの豊かさ】

大量消費時代を迎え、日本国中、物があふれるほど潤沢(じゅんたく)になった。しかし、戦後奇跡的な経済復興(ふっこう)を遂げ、その結果「豊かになった」日本社会の歩みを振り返ってみると、そこには「質より量」に向かってひたすらまい進してきた我々の姿がある。利潤を追求(ついきゅう)し、商品を少しでも早く回転させるために、安価で見栄(みば)えの良い物を大量に生産し、昔ながらの手作りの良さは無視してきた。一つ一つの工程に手間を掛け、丹念(たんねん)に物を作り上げていく伝統的な「職人の技(わざ)」には、コストが掛かり過ぎ、生産性の向上につながらないため、量産体制がそれに取って代わったのである。このように、現在の日本の豊かさは大量生産、大量消費社会の形成を背景(はいけい)にして達成されたものであり、その過程で我々は実に多くの「本物」を喪失(そうしつ)してきた。「豊かな社会」の実現は、一見、消費者の選択肢(し)を無限に増やしてきたかのように見えるが、実はそれは一般消費者に画一化された「まがい物」を多様かつ大量に供給し、ひいては、自らの手で「本物」という選択肢を葬(ほうむ)り去るプロセスであったのだ。

この「まがい物」大量消費社会のしわ寄せをまともに受けているのが我々の食生活である。かつては、季節(きせつ)季節に旬(しゅん)の食べ物があり、それぞれの地方特有の特産品があり、そして、祝(いわ)い事にタイ、クリスマスにチキンの丸(まる)焼きなどと特別な場合にのみ食ぜんを飾るぜいたくな食べ物があった。なるほど、今は養殖やハウス栽培(さいばい)の技術、

潤　沢　*興　*追　*求　*栄　丹　*技　*背　喪　肢　*葬　季　節
旬　祝　丸　栽　培

ほんものの豊かさ

あるいは、冷凍(れいとう)保存技術の著(いちじる)しい進歩のおかげで、スーパーに行けばいつでも、どんな物でも安い値段(ねだん)で手に入るし、高級料亭(りょうてい)に行かなくても一般的なファミリーレストランで、以前は、日常口にすることもできなかったような食べ物を楽しむことができる。しかし、その一方で、食べ物から、季節感や地方色が消え、タイやチキンからもぜいたく感が失われた。また、養殖物の魚が大量に市場に出回り、手ごろな値段で食卓に上るようになるとともに、天然物はますます遠のき、庶民(しょみん)が味わえるような物ではなくなった。要するに、一般消費者の選択肢から「本物」が姿を消してしまったのである。

何もこれは食べ物に限ったことではなく、我々が常(つね)日ごろ使っている物についても同様のことが言える。かつてはどの家にも長い間受け継(つ)がれてきた家具があり、着物があった。巧(たく)みな細工が施(ほどこ)されたたんすや精魂込めて織(お)り上げ、染(そ)め上げられた振りそでが、親から子へと受け継がれ、その過程で様々なエピソードを生み出してきた。我々は、そうした品を前にして、材料や生地(きじ)の生産地について、職人たちの磨(みが)かれた技について語り、折(おり)に触れ、秘められたエピソードを披露(ひろう)してきた。たんすや着物が人の心に、熟練(じゅくれん)した職人の心意気を語りかけ、この道にかけては誰にも引けは取らぬというプロとしての誇(ほこ)りを感じさせる。それを所有する者は、一つ一つの品にまつわる様々な歴史を語り継ぎながら、愛着を持って大切に使い続

凍 *著 *値 亭 庶 *常 継 巧 *施 *織 *染 *生 磨 折
披 露 熟 誇

【ほんものの豊かさ】

けた。こんな言い方をすると、古き良き時代に対する単なるノスタルジアだと一笑に付されてしまうかもしれないが、職人の手になった「本物」にはそういう一面があったのだ。

大量生産で生み出された商品は、量産体制に乗せるために画一化され製造された物であり、長年にわたって磨き抜かれた職人の技術を駆使して作り出された物とは比べるべくもない。本物とは程遠い、見掛け倒しの代物ばかりである。職人が何年も使ってもらえるようにと心を込めて作り出した逸品を、親から子へ大切に受け継ぐなどということは、今の時代、到底考えられないことである。物が語りかけることもなければ、物を前に何かを語り継ぐということもない。商品の画一化が進むにつれて、作る方、使う方、双方の愛情も薄れ、大量に生産された「まがい物」は、不要になったり使えなくなったが最後、いとも簡単に捨てられてしまう。使い捨て時代の粗大ごみは、我々の生きる大量消費・画一化社会を極めて端的に象徴しているのである。

「本物」を目にしたり、口にする機会が減ったとはいえ、欲しい物をみんなが平等に手にできる。そのことのどこがおかしいのか、これは取りも直さず、社会が豊かになったということではないのかという議論がある。これこそが、まさしく、日本の歩んできた豊かさへのプロセス、「画一化社会」への道であった。できるだけ多くの人

---

*笑 *代 逸 到 双 粗

ほんものの豊かさ

たちに、安価に、可能な限りたくさんの品を提供するためには、コストを極力抑(おさ)えて大量生産するしか方法はない。そして日本は、極限に近いところへまで技術革新を進め、生産性を高め「まがい物」を作り続けてきた。一概に画一化、大量生産を否定ばかりはできないが、しかし、「豊かさ」への道を急ぎに急いだ結果、我々は、「本物」という選択肢を失った。生活の「質」という点から見れば、これは、豊かさとは全く逆の方向への歩みだったのではないかと思わせられる。

抑

答えましょう

次の質問に答えてください。

1.「職人の技」は何に取って代わられましたか。それはなぜですか。
2.「豊かな社会」の実現によって何を得、何を失いましたか。
3. かつての食卓にはどんな食べ物がありましたか。
4. 量産体制のおかげで現在の食生活はどうなりましたか。
5. 大量消費社会のしわ寄せとはどのようなことですか。
6. 長い間受け継がれた品物の前で、どんなことが語られましたか。
7. それらの品物からは何が感じられますか。
8. 現在、人々は物をどう扱っていますか。
9.「画一化社会」が豊かさとは逆の方向への歩みであったとは、どういうことですか。簡単にまとめてください。
10. あなたが考える「本物」とはどんな物ですか。

使いましょう

A 「何も～ない」という言い方を練習しましょう。

1. 私が言いたいのは何も＿＿＿＿＿＿＿＿ということではない。
2. いろいろな考え方があるのだから、何も＿＿＿＿＿＿＿＿とは限らない。
3. ＿＿＿＿＿＿＿＿からといって、何も＿＿＿＿＿＿＿＿つもりはありません。
4. ＿＿＿＿＿＿＿＿は何も＿＿＿＿＿＿＿＿わけではない。
5. 何も＿＿＿＿＿＿＿＿ばかり＿＿＿＿＿＿＿＿なくてもいいのに。

B 「～に限ったことではない」という言い方を練習しましょう。

1. ＿＿＿＿＿＿＿＿に悩んでいるのは、何も＿＿＿＿＿＿＿＿に限ったことではない。
2. ＿＿＿＿＿＿＿＿を必要としているのは、何も＿＿＿＿＿＿＿＿に限ったことではない。
3. ＿＿＿＿＿＿＿＿のは必ずしも＿＿＿＿＿＿＿＿に限ったことではない。
4. ＿＿＿＿＿＿＿＿は＿＿＿＿＿＿＿＿に限ったことではなく、＿＿＿＿＿＿＿＿についても同じことが言える。
5. ＿＿＿＿＿＿＿＿は＿＿＿＿＿＿＿＿に限ったことではない。

C 「一概に～ない」という言い方を練習しましょう。

1. ＿＿＿＿＿＿＿＿ので、一概にこの計画が失敗だったとは言えない。
2. ＿＿＿＿＿＿＿＿が＿＿＿＿＿＿＿＿ことは一概に否定できない。
3. ＿＿＿＿＿＿＿＿が＿＿＿＿＿＿＿＿ことは一概に無視できない。

4. ＿＿＿＿＿＿を一概に＿＿＿＿＿＿わけにはいかない。
5. ＿＿＿＿＿＿は一概に＿＿＿＿＿＿。

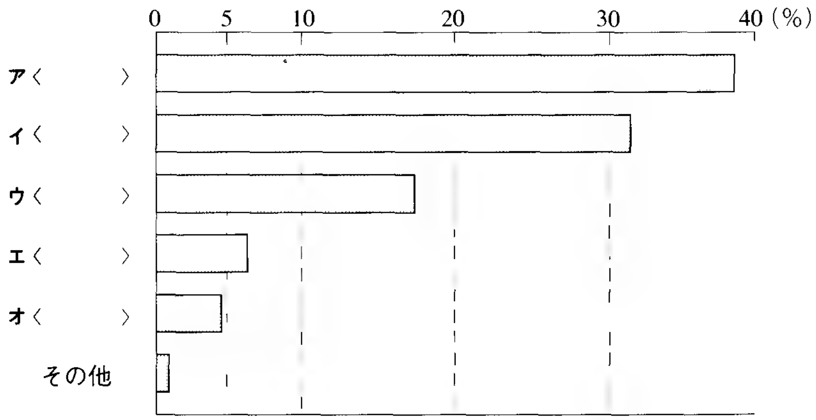
D 「～に～」という言い方を練習しましょう。

1. 急ぎに急いで、やっと＿＿＿＿＿＿。
2. ＿＿＿＿＿＿に耐えに耐え、＿＿＿＿＿＿。
3. 悩みに悩んだ結果、＿＿＿＿＿＿ことにした。
4. 迷いに迷ったあげく、＿＿＿＿＿＿。
5. 考えに考えた末、＿＿＿＿＿＿。

聞きましょう

問題1　テープを聞いて答えてください。

消費行動の変化



A：消費に変化はない
B：値段への関心が高まった
C：安く売る店を利用することが増えた
D：高級商品への関心が薄くなった
E：必要性を考えるようになった

問題2　次の文を聞いて、正しいものには○、正しくないものには×をつけてください。

①（　　）　②（　　）　③（　　）　④（　　）　⑤（　　）

［統計でよく使われる言葉］

～足らず　　注目する　　割る　　高まる

第15課 ――【ミエと指輪と夜光虫】

ニュースを聞きましょう

I　ニュースを聞いて次の質問に答えてください。

II　ニュースを聞きながら、(　　)の中に言葉、数字を入れてください。

1. 外国人の(　　　　　　　　)問題がクローズアップされている。
　――言葉や(　　　　　　　　)の問題が妨(さまた)げとなる。
　――(　　　　　　・　)へ行かない人も多い。
　――時には(　　　　　　　　)になる。
　――今日、横浜(よこはま)で外国人のための(　　　　　　　　)があった。
2. 病院を(　　　　　　　　)する谷山静雄(たにやましずお)さんが開いた。
　――今日は第(　　　　　　　　)回目。
　――午前(　　　　　　　　)時から(　　　　　　　　)で行われた。
　――相談は、眠れない、(　　　　　　　　)がない、(　　　　　　　　)がたまるなど。
3. 谷山さんの話。
　――今はまだ(　　　　　　　　)の状態。
　――これを単なる(　　　　　　　　)に終わらせたくない。
　――今後はもっと(　　　　　　　　)に開きたい。
4. 毎月、(　　　　　　　　)日曜日に開かれる予定。
　――中国語、韓国語、(　　　　　　　　)語などの通訳もある。

III　次の質問に答えて、ニュースをまとめてください。

新しい言葉

❖

新しい言葉 I

クローズアップ スル		妨(さまた)げ[←妨(さまた)げる]	(病気(びょうき)に)掛(か)かる
見(み)るに見(み)かねる	三々五々(さんさんごご)	そこここ	やり取(と)り スル
人種(じんしゅ)	国境(こっきょう)	手探(てさぐ)り スル	気休(きやす)め
頻繁(ひんぱん) ナ・ニ			

◆固有名詞　横浜(よこはま)／谷山静雄(たにやましずお)

新しい言葉 II

夜光虫(やこうちゅう)	(一)通(いっつう)	教(おし)え子(ご)	〜かたがた
近況(きんきょう)	筆跡(ひっせき)	出席(しゅっせき) スル	一言(ひとこと)
添(そ)える	担任(たんにん) スル	島(しま)	日中(にっちゅう)
名所(めいしょ)	旧跡(きゅうせき)	民宿(みんしゅく)	聴(き)き取(と)る
(聴(き)き取(と)り)づらい		心尽(こころづ)くし	舌鼓(したつづみ)を打(う)つ
話術(わじゅつ)	見(み)て取(と)る	すかさず	突堤(とってい)
飽(あ)きる	一様(いちよう) ニ	けげん ナ	
百聞(ひゃくぶん)は一見(いっけん)にしかず		テトラポッド	伝(つた)い歩(ある)く
たどり着(つ)く	〜やら	両手(りょうて)	水中(すいちゅう)
それ(っ)	力一杯(ちからいっぱい)	かき回(まわ)す	出現(しゅつげん) スル
乱舞(らんぶ) スル	わあ(っ)	歓声(かんせい)	(歓声(かんせい)が)上(あ)がる
暗(くら)がり	パチャパチャ	水音(みずおと)	悲鳴(ひめい)

❖

合奏(がっそう)スル	ひとしきり	陣取(じんど)る	夜釣(よづ)り
先客(せんきゃく)	迷惑(めいわく)ナ・スル	苦情(くじょう)	きょう声(せい)
戯(たわむ)れる	きらめき[←きらめく]		目(め)を奪(うば)う
好事魔多(こうじまおお)し	人一倍(ひといちばい)	大声(おおごえ)	張(は)り上(あ)げる
涙声(なみだごえ)	ぽつりと	泣(な)き虫(むし)	甘(あま)えん坊(ぼう)
婚約(こんやく)スル	ホームシック	贈(おく)る	紛(まぎ)らわす
公言(こうげん)スル	よりどころ	弾(はず)み[←弾(はず)む]	擦(す)り抜(ぬ)ける
～といって～ない		手立(てだ)て	手持(ても)ちぶさたナ・ニ
うずめる	肩(かた)	揺(ゆ)する	泣(な)き声(ごえ)
～どころではない		もとより	～わけがない
男子(だんし)	釣(つ)り客(きゃく)	懐中電灯(かいちゅうでんとう)	差(さ)し出(だ)す
照(て)らし出(だ)す	ついに	翌朝(よくあさ)	覚(さ)ます
宿(やど)	もぬけの殻(から)	取(と)りあえず	玄関(げんかん)
朝日(あさひ)	一団(いちだん)	申(もう)し合(あ)わせる	たくし上(あ)げる
ぶら下(さ)げる	別人(べつじん)	先頭(せんとう)	白(しら)む
にこやかナ・ニ	不首尾(ふしゅび)	クラスメート	かがめる
どうやら	(国際(こくさい))うんぬん	催(もよお)し[←催(もよお)す]	深(ふか)める
ばく大(だい)ナ・ニ	肌(はだ)	等々(とうとう)	乗(の)り越(こ)える
イベント	シンポジウム	しっくり(と)	やや
冷(ひ)ややかナ・ニ	一連(いちれん)	取(と)り持(も)つ	何(なん)となく
もやもや(と)スル	かざす	移(うつ)す	騒動(そうどう)

❖

取(と)るに足(た)りない　今更(いまさら)　取(と)り去(さ)る　隣人(りんじん)

分(わ)かち合(あ)う　たまたま　さほど(～ない)　素直(すなお)ナ・ニ

率直(そっちょく)ナ・ニ　～でなくて何(なん)だろう　焦点(しょうてん)

～なくして(～ない)　友情(ゆうじょう)　宿(やど)す

揺(ゆ)られる　交換(こうかん)スル　よみがえる

◆固有名詞　台湾(たいわん)／瀬戸内海(せとないかい)／陳(ちん)　美恵(みえ)

【ミエと指輪と夜光虫】

台湾（たいわん）から一通の手紙が届いた。かつての教え子が結婚するということで、その報告かたがた近況を知らせてきた。懐かしい筆跡で、ぜひ出席してほしいとの一言も添（そ）えられていた・・・

数年前、私は、自分が担任する留学生たちと瀬戸内海（せとないかい）の小さな島（しま）へ一泊（いっぱく）二日の旅行に出かけた。日中は、島に残る名所・旧跡を訪ね、夜は地元の民宿に泊（と）まった。民宿のご主人は、島の言葉で話すため、学生たちには少し聴（き）き取りづらかったかもしれないが、とても面白い人だった。心尽くしの料理に舌鼓（したつづみ）を打った後も、サラリーマンが嫌で民宿を始めたというご主人の巧みな話術に、しばらく時を忘れるほどだった。ちょっと学生たちが話に疲れてきたかなと見て取ると、すかさず「突堤へ行ってみ、今の季節、夜光虫（やこうちゅう）がきれいやで」と飽（あ）きさせない。

「ヤコーチュー？」耳慣れない言葉に、学生たちは一様に「それ、何？」とけげんな顔をしてこちらを見たが、私は「百聞は一見にしかず」とばかりに立ち上がり、みんなを促して、夜の海へ向かった。突堤に着くと、テトラポッドを伝い歩き、水に手が届く所までたどり着いた。後に続く学生たちは、周りに集まって来て、一体「ヤコーチュー」がどこから出てくるのやらという様子でいる。私は、両手をそっと水中に入れ、それっと力一杯かき回した。夜の海に突然出現した光の乱舞に、学生たちから「わあっ」と大歓声（だいかんせい）が上がる。その後しばらくは、テトラポッドの暗がりのそこここで、パチャパ

---

*夜　虫　湾　添　瀬　*島　泊　*泊　*聴　舌　鼓　飽　歓　*声

ミエと指輪と夜光虫

チャ、パチャパチャという水音と悲鳴に似た歓声の大合奏がひとしきり続いた。突堤に陣取って夜釣りを楽しんでいた先客にとっては大迷惑であったに違いない。どこからも苦情は出なかったのは、テトラポッドの暗がりから聞こえてくるきょう声が日本語ではなかったせいかもしれない。水と戯れ、夜光虫のきらめきに目を奪われているうちに、「好事魔多し」を絵に書いたような出来事が起こった。「指輪がなくなった」と、それまで人一倍大声を張り上げて喜んでいたミエが涙声でぽつりと言った。泣き虫で甘えん坊のミエは、国に残した婚約者を思いホームシックに掛かった時、彼が贈ってくれた婚約指輪と話をし寂しさを紛らわすのだと、公言していた。そのミエの心のよりどころが、何かの弾みに、ミエの指を擦り抜け夜の海に姿を消してしまったのだ。

学生たちは、これといって手立ても思いつかないまま、しばらくは手持ちぶさたにたたずんでいたが、ひざに顔をうずめて肩を揺するミエの泣き声に促されるように、手探りで指輪探しを始めた。もう夜光虫どころではなかった。もとより、夜の海に沈んだ指輪が見つかるわけもなく、これは、ミエに対する、そして、悲しむミエに何もしてやれない自分自身に対する学生たちの気休めに過ぎなかった。男子学生の一人が近くにいた釣り客に懐中電灯を貸してほしいと頼んだことがきっかけになって、釣り客たちが三々五々集まって来た。突堤の上と下とのやり取りだったが、それでも事情が分かる

---

*鳴 *合 奏 陣 戯 魔 *虫 甘 贈 紛 *擦 *探 *懐 灯

ミエと指輪と夜光虫

と懐中電灯を差し出し、テトラポッドの暗がりを照らし出してくれたり、「これを使いなさい」と言って貸してくれたりした。中には、突堤を下り「どの辺でなくしたんや」と学生と一緒に指輪探しをしてくれる人もいた。しかし、指輪はついに出てこなかった。

翌朝(よくあさ)、目を覚ますと、宿はもぬけの殻(から)になっていた。どこへ行ったんだろうと思って取りあえず玄関(げんかん)まで出てみると、朝日を背にした一団がこちらへ向かって来る。皆、申し合わせたようにズボンをひざまでたくし上げ、両手に靴やサンダルをぶら下げている。どの顔も朝の日差しに笑顔が輝いている。ミエなどは、昨夜とは別人のような顔をしている。驚いたことに、先頭に立っているのは民宿の主人だった。「困った時はお互い様や」と、泣き続けるミエを見るに見かねて、夜が白(しら)み始めるや否や、学生を連れて突堤に向かったいきさつを、にこやかに話してくれた。突堤での指輪探しは不首尾(ふしゅび)に終わったということだが、指輪をなくした悲しみを自分の事として受け止めてくれたクラスメートや宿の主人の気持ちが、そして、腰をかがめながらテトラポッドの間を隅々まで探してくれたその姿がどうやらミエの心を晴らしてくれたようだ。

国際うんぬんという催(もよお)しが頻繁(ひんぱん)に開かれている。日本を国際化するために、日本人がもっと国際理解を深め国際人になれるようにと、ばく大な時間とお金が費やされてきた。国境に阻まれることなく、地球上に存在する多くの「違い」——人種、文化、肌(はだ)の色、宗教等々

翌　殻　玄　*白　*首　尾　*催　頻　肌

ミエと指輪と夜光虫

――に妨(さまた)げられることなく、「国境」を乗り越え、「違い」を認め合ってと、様々なイベントやセミナー、シンポジウムなどで「国際」が語られてきた。職業柄そうあってはいけないのだが、私は、そのような形で提唱される国際うんぬんがどうもしっくりこなくて、「どう表現しようとそう簡単にできる事じゃない」と、「国際化」や「国際理解」などからは少し距離を置いて、やや冷(ひ)ややかな態度で一連の動きを眺めていた。

瀬戸内海の島で夜光虫が取り持った人間関係を見て、私は少し考えが変わった。というよりは、それまで、何となくもやもやしていたものがはっきりした。突堤で懐中電灯をかざしてくれた釣り客たちも、先頭に立って指輪探しに汗を流してくれた民宿の主人、そして、ミエのクラスメートたちはもちろん、みんな、いとも簡単に、当然の事として「困った時はお互い様」と、人の悲しみを共有し、行動に移(うつ)してくれた。そして、それがミエの悲しみを晴らしてくれた。ミエの指輪騒動は、単に、留学生が指輪を落とし、みんなでそれを探しただけという、人によっては、本当に取るに足りない、当たり前の出来事に見えるかもしれない。しかし、私にとっては、「国際は、個人と個人から」と、今更(いまさら)ながら再認識させられ、それまで感じていた国際うんぬんのもやもやを取り去ってくれる大きな出来事だった。

隣人(りんじん)と痛みを分かち合うこと。隣人は、たまたま「違い」を持っ

---

*妨 *冷 *移 *更 隣

【ミエと指輪と夜光虫】

た人であるかもしれないし、そうではないかもしれない。しかし、それはさほど大きな問題ではない。「国際化」「国際理解」と叫びながら、あまりにも国や文化などの「違い」をクローズアップし過ぎているのではないだろうか。楽しい事は楽しいし、悲しい事は誰だって悲しい。そんな当たり前の感情を素直（すなお）な気持ちで伝え合い、共有するのは、考えられているほど難しいことではない。楽しい時、うれしい時には喜びを、苦しい時、悲しい時には痛みを率直（そっちょく）に分かち合う。これが国際化、国際理解でなくて何だろう。人間は、皆「同じ」であるということに焦点（しょうてん）が当てられることが少な過ぎる。「みんな同じなんだ」という思いなくして、国際化も国際理解も始まらない。ミエの指輪騒動が、私に、はっきりそう教えてくれた･･･

ミエ、陳（ちん）　美恵さんが結婚すると言ってきた。指輪探しの仲間たちには知らせたのだろうか。あの夜の指輪は、今も、友情の光を宿しながら夜光虫の海で波に揺られているのだろうか。結婚式で指輪の交換（こうかん）をする時、ミエの頭の中には夜光虫にきらめく夜の海と明るい朝の日差しを浴びた暖かいみんなの笑顔がきっとよみがえってくるに違いない。

素　*率　焦　陳　*換

答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 数年前、旅行先でどんな事件が起こりましたか。
2. ミエにとって指輪はどんな物でしたか。
3. 周りにいた学生や釣り客たちはどうしましたか。
4. 翌朝、筆者は宿の玄関でどんな光景を目にしましたか。
5. ミエが「別人のような顔をしていた」のはどうしてですか。
6. 一般に「国際化」とはどのようなものだと考えられていますか。
7. これに対して筆者はどう考えていましたか。
8. 筆者にとってミエの指輪騒動はどんな意味がありましたか。
9. 一般に言われる「国際化」と筆者の言う「国際化」とはどう違いますか。簡単にまとめてください。
10. あなたは自分が外国人だと強く意識するのはどんな時ですか。それはどうしてですか。

使いましょう

A 「弾み」という言い方を練習しましょう。

1. 転んだ弾みに、＿＿＿＿＿＿＿＿。
2. 後ろから肩をたたかれた弾みに、＿＿＿＿＿＿＿＿。
3. 何かの弾みに、＿＿＿＿＿＿＿＿。
4. ＿＿＿＿＿＿＿＿が弾みとなって、＿＿＿＿＿＿＿＿が広く知られるようになった。
5. ＿＿＿＿＿＿＿＿弾みに、＿＿＿＿＿＿＿＿。

B 「〜といって〜ない」という言い方を練習しましょう。

1. これといってアイディアも出ないまま、＿＿＿＿＿＿＿＿。
2. 多くの人に会ったけれど、誰といって＿＿＿＿＿＿＿＿。
3. この品物は、＿＿＿＿＿＿＿＿割にはどこといって＿＿＿＿＿＿＿＿。
4. 毎日忙しいので、いつといって特に＿＿＿＿＿＿＿＿。
5. このプロジェクトは何がどうといって＿＿＿＿＿＿＿＿。

C 「〜どころではない」という言い方を練習しましょう。

1. A: 今度の日曜日、ドライブでもどう。
   B: すみません。＿＿＿＿＿＿＿＿ので、＿＿＿＿＿＿＿＿どころではないんです。
2. A: 今日もご出勤ですか。
   B: ええ、＿＿＿＿＿＿＿＿もので、＿＿＿＿＿＿＿＿どころじゃないんですよ。

3．A: 旅行は楽しかった？
B: それどころじゃなかったよ。＿＿＿＿＿＿＿＿。
4．A: 冬の北海道は楽しかったでしょ。
B: いやあ、＿＿＿＿＿＿＿＿どころの話じゃないですよ。＿＿＿＿＿＿＿＿。
5．A: ＿＿＿＿＿＿＿＿。
B: ＿＿＿＿＿＿＿＿どころではありませんよ。＿＿＿＿＿＿＿＿。

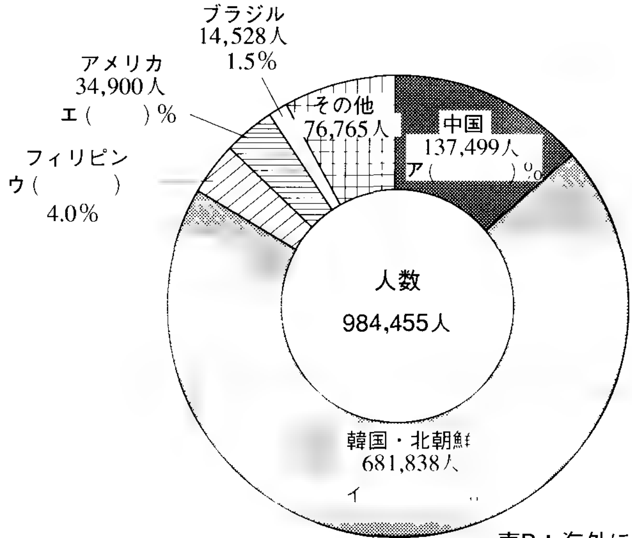
D 「〜でなくて何だろう」という言い方を練習しましょう。

1．公の場で個人の生活について言いたくないことまでいろいろ尋ねられた。これが＿＿＿＿＿＿＿＿でなくて何だろう。
2．この間亡くなったAさんは、ほとんど休みを取ることなく、働いていたそうだ。これが＿＿＿＿＿＿＿＿でなくて何だろう。
3．＿＿＿＿＿＿＿＿。これが差別でなくて何だろう。
4．＿＿＿＿＿＿＿＿。一体、これが動物虐待でなくて何だろう。
5．＿＿＿＿＿＿＿＿。これが＿＿＿＿＿＿＿＿でなくて何だろう。

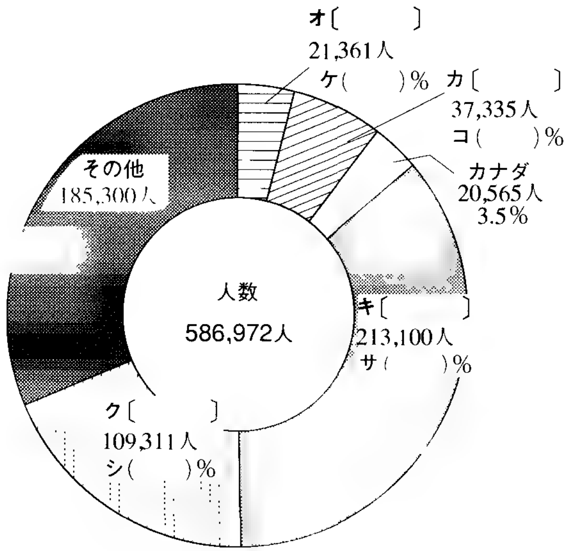
聞きましょう

問題 1　テープを聞いて答えてください。

表A：日本に住む外国人の数と割合



表B：海外に住む日本人の数と割合



問題 2　次の文を聞いて、正しいものには○、正しくないものには×をつけてください。

①（　　　）　②（　　　）　③（　　　）　④（　　　）　⑤（　　　）

［統計でよく使われる言葉］

前年（ぜんねん）　増加する　～別　両方（りょうほう）

索　引

あ

い

え

お

か

がっそう ［合奏スル］ 15 II
かつて 8 II
カットスル 12 II
かつどう ［活動スル］ 10 II
かつりょく ［活力］ 7 I
かて ［糧］ 12 II
かてい ［過程］ 6 II
～かとおもうと ［～かと思うと］ 2 II
～かな 7 II
かなたニ 2 II
かなりナ 3 II
かねて 9 II
かねる ［(耐え)かねる］ 10 II
～がはやいか ［～が早いか］ 13 II
かまわず ［(～も)構わず］ 10 II
かみ ［神］ 6 II
かみがみ ［神々］ 9 II
かやくこ ［火薬庫］ 9 II
がら ［(仕事)柄］ 7 II
～からして 5 II
からず ［(少な)からず］ 5 II
～からには 10 II
～からの 2 II
かりに ［仮に］ 8 II
かるい ［軽い］ 8 I
かるがるしい ［軽々しい］ 12 II
かろう ［過労］ 4 II
かろうじて ［辛うじて］ 13 II
かわいそうナ 10 II
かわす ［交わす］ 2 II
かわり ［代わりニ］ 12 II
かん ［感］ 4 II
かん ［(その)間］ 5 II
かん ［(悲壮)感］ 10 II
かんこう ［刊行スル］ 13 II
かんこう ［観光スル］ 7 II
かんさつ ［観察スル］ 6 II
かんしゃ ［感謝スル］ 12 II
かんせい ［歓声］ 15 II
かんせい ［完成スル］ 3 II
かんせん ［感染スル］ 11 I
かんそく ［観測スル］ 2 II
かんてん ［観点］ 4 II
かんぺき ［完璧ナ・ニ］ 8 II
かんもん ［関門］ 10 II
かんよう ［寛容ナ・ニ］ 11 II

き

き ［気］ 2 II
き ［(改札)機］ 8 II
きがする ［気がする］ 7 II
きがとおくなる ［気が遠くなる］ 6 II
きがる ［気軽ナ・ニ］ 2 II
きき ［機器］ 8 II
ききとる ［聴き取る］ 15 II
きげんぜん ［紀元前］ 9 II
きこん ［既婚］ 13 II
きざみこむ ［刻み込む］ 11 II
きじ ［生地］ 14 II
きしょう ［気象］ 2 II
きしょくまんめん ［喜色満面］ 10 II
きずきあげる ［築き上げる］ 2 II
きずく ［築く］ 9 II
きずつける ［傷つける］ 9 II
ぎせい ［犠牲］ 5 II
きそう ［競う］ 1 I
きたい ［期待スル］ 2 I
きたく ［帰宅スル］ 13 II
きちょう ［貴重ナ］ 5 II
きってもきれない ［切っても切れない］ 3 II
きどう ［軌道］ 2 II
きになる ［気になる］ 7 II
きのう ［昨日］ 1 II
きぼう ［希望スル］ 8 II
きまっている ［(～に)決まっている］ 2 II
ぎみ ［(過労)気味］ 4 II
ぎむきょういく ［義務教育］ 10 II
きもにめいじる ［肝に銘じる］ 2 II
ぎもん ［疑問］ 12 I
ぎゃく ［逆ニ］ 1 II
ぎゃくさつ ［虐殺スル］ 2 II
ぎゃくたい ［虐待スル］ 12 II
ぎゃくてん ［逆転スル］ 5 II
きやすめ ［気休め］ 15 I
きゅう ［旧(大陸)］ 2 II

きゅうせき ［旧跡］ 15 II
きょうかい ［境界］ 6 II
きょうかい ［教会］ 9 II
きょうかしょ ［教科書］ 13 II
きょうきゅう ［供給スル］ 2 II
きょうじゅ ［教授スル］ 5 I
ぎょうしゅく ［凝縮スル］ 6 II
きょうせい ［きょう声］ 15 II
きょうそん ［共存スル］ 12 II
きょうどりょうり ［郷土料理］ 7 II
きょうみ ［興味］ 13 II
きょうゆう ［共有スル］ 9 II
きょうよう ［強要スル］ 2 II
ぎょうれつ ［行列スル］ 9 II
きょか ［許可スル］ 2 II
きょくげん ［極限］ 14 II
きょくせん ［曲線］ 9 II
きょくめん ［曲面］ 9 II
きょくりょく ［極力］ 14 II
きょり ［距離］ 8 II
～きらいがある 4 II
きらめき ［←きらめく］］ 15 II
(～た)きり 11 II
きりがない ［切りがない］ 12 II
きりすてる ［切り捨てる］ 11 II
きりはなす ［切り離す］ 9 II
きれる ［切れる］ 9 II
きれる ［(定期が)切れる］ 8 II
ぎろん ［議論スル］ 13 II
きわまりない ［(不健康)極まりない］ 4 II
きわめて ［極めて］ 14 II
きをとりなおす ［気を取り直す］ 7 II
きん ［(援助)金］ 7 I
きんきょう ［近況］ 15 II
きんせいがとれる ［均整が取れる］ 9 II
きんぞく ［金属］ 2 II
きんだい ［近代］ 6 II
きんちょう ［緊張スル］ 10 II
きんねん ［近年］ 12 II

く

くいいる ［食い入る］ 10 II
くうかん ［空間］ 2 I
くうき ［空気］ 2 II
ぐうぜん ［偶然ニ］ 1 II
くぐりぬける ［くぐり抜ける］ 10 II
くし ［駆使スル］ 9 II
クシャクシャニ 10 II
くじょう ［苦情］ 15 II
くだす ［下す］ 5 II
くち ［(一)口］ 12 II
ぐち ［(改札)口］ 8 II
くつがえす ［覆す］ 8 II
くとう ［苦闘スル］ 9 II
くふう ［工夫スル］ 9 II
くみあわせ ［組み合わせ←組み合わせる］ 6 II
くみこむ ［組み込む］ 8 II
くらがり ［暗がり］ 15 II
クラスメート 15 II
クリーンナ 3 II
クリスマス 14 II
くりひろげる ［繰り広げる］ 12 II
くるう ［狂う］ 8 I
くるしい ［苦しい］ 2 II
くるしめる ［苦しめる］ 5 II
クローズアップスル 15 II
クローン 6 II
くわえる ［加える］ 2 II
くわわる ［加わる］ 9 II

け

げ ［(いぶかし)げナ・ニ］ 8 II
けい ［刑］ 5 II
けい ［(円柱)形］ 9 I
けいい ［敬意］ 6 II
けいき ［刑期］ 5 II
けいき ［契機］ 5 II
けいけん ［敬けんナ・ニ］ 12 II
けいげん ［軽減スル］ 13 II
けいさつかん ［警察官］ 5 II
けいさつけん ［警察犬］ 12 II

けいさん ［計算スル］ 8 II
けいじばん ［掲示板］ 10 II
けいしゃ ［傾斜スル］ 9 II
けいせい ［形成スル］ 12 II
けいむしょ ［刑務所］ 5 II
けげんナ 15 II
けた ［桁］ 8 II
けつあつ ［血圧］ 8 II
げっかんし ［月刊誌］ 13 II
けっしょう ［結晶スル］ 9 II
けつだん ［決断スル］ 11 II
げつめん ［月面］ 2 II
けつろん ［結論スル］ 5 II
げれつ ［下劣ナ］ 13 II
けわしい ［険しい］ 10 II
げん ［(エネルギー)源］ 3 II
げんかん ［玄関］ 15 II
けんぎ ［嫌疑］ 5 II
けんきょ ［謙虚ナ・ニ］ 6 II
げんきん ［現金］ 5 II
けんさ ［検査スル］ 6 II
げんざい ［現在］ 2 I
けんさつ ［検察］ 5 II
げんし ［原始］ 6 II
げんじつ ［現実］ 10 II
げんじゅう ［厳重ナ・ニ］ 3 II
げんしょう ［現象］ 13 II
げんしょう ［減少スル］ 13 II
げんじょう ［現状］ 3 II
げんしりょく ［原子力］ 3 I
げんしろ ［原子炉］ 3 II
けんせつ ［建設スル］ 2 I
けんぜん ［健全ナ・ニ］ 4 II
けんぞう ［建造スル］ 9 II
けんちく ［建築スル］ 9 I
げんてん ［原点］ 12 II
けんとう ［検討スル］ 5 II
げんば ［現場］ 3 II
げんばく ［原爆←原子爆弾］ 3 II
げんばくしょう ［原爆症］ 3 II
げんぱつ ［原発←原子力発電所］ 3 II
げんみつ ［厳密ナ・ニ］ 8 II
けんり ［権利］ 12 II

こ

こ ［(4,000)個］ 2 II
こい ［故意］ 12 II
こう ［(志望)校］ 10 I
こうい ［行為］ 2 II
こうえん ［講演スル］ 11 II
こうか ［効果］ 9 II
こうかい ［航海スル］ 2 II
ごうかく ［合格スル］ 10 II
こうがくぶ ［工学部］ 10 II
こうかん ［交換スル］ 15 II
こうぎ ［抗議スル］ 8 II
こうきゅう ［高級ナ］ 7 II
こうげん ［公言スル］ 15 II
こうこうせい ［高校生］ 10 II
こうじ ［工事スル］ 9 I
こうじつ ［口実］ 4 II
こうじまおおし ［好事魔多し］ 15 II
こうじょう ［向上スル］ 14 II
こうそ ［控訴スル］ 5 II
こうだい ［広大ナ］ 2 II
こうてい ［工程］ 14 II
こうてき ［公的ナ・ニ］ 10 II
こうとうがっこう ［高等学校］ 10 II
こうとうさいばんしょ ［高等裁判所］ 5 II
こうにゅう ［購入スル］ 12 II
こうばん ［交番］ 5 II
こうひょう ［公表スル］ 11 I
こうふ ［交付スル］ 7 I
ごうまん ［ごう慢ナ・ニ］ 12 II
こうもく ［項目］ 13 II
こうりつ ［効率］ 3 II
こうりつ ［公立］ 10 II
こうりょ ［考慮スル］ 9 II
こえる ［超える］ 6 II
こきゅう ［呼吸スル］ 6 II
こぐ 13 II
こくご ［国語］ 1 II
こくない ［国内］ 5 II
こくりつ ［国立］ 10 II
こくれん ［国連←国際連合］ 5 II
こころいき ［心意気］ 14 I

さ

(～に)して　5 II
してき　[指摘スル]　13 II
(～に)しては　11 II
(～に)してみれば　2 II
(～に)しても　4 II
してん　[視点]　13 II
しどう　[指導スル]　4 II
じどう　[自動]　8 II
しのびこむ　[忍び込む]　5 I
しのびない　[(～に)忍びない]　12 II
しはい　[支配スル]　9 II
しばし　9 II
しぼう　[死亡スル]　3 II
しぼう　[志望スル]　10 I
しま　[島]　15 II
しまつだ　[～始末だ]　5 II
しみん　[市民]　5 II
しめくくる　[締めくくる]　13 II
しめす　[示す]　4 II
しめる　[占める]　3 II
じもと　[地元]　10 II
しゃ　[(出場)者]　1 II
～じゃあるまいし　[←ではあるまいし]
8 II
シャンプースル　12 II
ジャンボ　[←ジャンボ機]　9 II
ジャンボき　[ジャンボ機]　9 II
しゅう　[(写真)集]　11 II
しゅうかんし　[週刊誌]　13 I
しゅうけい　[集計スル]　13 II
じゅうし　[重視スル]　11 I
じゅうじか　[十字架]　11 II
じゅうじつ　[充実スル]　8 II
しゅうちゃくてん　[終着点]　10 II
しゅうちゅう　[集中スル]　7 II
しゅうにゅう　[収入]　7 II
しゅうふく　[修復スル]　9 II
しゅうへん　[周辺]　3 II
しゅうまつ　[週末]　4 II
じゅうみん　[住民]　3 I
しゅうよう　[収容スル]　12 II
じゅうらい　[従来]　4 II
じゅく　[塾]　10 I
じゅくれん　[熟練スル]　14 I
じゅけん　[受験スル]　10 I
しゅざい　[取材スル]　13 I
しゅじゅつだい　[手術台]　12 II
じゅしょう　[受賞スル]　1 I
しゅじんこう　[主人公]　11 II
じゅせい　[受精スル]　6 II
じゅせいらん　[受精卵]　6 II
しゅだん　[手段]　13 I
しゅちょう　[主張スル]　5 II
しゅっきん　[出勤スル]　13 II
しゅつげん　[出現スル]　15 II
しゅっさん　[出産スル]　6 II
しゅつじょう　[出場スル]　1 II
しゅっせき　[出席スル]　15 II
しゅっぱん　[出版スル]　4 II
しゅどう　[主導スル]　3 II
じゅよう　[需要]　3 I
しゅん　[旬]　14 II
じゅんたく　[潤沢ナ・ニ]　14 II
しょ　[諸(外国)]　13 II
しょう　[賞]　1 I
しょう　[小(都市)]　7 II
しよう　[使用スル]　2 II
じょう　[情]　5 II
じょう　[(歴史)上]　1 II
じょうい　[上位]　13 II
しょうエネ　[省エネ←省エネルギー]
3 I
しょうがくせい　[小学生]　7 II
(～て)しょうがない　[←しようがない]
2 II
じょうくう　[上空]　9 II
じょうけい　[情景]　11 II
じょうけん　[条件]　12 II
しょうこ　[証拠]　5 II
しょうじいれる　[招じ入れる]　11 II
しょうしょう　[少々]　1 II
しょうじる　[生じる]　5 II
しょう、ちゅう、こう　[小、中、高←
小学校、中学校、高校]　10 II
じょうちょ　[情緒]　4 II
しょうちょう　[象徴スル]　9 II
しょうてん　[商店]　7 II
しょうてん　[焦点]　15 II

じょうねつ ［情熱］ 10 II
じょうぶ ［上部］ 9 II
しょうめい ［証明スル］ 5 II
しょうめん ［正面］ 9 II
じょうやく ［条約］ 5 II
しょうり ［勝利スル］ 9 II
しょく ［(地方)色］ 14 II
しょくいん ［職員］ 3 II
しょくせいかつ ［食生活］ 14 II
しょくぜん ［食ぜん］ 14 II
しょくにん ［職人］ 14 I
しょくひん ［食品］ 3 II
しょくよう ［食用］ 12 II
しょくよく ［食欲］ 7 II
しょくりょう ［食料］ 12 II
しょこく ［諸国］ 3 II
じょじょに ［徐々に］ 6 II
ショック 10 I
しょばつ ［処罰スル］ 5 II
しょみん ［庶民］ 14 II
しょゆう ［所有スル］ 14 II
しょり ［処理スル］ 3 II
しらむ ［白む］ 15 II
しるす ［記す］ 11 II
しれい ［指令スル］ 8 II
しろあと ［城跡］ 7 II
しろいめ ［白い目］ 5 II
しろもの ［代物］ 14 II
しわよせ ［しわ寄せ］ 14 II
しん ［真(犯人)］ 5 II
しん ［真ニ］ 12 II
しんか ［進化スル］ 6 II
しんがい ［侵害スル］ 11 I
しんがく ［進学スル］ 10 II
しんがくこう ［進学校］ 10 II
しんけい ［神経］ 12 II
しんけん ［真剣ナ・ニ］ 1 II
じんけん ［人権］ 5 II
しんこう ［進行スル］ 3 II
じんこうじゅせい ［人工授精］ 6 I
しんじこむ ［信じ込む］ 8 II
じんしゅ ［人種］ 15 I
しんしゅつ ［進出スル］ 13 II
しんせい ［神聖ナ］ 12 II
しんせん ［新鮮ナ］ 1 II
しんたい ［身体］ 4 II
じんたい ［人体］ 6 II
しんだん ［診断スル］ 8 II
しんでん ［神殿］ 9 I
しんてんち ［新天地］ 2 II
じんどる ［陣取る］ 15 II
しんぴ ［神秘］ 6 II
シンポジウム 15 II
しんり ［審理スル］ 5 II
しんりゃく ［侵略スル］ 2 II

す

すい ［粋］ 9 II
すいこむ ［吸い込む］ 11 II
すいじ ［炊事スル］ 8 II
すいちゅう ［水中］ 15 II
すいちょく ［垂直ナ・ニ］ 9 II
すいり ［推理スル］ 13 II
すいりょく ［水力］ 3 II
すう ［数(倍)］ 2 II
すう ［(希望者)数］ 10 II
すうこう ［崇高ナ］ 11 II
すうじ ［数字］ 3 II
スーパー ［←スーパーマーケット］ 5 II
すえ ［末ニ］ 2 II
すかさず 15 II
すぎない ［(～に)過ぎない］ 1 II
すぎばやし ［杉林］ 7 II
ずくめ ［(異例)ずくめ］ 5 II
すぐれる ［優れる］ 3 II
スタジオ 4 II
すでに ［既に］ 2 I
ストーリー 13 II
すなお ［素直ナ・ニ］ 15 II
～ずにはいられない 5 II
～ずにはおかない 5 II
スピーチスル 1 II
すべ ［術］ 12 II
すます ［(～で)済ます］ 13 II
すみずみ ［隅々］ 8 II
すむ ［(～で)済む］ 8 II
すら 1 II

すりぬける ［擦り抜ける］ 15 II
(〜と)する 5 II
ずれる 1 II
すんか ［寸暇］ 13 II

せ

〜ぜ 2 II
せい ［(経済)性］ 3 II
せい ［(二年)生］ 10 I
せいいっぱい ［精一杯］ 11 II
せいき ［(18)世紀］ 3 II
せいぎょ ［制御スル］ 8 II
せいこう ［成功スル］ 3 II
せいこん ［精魂］ 14 II
せいさく ［政策］ 3 II
せいさん ［生産スル］ 14 II
せいさんせい ［生産性］ 14 II
せいし ［正視スル］ 12 II
せいじゃく ［静寂］ 11 II
せいしゅん ［青春］ 10 II
せいじょう ［正常ナ・ニ］ 6 II
せいしん ［精神］ 4 II
せいじんびょう ［成人病］ 4 I
せいぜい ［精々］ 13 II
せいせき ［成績］ 10 I
せいぞう ［製造スル］ 4 II
せいぞん ［生存スル］ 12 II
ぜいたくナ・ニ 3 II
せいなる ［聖なる］ 12 II
せいひん ［(電化)製品］ 8 II
せいふく ［征服スル］ 2 II
せいぶつ ［生物］ 6 II
せいべつ ［性別］ 6 II
せいみつ ［精密ナ・ニ］ 6 II
せいめい ［生命］ 6 II
せいめいたい ［生命体］ 12 II
せいりょく ［勢力］ 9 II
せいをだす ［精を出す］ 13 II
せおう ［背負う］ 11 II
せきたん ［石炭］ 3 II
せけん ［世間］ 5 II
せっきょくてき ［積極的ナ・ニ］ 6 II
せっけい ［設計スル］ 9 I
せっする ［接する］ 5 II
ぜつぼう ［絶望スル］ 11 II
せつもん ［設問スル］ 13 II
せつり ［摂理］ 6 II
ぜひ ［是非］ 3 II
せびろ ［背広］ 13 II
せまる ［迫る］ 3 II
(〜に)せよ 9 II
せろんちょうさ ［世論調査］ 5 II
せんきゃく ［先客］ 15 II
せんげん ［宣言スル］ 6 II
せんこく ［宣告スル］ 11 II
ぜんこく ［全国］ 1 I
ぜんこくたいかい ［全国大会］ 10 II
ぜんこくチェーン ［全国チェーン］ 7 II
せんざい ［潜在スル］ 4 II
せんじゅうみん ［先住民］ 2 II
せんじゅつ ［戦術］ 10 II
せんしょくたい ［染色体］ 6 II
せんたく ［選択スル］ 3 II
せんたくし ［選択肢］ 14 II
せんとう ［先頭］ 15 II
せんめい ［鮮明ナ・ニ］ 1 II
ぜんめん ［全面］ 5 II
せんもんがっこう ［専門学校］ 1 II
せんらん ［戦乱］ 9 II
ぜんりょく ［全力］ 5 II

そ

そう ［総(電力)］ 3 II
そう ［沿う］ 7 II
そう ［(サラリーマン)層］ 13 II
そう(〜ない) 2 II
そうおん ［騒音］ 13 II
そうごう ［総合スル］ 4 II
そうさ ［操作スル］ 3 II
そうさ ［捜査スル］ 5 I
そうしき ［葬式］ 12 II
そうしつ ［喪失スル］ 14 II
そうじゅう ［操縦スル］ 8 II
そうぞう ［創造スル］ 6 II
そうぞう ［想像スル］ 9 II
そうち ［装置］ 8 II

た

ち

つ

て

と

な

に

ぬ

ね

の

は

ひ

ふ

ふにん ［不妊］ 6 I
ぶひん ［部品］ 2 II
ふびょうどう ［不平等ナ・ニ］ 11 II
ふみこむ ［踏み込む］ 6 II
ふむ ［(段階を)踏む］ 12 II
ふやす ［増やす］ 7 II
ふゆかい ［不愉快ナ］ 13 I
プライバシー 11 I
ぶらさげる ［ぶら下げる］ 15 II
プラットフォーム 7 II
ぶり ［(十数年)ぶり］ 7 II
ふりかえる ［振り返る］ 3 II
ふりかかる ［降りかかる］ 5 II
ふりそで ［振りそで］ 14 II
ふるきよきじだい ［古き良き時代］ 14 II
プレッシャー 10 I
ふれる ［触れる］ 3 II
プロ ［←プロフェッショナル］ 14 II
プログラム 8 I
プロジェクト 3 II
プロセス 14 I
ぶん ［(2,000年)分］ 2 II
ふんいき ［雰囲気］ 7 II
ぶんこぼん ［文庫本］ 13 II
ぶんせき ［分析スル］ 13 II
ぶんたん ［分担スル］ 8 II
ぶんの ［(4)分の(1)］ 3 II
ぶんめい ［文明］ 3 II
ぶんや ［分野］ 2 I
ぶんれつ ［分裂スル］ 6 II

へ

へいこう ［並行スル］ 6 II
へいこう ［平行ナ・ニ・スル］ 9 II
へいさ ［閉鎖スル］ 3 II
へいしゃ ［兵舎］ 9 II
へいめん ［平面］ 9 II
ペース 8 II
ベール 6 II
べく ［←べし］ 9 II
～べくもない 14 II
ベストセラー 4 I
へだたり ［隔たり←隔たる］ 9 II
へだてる ［隔てる］ 9 II
べつ ［(年齢)別ニ］ 13 II
べつじん ［別人］ 15 II
ペット 12 II
ベビー 11 II
へる ［経る］ 9 II
へる ［減る］ 14 I
べんがく ［勉学］ 10 II
へんけん ［偏見］ 11 I
へんぼう ［変貌スル］ 7 II

ほ

ほう ［法］ 6 II
ほうかご ［放課後］ 10 II
ぼうがい ［妨害スル］ 8 II
ほうこう ［方向］ 5 II
ほうこく ［報告スル］ 2 II
ほうしゃせいはいきぶつ ［放射性廃棄物］ 3 II
ほうしゃのう ［放射能］ 3 I
ぼうぜんと ［ぼう然と］ 10 II
ほうむりさる ［葬り去る］ 14 II
ほうめん ［方面］ 2 I
ほうりつ ［法律］ 5 II
ホームシック 15 II
(～より)ほかない 11 II
(～に)ほかならない 6 II
ほきょう ［補強スル］ 4 II
ほけん ［保険］ 12 II
ほけんしつ ［保健室］ 4 II
ほけんじょ ［保健所］ 12 II
ほこり ［誇り←誇る］ 14 II
ほしょう ［保証スル］ 5 II
ほぞん ［保存スル］ 14 II
ぼっとう ［没頭スル］ 13 II
ほっぽう ［北方］ 3 II
ぽつりと 15 II
ほど ［(10年)ほど］ 4 II
ほどこす ［施す］ 14 II
ほどとおい ［程遠い］ 13 II
ほら 1 II
ボランティア 10 II

ま

み

ら

り

る

れ

ろ

わ

著　作　者（五十音順）

阿部祐子　（大阪 YMCA 日本語学校講師）
桑原直子　（元大阪 YMCA 日本語学校専任講師）
亀田美保　（大阪 YMCA 日本語学校上任講師）
田口典子　（大阪 YMCA 日本語学校講師）
長田龍典　（大阪 YMCA 日本語学校上任講師）
占家　淳　（大阪 YMCA 日本語学校専任講師）
松田浩志　（プール学院大学国際文化学部教授）

KENKYUSHA
〈検印省略〉

上級で学ぶ日本語

1994 年 12 月 5 日　初版発行　　2003 年 7 月 25 日　22刷発行

著　者　　松　田　浩　志ほか
発行者　　荒　木　邦　起
印刷所　　研究社印刷株式会社

発行所　株式会社　研究社
〒 102 8152
東京都千代田区富士見 2-11-3
電話（編集）03(3288)7755（代）
（営業）03(3288)7777（代）
振　替　00150 9 26710

ISBN 4-327-38434-8　C 1381
Printed in Japan
装丁/(株)集美堂

目　次

編集協力●オプティマ企画編集室

テーマ別 上級で学ぶ日本語

著者
阿部祐子
桑原直子
亀田美保
田口典子
長田龍典
古家淳
松田浩志

KENKYUSHA

はじめに

『上級で学ぶ日本語』は、ご好評をいただいた『中級から学ぶ日本語』の続編として編まれたものである。『中級から学ぶ日本語』を修了した上級学習者が、それまでに身に付けた学習習慣を最大限有効に生かし、スムーズに継続学習できるよう、当教科書でも、『中級から学ぶ日本語』からいくつかの編集方針を踏襲した。そのうち主要なものは、1）本冊・ワークブックの二部構成とし、学習目標を明確にした。2）本冊の聴き取り、本文、ワークブックの読解練習、聴解練習等は、それぞれにスキル習得目標を置くとともに、内容的にも理解を深めるため同一のテーマでまとめた。3）本冊の本文を新出語彙・文型等の新規学習項目の導入部分とし、(ワークブックの読解練習を除いて)それ以外の部分はすべて既習項目から成るよう配慮した。

上記テーマの選択に当たっては、これも基本的には『中級から学ぶ日本語』を踏襲し、学習者が共通の問題としてとらえることができるもの、即ち、普遍的、かつ、地球的テーマを選び、教師、学習者の双方が平等に参加し、学習、討議できることを狙った。また、それぞれのテーマは、学習者の日常とかけ離れたものではなく、それについて既に各自が意見を持っているもの、あるいは、関心を持たざるを得ないものを選ぶよう留意・工夫した。

本教科書の作成に当たっては、『中級から学ぶ日本語』をお使いいただいた大勢の日本語教育関係者の方々の意見を最大限に生かし、『中級から学ぶ日本語』の利点を更に伸ばし、その欠点を努めて補うことに留意した。率直な意見をお寄せいただいた日本語関係者の方々に心よりお礼申し上げる。また、研究社出版の編集担当、浦田未央氏には、以前にも増す忍耐で、本教科書出版までご激励、ご支援をいただいた。ここに、衷心より感謝をするとともに、著者一同、日本語を手段として心の通うコミュニケーションのできる学習者を一人でも多く育てること、また、この教科書がその一助になることを願いつつ、日本語教育により心を込めて邁進することでご恩返しできることを願っている。

1994年11月

著者一同

『上級で学ぶ日本語』を有効に使うために

1．各課の構成とそのねらい

各課は、それぞれ、**導入部・練習・聴解**(以上本冊)、**文法まとめ・聴解・読解**(ワークブック)の6つのセクションから成り、各課で扱うテーマを目次に掲げた。各セクションが、下記詳細に従って機能的に組み合わせ活用されれば、当テキスト修了後には、(特別な術語を除いて)新聞の社説が読める程度の読解力、テレビのドキュメンタリー番組の内容が把握できる聴解力が養われ、同時に、その内容についても議論ができる程度の総合的な日本語実力を身に付けることができる。

2．各セクションの構成と使い方

●本冊

[**導入部**]　各課の初めに設けられ、ニュースを聞きましょう・**新しい言葉**・**本文**とから成る。ニュースを聞きましょうは、各課のテーマを紹介するとともに、**本文**に出てくる新語の中でキーになる言葉の導入の役割をする。スキル面から言えば、ニュース内容が大まかに把握できる聴解力を養うと同時に、要点をノートに書き取る練習も目指す。**新しい言葉**の部分は、各課で扱われる新出語を紹介の順に一覧表にすると同時に、この段階で、少しでも言葉の運用力が広げられるよう、「研究スル」「元気ナ・ニ」という形で他品詞としても使える場合を明示した。**本文**では、ニュースを聞きましょうで紹介されたテーマを更に深く掘り下げ、ニュースで使われたキーワードを含めた新語の導入、また、新出漢字・表現・文型の導入をする。**本文**は、テーマについてさまざまな面から議論できるよう配慮されている(テーマの詳しい扱いについては『教師用マニュアル』参照)。

[**練習**]　答えましょう・使いましょうから成る。答えましょうでは、本文の理解度をチェックするとともに、9・10番の問いで『中級から学ぶ日本語』のまとめましょうで目指した本文まとめの練習をする。使いましょうでは、上級学習者に必要と考えられる表現・文型を取り上げて練習する。表現・文型の選択には日本語能力試験出題基準(国際交流基金・財団法人日本国際教育協会編)等を参考にし、そこに列挙されたもののほとんどを本文中に取り入れ、具体的な使い方を示した。

[**聴解**]　聞きましょうと名づけた各課の最後の部分で、統計の表やグラフを見ながらの聴解練習。大学等へ進学して授業を受ける場面、あるいは、テレビ番組を見ている場面を想定し、目で統計の表やグラフを理解しつつ、耳でその説明を聞くスキルを養う。

●ワークブック

[**文法まとめ**]　語彙部分と表現・文型部分とから成り、初級・中級(『中級から学ぶ日本語』を中心に)での学習項目を含め、上級までのまとめを目指す。前者では、接頭・接尾辞等をまとめ、後者では、例えば、「ばかり」の項目のもとに「〜てばかり」「〜ん

ばかり」等、当教科書に出てくるものを含め既習のものをすべて網羅、整理し、学習者の復習とまとめのための便宜を図った。

［聴解練習］　I・IIの二部構成とし、Iの部分ではごく短い会話を聞き、日本語独特の口語表現・言い回し等を聞きニュアンス・場面等を類推する練習をする。IIの部分は、やや長い会話を聞き全体を把握する練習をする。この会話の中には、Iで練習した部分も含まれている。IIの会話のテーマは、各課のテーマに沿ったものである。

［読解練習］　1,500〜2,000字程度のまとまりのあるものを速読形式で読む。全体把握に支障のないと思われる新語が意図的に出されているが、それに影響されることなく大意の把握を目指す。読解後には、理解度を測るための練習問題が付されている。練習文の主題は、各課のテーマに沿ったものである。

3．語句・文型の選択

『日本語初歩』『中級から学ぶ日本語』に出てくるものを既習の語・表現・文型として扱い、それ以外を新出の語・表現・文型扱いした。なお、『教師用マニュアル』に、上記表現・文型のまとめリストを付した。

4．漢字と振りがな

上記3同様、『日本語初歩』『中級から学ぶ日本語』で扱われていないものを、本文下欄外に新出漢字として表示した。*を付した漢字は、既習漢字の読み替えである。各課導入部の「新しい言葉I・II」に掲げた漢字については、学習者の便宜を図る目的で、そのすべてに振りがなを付けたが、本文に関しては、新出漢字、ならびに、新しい読み方に限って振りがなが付けられている。

5．この教科書を使った授業の一例

a．（ニュースを聞きましょう）(ニュースに出てくる新語紹介)
b．本文新語導入
c．（使いましょう）(本文理解ができる程度に導入)
d．本文読解
e．（答えましょう）(口答練習の後、書かせる)
f．（使いましょう）(口答練習の後、書かせる)
g．文法のまとめ(ワークブック)
h．聴解練習I・II(ワークブック)
i．（聞きましょう）
j．読解練習(ワークブック)
k．作文(各テーマについて学習者の意見をまとめさせる)

*各セクションの実際のクラスにおける扱い方に関しては、『教師用マニュアル』に、より詳細な説明を付した。ご参照願いたい。